

UiPath Automation Suite インストールガイド

v2021.10 対応版



Information contained herein is confidential and may be disclosed only with the written permission of UiPath. All rights reserved.



リビジョン履歴

Date	Version	Author	Description
24 th Feb 2020	2021.10	UiPath Japan Infrastructure Team	First version for v2021.10 release



商標について

- UiPath のソフトウェア、製品、サービス、(これには、UiPath Orchestrator、UiPath Robot、UiPath Studio が含まれますが、これらに限りません) はアメリカ合衆国で登録された UiPath Inc.、および 他の 国・地域で登録された UiPath の関係会社の商標または登録商標です。UiPath のロゴは UiPath Inc., が所 有するものであり、UiPath の事前の明示的な許可なく、お客様及びその他の方が使用することはでき ません。
- Microsoft のソフトウェア、製品、サービス (これには、 Microsoft、 Windows、 Windows Server、 SQL Server 及び Active Directory が含まれますが、これらに限りません) は アメリカ合衆国で登録された Microsoft Corporation 及び他の国・地域で登録されたその関係会社の商標または登録商標です。
- Oracle のソフトウェア、製品、サービス (これには、Java も含まれますがこれに限りません) はアメリカ合衆国で登録された Oracle 及びその他の国・地域で登録された関係会社の商標または登録商標です。
- Elastic は、 Elastic N.V. 及びその関係会社の商標または登録商標です。
- Redis は、 Redis Labs Ltd の商標です。
- その他、記載されている製品名、会社名およびサービス名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

免責事項

- 本ガイドの内容は 2022 年 2 月現在の情報であり、下記の製品リリースに基づいております。
 > UiPath Automation Suite v2021.10.3
- 製品の新しいリリース、修正プログラムなどによって、本ガイドの説明と異なる動作・仕様となる可能性がありますので、予めご留意ください。
- 本ガイドに含まれる情報は可能な限り正確を期しておりますが、UiPath株式会社の正式なドキュメントではありません。本ガイドに記載された内容に関してUiPath株式会社は何ら保証していません。従って、本ガイドに含まれる情報の利用はお客様の責任においてなされるものであり、UiPathはガイドの内容によって受けたいかなる被害に関して一切の補償をするものではございません。
- 本ガイドは UiPath を法的に拘束する書類ではありません。UiPath はお客様に通知なくして、本ガイドの内容の一部または全部を修正及びアップデートできます。
- お客様は UiPath および執筆者の書面の承諾なしで本ガイドを複製、修正、頒布できません。

目次

1.	はじめに	5
	1.1. 本文書の目的と前提条件	5
	1.2. Automation Suite システム構成と前提	6
	1.3. Automation Suite システム要件	7
	1.4. Automation Suite インストールオプションの検討	8
2.	Automation Suite インストール前の準備	9
	2.1. インストール前準備 (AWS)	.10
	2.1.1. AP サーバー準備 (AWS)	.10
	2.1.2. DB サーバー準備 (AWS)	.13
	2.1.3. DNS レコード登録 (AWS)	.16
	2.2. インストール前準備 (Azure)	.18
	2.2.1. AP サーバー準備 (Azure)	.18
	2.2.2. DB サーバー準備 (Azure)	.30
	2.2.3. DNS レコード登録 (Azure)	.34
	2.3. インストール前準備 (VMware vSphere)	. 39
	2.3.1. AP サーバー準備 (VMware vSphere)	.39
	2.3.2. DB サーバー準備 (VMware vSphere)	.42
	2.3.3. DNS レコード登録 (VMware vSphere)	.45
	2.4. AP サーバー用証明書発行	.47
	2.4.1. 証明書の要件	.47
	2.4.2. 自己署名による証明書発行	.47
	2.4.3. Microsoft 証明機関による証明書発行	.50
3.	Automation Suite インストール手順	.59
	3.1. ディスクの構成	.59
	3.2. Automation Suite インストール実行	.61
	3.3. 証明書の入れ替え	.65
4.	Automation Suite へのログイン	.67
UiP	ath Automation Suite インストールガイド [v2021.10 対応版]	3

4.1. 組織・テナント	67
4.2. ホスト組織	
4.3. デフォルト組織	
5. トラブルシューティング	71
5.1. インストールログ	71
5.1.1. インストールログ確認方法	71
5.1.2. エラー例と対処法	71
5.2. ArgoCD	74
5.2.1. ArgoCD へのログイン	74
5.2.2. ArgoCD エラー例と対処法	
5.3. Rancher	77
5.3.1. Rancher へのログイン	77
5.4. サポートバンドル	
5.5. アンインストール手順、その他のトラブルシューティング	
6. 技術支援のご案内	80



1. はじめに

1.1. 本文書の目的と前提条件

- 本文書では UiPath Automation Suite v2021.10 をシングルノード構成、オンライン環境 (アウトバウンド へのインターネットアクセス可能な環境) にてインストールする手順について説明します。
- Automation Suite 上で動作する各製品・各バージョンにおけるサポート期間については <u>プロダクトライ</u> フサイクル をご参照ください。
- 本文書を参照するにあたり下記の事項が前提知識となります。
 - ▶ <u>UiPath Automation Suite の概要</u>
 - ▶ Automation Suite をインストールする基盤 (AWS / Azure / VMware vSphere など)の概要と基本操作
 - ▶ Red Hat Enterprise Linux (RHEL)の概要と基本操作
 - ➢ SQL Server の概要と基本操作
- 本文書ではSSH クライアントとして <u>Tera Term</u>を使用しておりますが、他のソフトウェアも利用可能 です。SSH クライアントでのコマンド実行は次のように表記します。

chmod +x installUiPathAS.sh

- 1.2. Automation Suite システム構成と前提
- Automation Suite の全体的なシステム構成は次の通りです。
 - シングルノード構成では Automation Suite と SQL Server をそれぞれインストールするために 2 台の サーバー(AP サーバーと DB サーバー)を準備します。
 - 例として AWS 環境における構成図の一例を下記に示します。AP サーバーには EC2 インスタンス (RHEL)、DB サーバーには RDS for SQL Server を利用し、管理アクセスのために踏み台サーバーとし て EC インスタンス (Windows Server) をホストしています。



- 本文書においては AP サーバー1 台で Server Node (クラスター管理サービスを提供するノード) と Agent Node (UiPath 製品サービスを提供するノード)を共存させるシングルノード構成を前提としま す。機能要件・非機能要件に応じて Server Node や Agent Node を追加することも可能ですが、本 文書では取り扱いません。展開方式の詳細については デプロイアーキテクチャ をご参照くださ い。
- AP サーバーのクラスターDB のバックアップのために NFS サーバーが別途必要となりますが、本 文書では割愛いたします。詳細は クラスターをバックアップおよび復元する をご参照ください。
- ●本文書では例として次のドメイン名 / FQDN (完全修飾ドメイン名)を使用します。環境に応じて適宜読み替えを行ってください。ただし Azure 環境では既定の cloudapp.azure.com サブドメインを使用します。
 - ▶ ベースドメイン名: lab.test
 - ▶ Automation Suite (AP サーバー) FQDN: as.lab.test



- 1.3. Automation Suite システム要件
- システム要件の詳細は Web ガイドを参照してください。
 - ▶ ハードウェア要件
 - ▶ ファイアウォール要件
- システム要件はインストールする製品群 (ベーシック・完全) によって異なるため、利用する製品を事 前検討します。

製品	ベーシック	完全
Orchestrator	0	0
Action Center	0	0
Test Manager	0	0
Insights	0	0
Automation Hub	0	0
Automation Ops	0	0
Apps	×	0
AI Center	×	0
Document Understanding	×	0
Task Mining	×	0

また AP サーバーがインターネット接続可能 (オンライン) か接続不可 (オフライン) かによってもハードウェア要件が異なるためネットワーク構成も事前に検討します。これらの組み合わせによるシステム要件の違いは下記表の通りです。ベーシック・オンラインをベースとした差異を赤字で示します。

	オンライン	オフライン
ベーシック	・vCPU 16 コア	・vCPU 16 コア
	• RAM 32 GiB	• RAM 32 GiB
	・Disk1(クラスター用): 256 GiB	・Disk1(クラスター用): 256 GiB
	・Disk2(データ用): 512 GiB	・Disk2(データ用): 512 GiB
	・Disk3(etcd 用): 16 GiB	・Disk3(etcd 用): 16 GiB
		・Disk4(オフラインインストール用): 512 GiB
完全	・vCPU 32 コア	・vCPU 32 コア
	• RAM 64 GiB	• RAM 64 GiB
	・Disk1(クラスター用): 256 GiB	・Disk1(クラスター用): 256 GiB
	・Disk2(データ用): 2 TiB	・Disk2(データ用): 2 TiB
	・Disk3(etcd 用): 16 GiB	・Disk3(etcd 用): 16 GiB
		・Disk4(オフラインインストール用): 512 GiB

- 各ディスクには IOPS の要件があります。詳細は<u>ハードウェア要件</u>をご参照ください。
- <u>キャパシティ計算ツール</u>にてインストールする製品や利用用途に応じて必要なハードウェアをシミュレーションすることもできます。

1.4. Automation Suite インストールオプションの検討

- Automation Suite には次のインストールオプションがあります。事前にどのオプションを使用するか検討し、オプションに応じたマシン等を準備します。
 - ▶ デプロイメント構成
 - ◆ Single-node: 1 台の AP サーバーで Server Node (クラスター管理サービスを提供するノード)を ホストします。Agent Node (UiPath 製品サービスを提供するノード)を共存させることも可能 ですが、サーバーリソースが1台で収まらない場合や GPU 機能を必要とする製品サービスを 利用する場合には専用の Agent Node を追加することも可能です。シングルノード構成は構築 が比較的容易ですが、可用性や拡張性に乏しい構成であるため、製品評価目的で利用するこ とを推奨します。
 - ◆ Multi-node: 3 台以上の AP サーバーに Server Node と Agent Node を分散して配置し可用性と拡張性を高めます。本番環境利用では推奨される構成ですが、サーバー構築・運用コストは高くなります。
 - インターネットアクセス
 - ◆ Online: AP サーバーからアウトバウンドへのインターネットアクセスが可能な環境です。イン ストールスクリプト実行時に既存関係のあるパッケージをインターネット経由でダウンロー ドしてインストールします。
 - ◆ Air-gapped: AP サーバーからアウトバウンドへのインターネットアクセスが許可されていない 環境です。インストールに必要となるパッケージをあらかじめ別端末でダウンロードして AP サーバーにコピーするためオフラインインストール用ディスクを別途アタッチする必要があ ります。本文書ではオフライン環境でのインストール手順は対象外としておりますので詳細 は オフラインでのシングルノードインストール をご参照ください。
 - > 製品群(詳細は<u>1.3 表</u>参照)
 - ◆ **Basic**: Automation Suite で提供されている主要な製品をインストールします。
 - ◆ **Complete**: Automation Suite で提供されているすべての製品をインストールします。
 - ➤ Kerberos 認証
 - ◆ Yes: SQL Server 接続および Active Directory への認証に Kerberos を使用します。前提条件の詳細 については Kerberos 認証を設定する をご参照ください。
 - ◆ No: SQL Server 接続および Active Directory への認証に Kerberos を使用しません。
 - ▶ データベース自動作成
 - ◆ Yes: Automation Suite インストール時にデータベースを自動作成します。
 - ◇ No: Automation Suite インストール時にデータベースを自動作成せず、事前に手動で作成します。製品/サービスと既定データベース名の対応は <u>Microsoft SQL Server を構成する</u> をご参照ください。



2. Automation Suite インストール前の準備

- Automation Suite を構築するための環境を準備します。基盤別 (AWS / Azure / VMware vSphere) に手順が 異なるため、お客様の基盤に応じて各章をご参照ください。
 - ▶ 2.1. インストール前準備 (AWS)
 - ▶ 2.2. インストール前準備 (Azure)
 - 2.3. インストール前準備 (VMware vSphere)
- 基盤共通の作業として Automation Suite への HTTPS アクセスおよび ID トークン署名のための証明書を 準備します。
 - ▶ 2.4. AP サーバー用証明書作成
- ▶ 上記の準備が整いましたらディスクの構成を行い、Automation Suite のインストールを実行します。
 - 3.1. ディスクの構成
 - 3.2. Automation Suite インストール実行



- 2.1. インストール前準備 (AWS)
- 2.1.1. AP サーバー準備 (AWS)
- AWS 環境にて AP サーバーを準備するために次の手順を実行します。本文書では Amazon EC2 サービス を使用します。
- VPC、サブネット、ルーティングテーブルなどネットワーク設定が完了していることを前提とします。

								AP サーバーのインスタンスを作成するた め、FC2 サービスにて「インスタンスを
1. AMI の選択	2. インスタンスタイプ	の選択 3. イン	スタンスの設定	4.ストレージの追加	110 5. タグの追加 6. t	2キュリティグループの	1定 7.確認	ω , EUZ $y = E \land E \subset (1 + 2 \land \%) \land \% $
ステップ AMIは、インス・ コミュニティが	1: Amazon タンスの作成に必要な 提供するもの、または	7シンイメ _{ソフトウェア機} AWS Marketpla	くージ (AM 成 (OS、アプリ? ce に掲載されて	11) ケーションサーバー いるものを選択で:	ー、アプリケーション) を? 「きます。独自の AMI のい	starrンプレートです ずれかを選択すること	キャンセルして終了 。 AMI は、AWS が提供するもの、ユーザー もできます。	起動」を実行します。
Q, ami-09ed1fc	18c4c00daca						×	
クイックス	タート (0)						Systems Manager パラメータによりRefe	1. AMI の選択
বন ym (c))		RHEL-8.4.0_H	VM-20210825-x8	36_64-0-Hourly2-GP2 - a	mi-09ed1fd8c4c00c	aca XIX	
AWS Marke	etplace (5166)		Provided by Red I	Hat, Inc. ∵rets (현18/K/ਕ√**	「・hum FNA #0h (2L)		64 ビット (x86)	AMI として <u>システム要件</u> を満たす適切な
コミュニティ	AMI (1)			,	2 mm			イメージを選択します
								 本文書では例としてコミュニティ AMIの
								RHEL-8.4.0_HVM-20210825-x86_64-0-
								HOURIYZ-GPZ (AIVITID: anti-
								09ed1fd8c4c00daca) を使用しますが、お
								友様の利田晋倍に応じて適切た ۸۸4 た翌
								谷塚の竹田塚猊に応して廻めな AIVII を医
								択します。
								2 インスタンスタイプの選択
1. AMI の選択	2. インスタンスタイプの	選択 3.インス	タンスの設定	4. ストレージの追加	5. タグの追加 6. セキ	ュリティグループの設定	7. 確認	<u>ハードウェア要件</u> と利用用途・環境に応
ステップ	2: インスタン	スタイプ	の選択					「て適切かインスタンスタイプを選択
	c5a (:5a.xlarge	4	8	EBS のみ	(まし)	最大 10 ギガビット はい	
	c5a c	5a.2xlarge	8	16 32	EBS のみ EBS のみ	(はし)	最大 10 ギカビット はい 最大 10 ギガビット はい	ます。
	c5a c	5a.8xlarge	32	64	EBS のみ	はい	10 ギガビット はい	
	c5a ct	5a.12xlarge	48	96	EBS のみ	はい	12 Gigabit (はい	半入音 じは Single-node 快祉 現 児 と し (の
	c5a ct	5a.16xlarge	64	128	EBS のみ	はい	20 ギガビット はい	要件を満たす c5a.8xlarge (vCPU 32 コア、
	c5a ct	5a.24xlarge	96	192	EBS のみ	はい	<u>20 ギガビット</u> はい	
	c5d	c5d.large	2	4	1 x 50 (SSD)	(#U)	最大10ギガビット はい	RAM 64 GiB) を使用します。
					キャンセル 戻	る 確認と作成	次のステップ: インスタンスの詳細の設定	
								3. インスタンスの設定
								VPC サブネットなど環境に広じて適切
1. AMI の選択	2. インスタンスタイプの	朝 3.インス	タンスの設定	4. ストレージの追加	5. タグの追加 6. セキ.	ュリティグループの設定	7. 確認	
ヘナツノ ま件に合わせてイ ス管理ロールギャ	5: インスタンスを設定しま (ンスタンスを設定しま)当てなどを行うアとり	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	い設定	タンス作成や、より	り低料金を実現するための	スポットインスタンス	のリクエスト、インスタンスへのアクセ	に設定します。
	インスタンス数	1		Auto S	Scaling グループに作成する	5 (1)		
	購入のオプション	· (i) 🗆 🗆 ス	ポットインスタ:	ンスのリクエスト				
	ネットワーク	(i) (vpc-		AutomationS	Suite-VPC 4 C MIL	い VPC の作成		
	サブネット	(i) subr 249 (net- 個の IP アドレス:	Automatic が利用可能	ionSuite-Priva 🖣 新し	いサブネットの作成		
自動	割り当てパプリック IF	• 🕕 🤠	「ネット設定を使」	用 (無効)	4			
	ホスト名のタイフ DNS Hostname	(i) (#7	「ネット設定を使」 nable IP name IP	用 (IP 名) Pv4 (A record) DNS	4 S requests			
							,	
					キャンセ	ル 戻る 権調(作成 次のステップ:ストレージの追加	
					キャンセ	ル 戻る 権認れ	作成 次のステップ:ストレージの追加	
x					キャンセ	ル 戻る 権識(脊護 次のステップ:ストレージの追加	



1.MR GBT 2.47.479.7.0028 3.47.479.7.0028 4.54/0-0088 3.670088 3.121.9709-7.7028 7.188 2.7.97 2.7.1 2.7.1 2.7.2 2.7.1 2.7.2 2.7.1 2.7.2 2.7.1 2.7.2 2.7.1 2.7.2 2.7.1 2.7.2 2.7.1 2.7.2 2.7.1 2.7.2 2.7.1 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 2.7.2 <th2.7.2< th=""> <th2.7.2< th=""> 2.7.</th2.7.2<></th2.7.2<>	 ハードウェア要件と利用用途・環境に応じて適切にストレージを追加します。 MKの例を下記に示します。 OS 領域… 64 GiB, 汎用 SSD (gp2) クラスターバイナリ・ステートディスク… 256 GiB, 汎用 SSD (gp2) データディスク… 2048 GiB, 汎用 SSI (gp2) etcd ディスク… 16 GiB, プロビジョンド IOPS SSD (io1) 800 IOPS
1 44 6 28 3 4 3 4 3 4 3 5 3 5 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5	5. タグの追加 必要に応じてタグを追加します。
LMAQME 1-0-2592/94750#F 1-0-252/00# 4-251-0045 1-99045 1-99045 7-882 7-882 ステップ 6: セキュリティグループの設定 セキュリティグループの設定 セキュリティグループの設定 セキュリティグループの設定 ビキュリティグループの設定 ビキュリティグループの設定 ビキュリティグループの設定 ビャンパーンを設定することができず、Anaxas にはてきュリティグループに含まったに関係のクロン場をなえます。私いでキュリティグループを含まった。たた Ref Ort=コリティグループを留する Weinder Notation 1-211111111111111111111111111111111111	 6. セキュリティグループ セキュリティグループを適切に設定します。最低限必要となるのは管理者からの SSH アクセスと利用ユーザーからの HTTPS アクセスです。
1.450 (美) 2.42,52,724(70(美) 3.42,52,02(美) 4.21,0-20(5) 5.902(5) 6.153,0)/9.04,-720(5) 7.42 ステップ 7. インスタンスタイズの後期、3.42,52,502(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(7. 確認 構成を確認してインスタンスを起動しま す。



既存 キーペ されま フラです きます 生 選 ックク 尾 モキー へ るれま で で り	でのキーペアを選択するか、新しいキーペアを作 になる、AWS が保存する/でリックキーとユーザーが保存するプライベ す。組み合わせて使用することで、インスタンスに安全に勝快できず ハートキーファイルは、インスタンスへのログインに使用される/Cペ 、 Amazon EC2 は ED25519 および RSAキーペアタイブをサポートし RUにキーペアは、コンスタンスに対して権限がある一連のキーに M から既存のキーペアや朝除する」の評細情報をご覧ください。 社内のキーペアの選択 ーペアの選択 ロップの選択 はの本コーペアの選択 シスタンスにログインできないことを承諾します。 キャンセル	RKします。	既存のキーペアを選択するか、新しいキ ーペアを作成して、インスタンスを作成 します。
■ 10.0.11.85 - ec2-user@ip-10 マンスタンス Hie インスタンス Jie インスタンス Jie インスタンス インスタンス Jie インスタンス Jie インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インスタンス インス	CC > 122922 > I (AutomationSuite-APOI) Ø 1/2/292 (AutomationSuite-APOI) Ø 1/2/292 > 1 (AutomationSuite-APOI) (A	7.40.8 10 7.54(x-1-Prid 7E)2, (0) 1001195 7.51(y-2) Prid DNS 10 7.51(y-2) Prid DNS 10	インスタンス作成後、プライベート IP を メモします。 インスタンス起動後、SSH クライアント にて AP サーバーに接続します。 次のコマンドにより nm-cloud-setup サ ービスを無効化し、OS 再起動します。 sudo systemctl disable nm-cloud- setup.timer sudo systemctl disable nm-cloud- setup.service sudo reboot

2.1.2. DB サーバー準備 (AWS)

- AWS 環境にて DB サーバーを準備するために次の手順を実行します。本文書では Amazon RDS サービス を使用します。
- 前提としてあらかじめ 2 つの Availability Zone にサブネットをそれぞれ作成します。





	DB インスタンス識別子、マスターユー
設定	一名、マスターパスワートを指定また 自動生成します。
DB インスタンス裁別子 情報 DB インスタンスの名前を入力します。この名前は、AWS アカウントが現在の AWS リージョンで所有しているすべての DB インスタ ンスにおいて一意である必要があります。 automation-db DB インスタンス類所子は大文字と小文字の区別がありませんが、すべて小文字で保存されます (例: 'mydbinstance')、制約事項: 1~ SD マチの英数字または / イフン、1 字目は文字である必要があります。遠続する 2 つの/ バフンを含めることはできません。/ バイフ	
▼認証情報の設定	
マスターユーザー名 情報 DB インスタンスのマスターユーザーのログイン ID を入力します。 wipath_sql 1~16 文字の英歌字。1 字目は文字である必要があります。 ノバフロー ドの自動生成	
ノーン・シーン・レーン・Amazon RDS がパスワードを生成するか、お客様がご自身でパスワードを指定することができます。	
マスターバスワード 情報 	
制約事項:表示可能な ASCII 文字で 8 文字以上で入力してください次の文字を含めることはできません: / (スラッシュ)、(単一引用 符)、"(二重引用符)、および @ (アットマーク)。 パスワード 本確認 情識	
	DB インスタンスクラスとして
	DB インスタンスクラスとして
DB インスタンスクラス	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し 適切なストレージタイプを指
DB インスタンスクラス	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指
DB インスタンスクラス BB インスタンスクラス 価級 ● 標準クラス (m クラスを含む)	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に
DB インスタンスクラス DB インスタンスクラス (部) ● 標準クラス (m クラスを含む) ● 標準クラス (m クラスを含む) ● パンスタンスクラス (かつえを含む) ● パンスクシスクラス (m)	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します
DB インスタンスクラス 情報 0 振歩クラス (m クラスを含む) ○ 水モリ最適化クラス (r クラスを含む) ○ バースト可能クラス (r クラスを含む) ① バースト可能クラス (r クラスを含む) ① バースト可能クラス (r クラスを含む)	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス (動産) DB インスタンスクラス (動産) ・ 薬準クラス (m クラスを含む) ・ 米モリ鼻連化クラス (r クラスを含む) ・ パースト可能クラス (r クラスを含む)	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス DB インスタンスクラス 情報 ● 標準クラス (m クラスを含む) ● メモリ最適化 クラスを含む) ● バースト 可能 クラス (t クラスを含む) ● パースト 可能 クラス (t クラスを含む) ■ パースト 可能 クラス (t クラスを含む) ■ VCPUs 32 GIB RAM ネットワーク: 4,750 Mbps ■ VCPUs 32 GIB RAM ネットワーク: 4,750 Mbps	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス DB インスタンスクラス (新催 ● 標準クラス (m クラスを含む) ● メモリ最適化クラスを クラスを含む) ● バースト可能クラス (t クラスを含む) ■ パースト可能クラス (t クラスを含む) ■ VCPUs 32 CIB RAM ネットワーク: 4,750 Mbps ■ VCPUs 32 CIB RAM ネットワーク: 4,750 Mbps ■ VFPUs 32 CIB RAM ホットワーク: 4,750 Mbps ■ VFPUs 32 CIB RAM ホットワーク: 4,750 Mbps	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス DB インスタンスクラス 幅解 ● 標単クラス (m クラスを含む) ● メモリ風感化クラス (r クラスを含む) ● バースト可能クラス (r クラスを含む): ■ パースト可能クラス (r クラスを含む): ■ (J ースト可能クラス (r クラスを含む): ■ 以前の世代のクラスを含める ■ ストレージ	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス、価値 DB インスタンスクラス、価値 ● 爆撃クラス (m クラスを含む) ● 火戸以る 支2 (m クラスと かうえと かうえを含む) ● バースト可能クラス (t クラスを含む) ● パースト可能クラス (t クラスを含む) ● 山前の立てたのまままままでの ● 山前の世代のクラスを含める ストレージ ストレージのイブ 価能 別用 550 (p2) 第11日ではなどの トロスはまままるの ニステレー フィス	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス DB インスタンスクラス 参照 ③ 標準クラス (m クラスを含む) ③ 標準クラス (m クラスを含む) ③ メモリ最適化 クラス (x クラス 2 x クラスを含む) ⑤ バースト可能 クラス (x クラスを含む) ⑦ パレージタイプ 参組 ストレージタイプ 参組 パロームサイズによって支援されるペースラインパフォーマンス	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス DB インスタンスクラス (新) ● 標準クラス (m クラスを含む) ● 標準クラス (m クラスを含む) ● パレランスクラス (た) クラスを含む) ● パレー部がクラス (r クラスを含む) ⑦ しボラスな(r クラスを含む) ⑦ しボラスな(r クラスを含む) ⑦ しボラス(r クラスを含む) ⑦ しボラス(r クラスを含む) ⑦ レーンドのクラス (r クラスを含む) ⑦ 山口 (r クラス (r クラス (r クラス (r クラス)) (r ク) (r 0) (r	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス DB インスタンスクラス ## ● ボタクラス(m クラスを含む) ● ボタクラス(m クラスを含む) ● バーストワ能クラス(*クラスを含む) ● バーストワ能クラス(*クラスを含む) ● バーストワ能のクラスを含む) ● ボリアン(************************************	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス DB インスタンスクラス ● パエクシスクラス (新) ● パエクシスクラス (アクラスを含む) ● パエクレラス (アクラスを含む) ● パースト り間 (アクラスを含む) ● パースト り間 (アクラスを含む) ● パースト り間 (アクラスを含む) ● パースト り間 (アクラスを含む) ● パレー 32 GB RAHI (オットワーク: 4,750 Mbps) ● い 前の (世代の クラスを含める) ● ストレー ジ A トレー ジロ (オの) ● パー 20 GB RAH (オットワーク: 4,750 Mbps) ● い 前の (世代の クラスを含める) ● ストレー ジ A トレー ジタイブ (新) ● パー 20 GB RAH (オットワーク: 4,750 Mbps) ● い 前の (世代の クラスを含める) ■ ストレー ジタイブ (新) ● ストレージタイズ (ホットマーク: 4,750 Mbps) ● この (日、 新生、16,354 GB) (日、 10,05 Ql (フォーマンス) ● ストレージ目 (日	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタシスクラス (ME) DB インスタシスクラス (ME) ● 厚準クラス (m クラスを含む) ・メモリ最適化クラス (r クラスを含む) ・メモリ最適化クラス (r クラスを含む) ・ノースト Pa BE クラス (r クラスを含む) ・ノースト Pa BE クラス (r クラスを含む) ・レースト Pa BE クラス (r クラスを含む) ・レージタ (r クラスを含む) ************************************	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス DB インスタンスクラス (ME) ● ボタクラス(m クラスを含む) ● ボタクラス(m クラスを含む) ● ノンスタンスクラス (ME) ● メロショ きどの (m クラスを含む) ● ノンスタンスクラス (x クラスを含む) ● ノンスタンスクラス (x クラスを含む) ● ノンスタンスクラス (x クラスを含む) ● ノンスタンスクラス (x クラスを含む) ● ノンスタンス(x クラスを含む) ● ノンスタンス(x クラスを含む) ● ノンスタンス(x クラスを含む) ● ノンスタンスクラス (x の) ● J M前の世代のクラスを含める ● ストレージタイグ (ME) ● ストレージタ(T) (ME) ● ストレージの目野 ● CB ● CB ● (R い 20 GB) (AT) (- NO) (-	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスダンスグラス 希望 DB インスダンスグラス 希望 ● 標準のうス(m クラスを含む) ● メギリ場選化プラス(*グラスをx グラスを含む) ● メギリ場選化プラス(*グラスを次うえを含む) ● パースト司能のクラスを含む) ● パースト司能のクラスを含む) ● パースト司能のクラスを含む) ● JMBの世代のクラスを含める ストレージタイプ 希望 パリュームサイズによってお迷されるペースラインパフォーマンス ストレージBの当ち ストレージ回動スケーリング 6 20 CB CB CB CB ストレージ回動スケーリング 6 30 アンサーションの一式にるざいた デーシャースのストレージに対する敏的なスケーリングのサパートを提供します。 アンサーションの一式などの、ボージースのストレージを増やすことができま。 デストレーンジしきい場 個別	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。
DB インスタンスクラス DB インスタンスクラス (**) ● 想象クラス (**) クラス & ない ひょ かい クラス & ない ひょ かい クラス & ない ひょ かい ひょ ひょ かい ひょ ひょ かい ひょ ひょ かい ひょ	DB インスタンスクラスとして db.m5.2xlarge (8 vCPU, RAM 32 GiB) 以上 選択し、適切なストレージタイプを指定 し、ストレージサイズを 256 GiB 以上に 設定します。



Will about 10 アークク環境に応じて VPC、サブ ットグルーブ、パブリックアクセス、 キュリティグルーブの設定などを行い す。 Will about 2007 00 00 Will about 2007 00 00 <		Mile Strengthener
Imple Alexa to 100 mm 100		択します。
マングスを設まい。 ホットワーク環境に応じてVPC、サブ ットグループ、パブリックアクセス、 キュリティグループの設定などを行い、 す。 With Control (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	可用性と耐久性	
 ・ ロン ・ ロン	マルチ AZ 配置 (情報) ○ あり (ミラーリング/常時)	ネットワーク環境に応じて VPC、サブ
## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ ## ・ * * ## ・ * * * ## ・ * * * ## * * * * ## * * * * ## * *	 なし 	ットグループ、パブリックアクセス、
image: 1 () Weak Proceeding With All and Constraints ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** () ** ()		 キュリティグループの設定などを行い
************************************	接続 〇	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Virtual Private Cloud (VPC) 情報 この DB インスタンスの仮想ネットワーク環境を定義する VPC.	
	AutomationSuite-VPC (vpc-	
 ●	対応する DB サブネットグループがある VPC のみが表示されます。	
アンクリーク 10 アンクリーク 2000 アンクリ アンクリ アンクリ アンクリ アンクリ アンクリ アンクリ アンクリ	 データベースの作成後に、VPCを変更することはできません。 	一スの作成をクリックします。
Image: State Sta	サブネットグループ 情報 選択した VPC で DB インスタンスが使用できるサブネットと IP 範囲を定義する DB サブネットグループ。	
IO 0 Since intro	新しい DB サブネットグループの作成 ▼	
 	パブリックアクセス 情報 ○ 本り	
・ Pu W 2019/00/2019/00/00/00 W 2019/00/2019/00/00 W 2019/00/2019/00/00 W 2019/00/2019/00/2019/00/00 W 2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/2019/00/201	○ ₩マ VPC 外部の Amazon EC2 インスタンスとデバイスがお客様のデータペースに接続できます。データペースに接続できる VPC 内の EC2 インスタンスおよびデバイスを指定する 1 つ以上の VPC セキュリティグループを選択します。	
WYCH2UP-07 WYCH2UP-07 WYCH2UP-07 WYCH2UP-07 WYCH2UP-07 BY 5-20-3 / Memorale WYCH2UP-07 BY 6000000000000000000000000000000000000	● なし PDS はパリック IP アドレスをデータベースに割り当てません。 VPC 内部の Amazon EC2 インスタンスとデバイスのみをお客 様のデークペーフ に根本できます	
1.000-000000000000000000000000000000000	1800ノーフ・マームに350% じさぶり。 VPC セキュリティグループ	
・ 読書: ***********************************	データベースへのアクセスを許可する VPC セキュリティグループを選択します。セキュリティグループのルールで適切な客信ト ラフィックが許可されていることを確認します。	
Image: State		
s テ テ ー パー ス シ Automationanded utomationsuite-db	1881T	
*) デーゲース) warmanismuther 地での 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		 DB 作成後、エンドポイントをメモしま
************************************		d d
使用 CPU XP=の7 の7.2 andmannenterungungende ロール・21198 ロール・21198 <th>s 〉 デーダベース 〉 automationsuite-db utomationsuite-db 変更 アクション ♥</th> <th></th>	s 〉 デーダベース 〉 automationsuite-db utomationsuite-db 変更 アクション ♥	
BB第子 automational-sele CF CF-SA ettaB.32 Auge CF-SA ettaB.32 Auge D-J, (2,252,2) 21.9% CF-SA ettaB.32 Auge Cf-SA ettaB.32 Auge B&C+2-10% E::::::::::::::::::::::::::::::::::::	概要	
adama a Adama adama ad	DB 識別子 CPU ステータス クラス クラス	
インスタンス ロ0 00 session SOL Server Standard Edition ap-northeast-1a 健康とセキュリティ モニリンプ ログとイベント 酸 メンデナンスとバックアック タグ エンドポイントとボー の「たちまま」 1:ds amazonayos com ボッ トワーク アッディブ ノブリックアクセズ可能 ビセニリディ レマ・セニリティブレーズ (ブリックアクセズ可能) ビター マクティブ ノブリックアクセズ可能	automationsuite-db ご 2.19% ♥利用可能 db.m5.2xlarge ロール 現在のアクティビティ エンジン リージョンと AZ	
WEAK 24 SUPS E SUPUS D/2 KVX/h BR X > 7 + 7 × 2 + 2 + 2 + 7 + 7 × 7 + 2 + 2 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 +	インスタンス ここの.00 sessions SQL Server Standard Edition ap-northeast-1a	
接続とセキュリティ ドットワーク ビキュリティ アンドポイント アペブビリティーソーン マペ ビキュリティグルーブ apontomaute- the amazonawes.com VC マクラティブ マレマ マクラティブ オムtomationSuite-VC (we- アグリックアクセス考慮	<u>接続とせキュリティ</u> モニタリング ログとイベント 認定 メンテナンスとバックアップ タグ	
大ドポイント ネットワーク ゼキュリティ アイラビフィージー> aprontheast-1a mortheast-1a mortheast-1a NVC アクティブ マンディブ AutomationSuite-VPC (vpc- 1.rdS amazonaws.com) アクティブ パブリックアクセス可能	接続とセキュリティ	
エンドポイント アパイラビリティーソーン VPC セネコリティグリーブ automationsuite- db ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロ		
automationSuite-VPC ゆ かうティブ AutomationSuite-VPC (spe- 1/ガリックアクセス可能	エンドポイントとボー ネットワーク セキュリティ	
1.rds amazonaws.com // パブリックアクセス可能	エンドポイントとポー ネットワーク セキュリティ ト アペイラビリティーソーン VPCセキュリティグループ エンドポイント ap-northeast-1a	
	エンドポイントとボー ネットワーク ゼキュリティ ト アペイラビリティーソーン VPC セキュリティグループ automationsuite db	
	エンドポイントとポー ネットワーク セキュリティ ト アベイラビリティーソーン アベイラビリティーソーン コdomationsuite- de	
	エンドポイントとボー ト エンドポイント automationsuite- db northeast- 1/ds amazonaws.com	
	エンドポイントとボー ト エンドポイント automationsuite- db Inortheast- 1/ds amazonaws.com	
	エンドポイントとポー ト エンドポイント エンドポイント automationsuite- de ap- northeast- 1rds.amazonaws.com	
	エンドポイントとボー ト エンドポイント automationsuite db. Indtsamazonaws.com	
	エンドポイントとボー ト エンドポイント コンドポイント ap-northeast-1a db: automationsuite- VPC AutomationSuite-VPC (vpc- 1.ds.amazonaws.com	
	エンドポイントとボー ト エンドポイント エンドポイント automationsuite- del	
	エンドポイントとボー ト エンドポイント automationsuite- de Instreast- 1/dsamazonaws.com	

2.1.3. DNS レコード登録 (AWS)

- AWS 環境にて DNS レコードを登録するために次の手順を実行します。本文書では Amazon Route 53 サ ービスを使用します。
- 事前に Automation Suite を運用するためのドメイン名および FQDN を決定します。

	ドメイン名に応じてホストゾーンを作成 します。 ※ 既存のホストゾーンを使用する場合は	Route 53 〉 ホストソーン 〉 ホストソーンの作成
 ホストゾーンに適切な VPC を関連れ いたストゾーンに適切な VPC を関連れ いたストゾーンに適切な VPC を関連れ いたストゾーンを作成します。 ホストゾーンを作成します。 ホストゾーンを作成します。 	ホル(FOS/ホストワークを反用する3%)合わ 作成の手順をスキップします。	 ホストゾーンの作成 備細 ホストゾーン設定 ホストゾーン設定 ホストゾーン設定 ホストゾーンは、example.com などのドメインおよびそのサブドメインのトラフィックのルーティング方法に関する情報を保持するコンテナ ドメイン名 備細 ごれは、トラフィックをルーティングするドメインの名前です。 Lab.test 有効な文字 a~z, 0~9, !*#\$%&*()*+、-/:;<=>?@[\]^_`().~ 送明・オブション 備細 この使で、問じる前のホストゾーンを区別できます。 For Automation Suite 説明は最大 256 文字です。20/256 9イブ 備組 このタイブは、インターネットまたは Amazon VPC でトラフィックをルーディングするかどうかを示します。 「ブライベートホストゾーン」 パブリックホストゾーン パブリックホストゾーン アライベートホストゾーン アングのルーディング方法
び enableDnsSupport 【 を true に設定する必要があります。 リージョン 備報 VPC ID 備報 アジアリ(シフィック (東京) [ap-nor▼) Q. vpc: X VPC を溜除 VPC を追加 VPC を追加	ポストゾーンに適切な VPC を関連付けし、ホストゾーンを作成します。	ホストゾーンに関連付ける VPC 情報 このポストソーンを使用して 1つ以上の VPC の DNS クエリを解決するには、当該の VPC を選択します。別の AWS アカウントで作成された VPC をホストソーンに関連付けるには、AWS CUT& 20 プログラム的な方法を用いる必要があります。 ④ プライベートホストソーンに関連付ける名 VPC に対して、Amazon VPC 投歩 enableDnsHostnames およ X
タグを追加	× VPCを削除	び enableDnsSupport [] を true (に設定する必要があります。 リージョン 情報 VPC ID 情報 アジアパシフィック (東京) [ap-nor▼ Q, vpc- VPC を追加 VPC を適加
タグは最大であと 50 価値加できます。 キャンセル ホストゾーンの作成	キャンセル ホストゾーンの作成	このリリースに関連内けられにタウカありません。 クグを追加 タグは最大であと 50 領道加できます。 キャンセル ホストゾーンの作成



		ホストゾーンにてレコードを作成しま
	Reserved N. 2019 N. V. S. N. Dalaman, N. J. 2019 (2019)	す。
L2-F2720Fa () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () ()	Route 55 > ホストソーン > lab.test > レコートを作成	
	レコードのクイック作成 488 ウィザードに切り替える ・ ・ レコード1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	AP サーバーの FQDN をレコード名に指定
	as .lab.test A=IPv4 アドレスと一部の AWS リソースに…▼ 相対以次手はva.c. (v-9)*# S % & '()**、-/::<*>?⊕	し、 <u>2.1.1. AP サーバー準備 (AWS)</u> にて作 成したインスタンスの IP アドレスを A レ
	TTL (5) 領層 ルーティングボリシー 領層 300 シンプルルーティング ▼ 1分 11時間 1日	コードとして登録します。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	照典後 60~172000 (2 日間) 別のレコードを追加	
	キャンセル レコードを作成	
次に、CNAME として下記のようにマッピ ングするレコードをそれぞれ作成しま す。 (AS-FQDN) は Automation Suite の FQDN (例: as.lab.test) を指します。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
L2-H024929#t im >> 02-F#EX L2-H02492#t im >> 02-F#EX L2-H024441 >> 02-F#EX L2-H02441 >>		次に、CNAME として下記のようにマッピ
U2-H09492018 **	Route 53 〉 ホストソーン > lab.test > レコードを作成	ングするレコードをそれぞれ作成しま
 	レコードのクイック作成 情報 ウィザードに切り構える	す。
	▼LJ−K1	(AS EODNI) / + Automation Suite O EODNI
Water	[●]	{AS-FQDN} & Automation Suite of FQDN
 B)- B)- B(A)-F(QDN) → {AS-FQDN} alm.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} monitoring.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} objectstore.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} objectstore.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} registry.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} insights.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} → {AS-FQDN} insights.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} → {	alm.as Jab.test CNAME-別のドメイン名および一部の AW▼ 有効な交字 a~v 0~0, (*# 5% a* ()**, -/()<<>?@	(例: as.lab.test) を指します。
 	(1)*_*(0).*	
 		$ = \lim \{ \Delta S_{-} \in ODN \} \rightarrow \{ \Delta S_{-} \in ODN \} $
 ● 188 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 <p< th=""><th>300 シンプルルーティング</th><th>• $aini.(AS-FQDN) \rightarrow (AS-FQDN)$</th></p<>	300 シンプルルーティング	• $aini.(AS-FQDN) \rightarrow (AS-FQDN)$
 and ex-rused bits 	1分 1時間 1日	• monitoring. $(AS-FQDN) \rightarrow (AS-FQDN)$
Import - Heals ● registry.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} * registry.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} * insights.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} * registry.{AS-FQDN} → {AS-FQDN}	推興他 60~172800 (2 日間)	• objectstore.{AS-FQDN} \rightarrow {AS-FQDN}
	別のレコードを追加	• registry.{AS-FQDN} \rightarrow {AS-FQDN}
レコードの AXENY-2009700 レコード(3) 金 Maramate Ter Fallad 27 / 24 - Fe HELET 8014. (12) 15 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 / 12 /	キャンセル レコードを作成	• insights.{AS-FQDN} \rightarrow {AS-FQDN}
C - F(8) # C - F(8)# C - F(8)# C - F(8)# C - F(8)# C -		
レコード(8) SS メレーンの97(0) レコード(8) SS メレーンの97(ルをインボート レコード名類型 ソーンフアイルをインボート レコード名 マ ノレコード名 マ レコード名 マ レコード名 マ シンブル ・ 1 Labtest NS シンブル 1 100.11.96 1 aslabtest 1 aslabtest 0 シンブル ・ 1 aslabtest 0 シンブル ・ 1 aslabtest NAME シンブル 1 aslabtest NAME シンブル ・ 1 aslabtest NAME シンブル ・ 1 NAME シンブル ・ aslabtest 1 ininglittsaslabtest NAME シンブル aslabtest 1 ininglittsaslabtest NAME シンブル 1 ininglittsaslabtest NAME シンブル 1 ininglittsaslabtest		
$\frac{\nu_{2}-\kappa_{0}}{\kappa_{2}} \frac{\kappa_{2}+\nu_{2}-\infty99'(\omega)}{\omega}$ $\frac{\nu_{2}-\kappa_{0}}{\kappa_{2}} \frac{\kappa_{2}}{\kappa_{2}} \frac{\kappa_{2}}\kappa_{2}} \kappa_{$		
$\frac{\nu_{2}-F(6)}{k_{2}} \frac{k_{2}k_{2}+\nu_{2}-y_{2}y_{2}y_{3}}{k_{2}} = \frac{k_{2}k_{2}k_{3}k_{3}k_{3}}{k_{2}k_{3}k_{3}k_{3}} = \frac{k_{2}k_{3}k_{3}k_{3}}{k_{2}k_{3}k_{3}k_{3}} = \frac{k_{2}k_{3}k_{3}k_{3}}{k_{3}k_{3}k_{3}k_{3}k_$		
	レコード(8) ホストゾーンのタヴ (0)	
$\mathbf{V} = \mathbf{F}$ (3) ffs Automatic $\mathbf{T} = \mathbf{F}$ (2#2) $\mathbf{Z} = \mathbf{V}$ (2#1) $\mathbf{Z} = \mathbf{V}$ (2#2) $\mathbf{Z} = \mathbf{V}$ (2#2		
C $V = -FERRE$ $V = -7T/L + (7/R + F)$ $V = -FERRE$ Q $TOU F = 4FL L d d c U = -FE = 7T/L P U = 7T + R + R + TU P R + C + TU P R + TU$	レコード(8) 機能 Automaticモードは勘測なフィルク構図に最適化された現在の検索動作です。モードを変更するには、[202]に移動します。	
Q $7dJ/5r + 4bcHdarcU - 1 + 2b - 7J/V + 2b + 2$		
▶ □ ▶ □ ▶ □ ▶ □ ▶ □ ▶ □ ▶ □ ▶ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □ ↓ □	レコードを削除 ソーンファイルをインボート レコードを作成	
$L \supset - F A_3$ ∇ $\theta \nabla$ $M \neg$ $E \nabla$ $M [h = 7 / 4 / 9 / 0 / M = 7 / 2 / 9 / M]\nablaa b testNSS > J / J cn \cdot \frac{1}{n \cdot \frac{1}{$	C レコードを消除 ソーンファイルをインボート レコードを作品 Q、プロパティまたは値でレコードをフィルタリングする タイブ ▼ ルーディン… ▼ エイリアス▼ < 1 >	
Iab.test NS \$>>7/h - ns- Iab.test SO >>7/h - ns- Iab.test A >>7/h - 0.01.196 Iam.tab.test CNAME >>7/h - 0.8ab.test Implication NAM >>7/h - 0.8ab.test Implication CNAME >>7/h - 0.8ab.test	C レコードを消除 ソーンファイルをインボート レコードを作成 Q プロパティまたは省でレコードをフィルタリングする タイプ ▼ ルーディン… ▼ エイリアス▼ く 1 > ●	
Iab.test SOA \$>\D_T/L ns- alab.test A \$>\D_T/L 0.0.11.96 almas.lab.test CNAME \$>\D_T/L - aslab.test insights.as.lab.test CNAME \$>\D_T/L - aslab.test monitoring.as.lab.test CNAME \$>\D_T/L - aslab.test of pictstore.as.lab.test CNAME \$>\D_T/L - aslab.test of pictstore.as.lab.test CNAME \$>\D_T/L - aslab.test	で V → >ファイルをインボート レコードを預牒 Q、 プロパティまたは値でレコードをフィルタリングする タイブ ▼ タイブ ルーティン… エイリアス イ マ ア エイリアス マ エ エイリアス エ エ エ ア エ エ エ エ エ エ エ ア エ エ エ	
alslab.test A \$>>7/1/ - 10.0.11.96 alm.as.lab.test CNAME \$>>7/1/ - aslab.test insights.as.lab.test CNAME \$>>7/1/ - aslab.test monitoring.as.lab.test CNAME \$>7/1/ - aslab.test omonitoring.as.lab.test CNAME \$>7/1/ - aslab.test objectstore.as.lab.test CNAME \$>7/1/ - aslab.test objectstore.as.lab.test CNAME \$>7/1/ - aslab.test	で レコードを消除 ソーンファイルをインボート レコードを介述 レコードを加 ダーブ ルーディシン・ エーリンスス	
atmastabetest CNAME \$>>7/L - aslabtest insights.aslabtest CNAME \$>>7/L - aslabtest monitoring.aslabtest CNAME \$>>7/L - aslabtest objectstore.aslabtest CNAME \$>7/L - aslabtest objectstore.aslabtest CNAME \$>7/L - aslabtest	C レコードを預牒 ソーンファイルをインボート レコードを作成 Q プロパティまたは値でレコードをフィルタリングする タイブ ▼ ルーティン… ▼ エイリアス▼ < 1 > ② □ レコード名 ▼ タ… ▼ ルーティン… ▼ 重イリアス▼ < 1 > ③ □ レコード名 ▼ タ… ▼ ルーティン ■ □ Lab.test NS シンブル - ms- ms- ms- ms- □ Lab.test SOA シンブル - ms-	
□ monitoring aslab test CNAME シンブル - aslab test □ objectstore aslab test CNAME シンブル - aslab test □ registry as lab test CNAME シンブル - aslab test	C レコードを預購 ソーンファイルをインボート レコードを存用 Q. プロ/ティまたは値でレコードをフィルタリングする タイブ ▼ ルーディン… ▼ エイリアス▼ < 1 > ● レコード名 マ タ… ▼ ルーディ、▼ 重 マ レコード名 マ タ… ▼ ルーデ・・ 個/トラフィックのルーティング先 マ はbtest NS シンプル - ms- ms- ms- stababest NS シンプル - ms- aslabtest A シンプル - 10.0.1196	
Debiectstore.as.lab.test CNAME シンプル - as.lab.test	C レコードを確認 ソーンファイルをインボート レコードを作成 Q、プロ/ティまたは値でレコードをフィルタリングする タイブ マ ルーティン… マ エイリアスマ く 1 > ② □ レコード名 マ タ… マ ルーティン、マ 差… マ 値/トラフィックのルーティング先 マ □ lab.test NS シンブル - ns- me- me- me- ns- me- ns- me- ns- me- □ lab.test SOA シンブル - ns- me- ns- me- ns- me- □ ala.test A シンブル - ns- me- aslab.test CNAME シンブル - aslab.test	
	C $U = F \xi R R R$ $Y = 277 r I / k \epsilon T / 3 R - F R R R R R R R R R R R R R R R R R$	



2.2. インストール前準備 (Azure)

2.2.1. AP サーバー準備 (Azure)

● Azure 環境にて AP サーバーを準備するために次の手順を実行します。本文書では Azure Virtual Machines サービスを使用します。

Microsoft Assee P 5/92.9-42.F42/01/04世 (p+) C C C + 19/-2.01618 - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	 Automation Suite を実行するには、Azure サブスクリプションの下にリソースグル ープが必要です。既存のリソースグルー プを使用する場合は、この手順をスキッ プして、後の手順でリソースグループを 指定できます。 1. Azure Portal に移動します。 2. 新規作成する場合は、ホームページ から[リソースグループ]を選択し、 [作成]をクリックします。
リソース グループを作成します … 基本 タゲ 確認および作成 リソース グループ・Azure ソリューションの関連リソースを保持するコンテナー、リソース グループには、ソリューションのすべてのリソースを含めることもできます。組織にとって最も有用なことに基づいて、リソース グループにリソースを割めることもできます。組織にとって最も有用なことに基づいて、リソース グループにリソースを割めてる方法を決めてください。詳細情報 (model) プロジェクトの詳細 サブス クリループ * ① ・ リソース グループ * ① ・ リンース グループ * ① ・ リンースの非細 リージョン * ① ・ レージョン * ① ・ ソースの非知 ・ ソージョン * ① ・ (Aisia Pacific) Japan East ・ ・ ※: 97 >	 [プロジェクトの詳細]欄で、適切なサブ スクリプションを選択し、任意のリソー スグループの名前を入力します。 1. [リソースの詳細]欄で、リソースを構 築するリージョンを選択します。 2. [次: タグ >]をクリックします。
すべてのサービス > リソース グループを作成します … 基本 タグ 確認および作成 Aure リソースを力すゴリに分けて陸運動に整理するため、タグを適用します。タグは、キー(名前)と値で構成されます。タグ名は大文字と小文字が区別されます。詳細情報 dol 名前 ○ 値 ○ リソース Vorner :	 必要なタグを入力し、[次:確認および作 成]をクリックします。 ※ 任意の手順 - 内部ポリシーに関するタ グが必要な場合のみ。そうでない場合 は無視します。



	入力内容が正しいことを確認します。
リソース グループを作成します	
⊘ 検証に成功しました。	
基本 タグ 確認および作成	
基本 サブスクリプション リソース グループ AutomationSuiteJapan-rg リージョン Japan East	
タヴ Owner @uipath.com Project Japan	
作成	
PutomationSuiteJapan-rg ターー Yux-378-7 Plast Conv.5 + 作成 目 対応構画 音 ガナ-ス78-704時 ① 更新 上 Conv.1272.6+ 10 5706時24 C → 9巻 ◇ 目 相称 … Nov 25- T779*/2191 0 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	リソースグループが作成されたことを確 認します。
ヘ、ブンビス類(19,40) ジンバンチンジン (19,400,400,000,000,000,000,000,000,000,00	
	牛程作成したリソース グループの下で仮
Microsoft Asse P 19/-2, 8-12, 14320/1688 16-/0 C G + 19/-3,0152 すべてのサービス 9-1202/16/5- ★ 1-5 原東 田 9/-3,215-15 F 王 7<020-12 F 第 100/0-2 第 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 9-1202/16/5- ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2 ● 19/-2, 19/-2 100/0-2	 元程作成したりノース 9 ルーノの下で仮 想ネットワークを作成します。既に仮想 ネットワークが作成済みの場合はこの手 順をスキップします。 1. Azure Portal に移動します。 2. [すべてのサービス] > [ネットワーキン グ] > [仮想ネットワーク] から [作成] を クリックします。
	プロビジョニングするすべてのマシン が、この仮想ネットワークに含まれる必 要があります。



すべてのサービス > Virtual network メ … ×	
Microsoft	ます。
✓→ Virtual network ♡ お気に入りに追加 Microsoft	
★ 4.5 (6 Azure の評価)	
Azure 特典の対象 C [*]	
作成	
Resource Manager でデブロイ(クラシック に変更)	
概要 ブラン 使用状況情報とサポート レビュー	
Create a logically isolated section in Microsoft Azure with this networking service. You can securely connect it to your on-premises datacenter or a single client machine using an IPsec connection. Virtual Networks make it easy for you to take advantage of the scalable, on-demand infrastructure of Azure while providing connectivity to data and anonications con-remains induction outser monitor on Windows Senser mainframes, and INIX	
Use Virtual Network to:	
Extend your datacenter	
Build distributed applications Remotely debug your applications	
	仮想ネットワークの基本情報を入力した
すべてのサービス > 仮想ネットワーク >	後、必要に応じてIPアドレス、セキュリ
仮想ネットリークの作成 …	
	アイ、ダクを設定します。サフネットを
基本 IP アドレス セキュリティ タグ 確認および作成	作成する必要がありますが、[IP アドレ
Azure Virtual Network (VNet) は、Azure のブライベート ネットワークの基本構成ブロックです。VNet を使用すると、Azure Virtual Machines (VM) など、Azure リリースの冬くの種類が有効になり、相互にまたはイソターネットやオンプレミスのネットワークと安全に満屋できます。VNet は、	コレクゴムシデコ・ルトマ記向ナやマルズ
独自のデータセンターで運用する従来のネットワークに似ていますが、スケーリング、可用性、分離などの Azure のインフラストラクチャの他の利点 を活用できます。 仮想ネットワークの詳細	∧] ダノからナノオルトで設定されている
	ため、変更は不要です。[確認および作
サブスクリブション* ①	
リソース グループ * ① AutomationSuiteJapan-rg イ	成]をクリックし、八刀内谷に问題が無い
新規作成	れば、[作成] をクリックします。
インスタンスの詳細	
名前 * AutomationSuiteJapan-vnet ✓	
地域 * Japan East イ	
確認および作成 次: IP アドレス > Automation のテンプレートをダウンロードする	
	 仮想ネットワークが正常にデプロイされ
べでのサービス) ● Microsoft VirtualNetwork-2022/02/04162358日##= ◇ …	たことを確認します
▶ INICIOSOFI, VIELUALIVELWOIK*20220204102330 恢安 × ··· × × 疗□- × ··· ×	
 ○ R来 ② 74-ドバックをお得ちしています。 → 2 入力 	
■ שカ 🥑 デプロイが完了しました	
デンブレート デンブレート デブロイ名: Microsoft.VirtualNetwork-20220204162358 開始時刻: 2022/24 162652 サブスのゾブション: 相関 ID: 5176010e-	
ソソース ソルーナ: AutomationSuitelapan-rg	
197-7 総額 分配 品格の理論	
A THE	
⊘ AutomationSuiteJapan-vi Microsoft.Network/Virt OK 操作の詳細	
 Q AutomationSuiteJapan vo Microsoft/Network/Virt. OK 操作の詳細 へ次の手順 	



				ネットワーク セキュリティ グループを作
				成します。
Microsoft Azure	₽ リソース、サービス、ドキュメントの	模隶 (G+/)		
 + リソースの作成 ☆ ホーム 20 ダッシュボード 注 すべてのサービス 	すべてのサービス 概要 すべて	207 <i>1</i> //9- ネットワーキング (35)		1. Azure Portal に移動します。
★ 8気に入り ■ すべてのリソース	お気に入り 最近使用したもの	 ◆ 仮想ネットワーク ◆ ロードバランサー 	 Azure Synapse Analytics (ブライベート リンク パブ) フロント ドア Standard または Premium (ブレビュー) 	2. ターゲットのリソース グループの下
リソース グループ App Service	カテゴリ 金松	 ▲ CDN 070721/k 	🖉 Network Watcher	でネットワーク セキュリティ グルー
SQL データベース Azure Cosmos DB	コンピューティング ネットワーキング	 マットワーク セキュリティ グループ パブリック IP アドレス 	ネットワーク セキュリティ グ ☆ ループ	プを作成します
Virtual Machines ロード パランサー	ストレージ Web	 ルートテーブル Dos (#ログラン) 	+ 作成 の 表示 = サードスエンドボイント ボリシー	
				 プロビジョニングすろすべてのマシン
				か、この共通のネットワーク セキュリテ
				ィ グループを使用する必要があります。
				 3. [すべてのサービス] >[ネットワーキン
				グ]>[ネットワークセキュリティグル
				一ノ] から [1作成] をクリックします。
				 ネットワーク セキュリティ グループはリ
				ソース グループの下に 研究 さわます
				$\gamma = \chi \gamma \nu = \gamma 0$ [$\epsilon = \epsilon = \epsilon + \epsilon + \epsilon = \epsilon$
				ネットワーク セキュリティ グループの
				[作成]をクリックします。
^{Fペてのサービス >} ネットワーク セキ	キュリティ グループ	£	×	
licrosoft		»		
・ Microsoft	リーク セキュリティ ク	クルーフ ♡ お気に入りに追加		
★ 4.1 (40)	3 Azure の評価)			
作成		_		
Resource 練頭 ブラン が中	wanager ピアノロイ(グラシックに変 B分に浸信部とサポート レビー	X)		
ネットワーク セキュリティ グリ	ハハルロ=wとソハード レビユー ループは、仮想ファイアウォニルン! ア#	読まするヤキュリティレイヤーで 伝想マシンレサゴネットかにネットル	フーク インターフェイス 経由で送受信され	
 ストラフィックを制御します。 って送受信トラフィックを許 サブネットに関連付けるアメ 		CLIP アドレス範囲、送信元ボート範囲、送信先 IP アドレス範囲、送信元ボート範囲、送信先 IP アドレス範囲、 マ規則が含まれています。このネットワーク セキュリティ グループは ペターフェイスまたはサブネットに関連 付けるアとができるネットワーク	しました。メール (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000) (1000	
セキュリティ規則は、一番/ ネットの送受信トラフィック	小さな番号が付いた規則から優先度 を許可するかどうかは、その評価に基	ックシュースはんにはクライワートに必須1000とこのでというパワーク 1頃に評価され、ネットワーク セキュリティ グループに関連付けられ ごいて決まります。 ネットワーク セキュリティ グループには個別の送	たネットワーク インターフェイスまたはサブ :受信規則があり、各規則でトラフィック	
を許可または拒否できます ンターネットに対する送信ト はすべて自動的に拒否され	ト。すべてのネットワーク セキュリティグ。 トラフィックが許可されます。また、Azu れます。これらの既定の規則をオーバー	ループには既定のセキュリティ規則があり、この規則では仮想ネッ reのロード バランサー プロープから送信されるトラフィックを許可す ライドするには、それよりも小さな優先度番号を持つ規則を指定	トワーク内のすべてのトラフィックおよびイ 「る規則もあります。 その他のトラフィック とします。	
クラシック デブロイ モデルで モデルでは、ネットワーク セ	では、エンドボイントとアクセス制御リス キュリティ グループまたはロード パランサ	(ト (ACL) を使用して仮想マシンの送受信トラフィックを制御して ナーとインバウンド NAT 規則を組み合わせることでトラフィックを制	いました。Resource Manager デブロイ 1御できます。インパウンド NAT 規則は	
機能的にはエンドポイントと Microsoft Azure では、道	と同じですが、新規デプロイについては 島加料金なしでネットワーク セキュリテ	: NAT 機能 (ポート変換など) が不要なネットワーク セキュリティ : ィグループを作成できます。	ブルーブを使用することをお勧めします。	



すべてのサービス > ネットワーク セキュリラ 基本 タグ 確認および作成 プロジェクトの詳細 サブスクリプション * リソース グルーブ * インスタンスの詳細 名前 * 地域 *	ュリティグループ > Fr イ グループ の作成 … AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 AutomationSuiteJapan-ng Japan East 、 < 前小 次: 97 > Automation のテンプレートをダウンロードする	仮想ネットワークの基本情報を入力した 後、必要に応じてタグを設定します。[確 認および作成]をクリックし、入力内容に 問題が無ければ、[作成]をクリックしま す。
すべてのサービス > デブイ ア 快着 (Cul+小) ≪ ● 機着 (Cul+小) ≪ ● 機着 (Cul+小) ≪ ■ 現 ■ カ ■ デジプレート	ecurityGroup-20220204163218 概要	ネットワーク セキュリティ グループが正 常にデプロイされたことを確認します。
Microsoft Anure + リソースの作家 香 =-ム 臣 サッシュポード 〒 水下なのサース ※ お思えが 田 オッズのサース ※ お思えが 日 オッズのサース ※ おしまう ※ なり ※ かり ※ なり ※ なり ※ かり ※ の ※ かり ※ かり ※ の ※ かり ※ かり ※ かり ※ かり ※ の ※ かり ※ かり ※ の ※ かり ※ の ※ かり ※ の ※ の ※ の ※ の ※ の ※ の ※ の ※ の	クリンス.9-22, 2533/268#810+20 - ピス 9-2207/49- 「ジビューラインダ 28 「ジビューラインダ 28 「ジェーダ 27 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジョー 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジェーター 「ジョー 「ジェーター 「ジョー 「ジェーター 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジェーター 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジェーター 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「ジョー 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	 仮想マシン(VM)を作成します。 1. Azure Portal に移動します。 2. [すべてのサービス]>[コンピューティ ング]>[Virtual Machines] から [作成] を クリックします。 ※ [仮想マシン (クラシック)] は 2023 年 3 月 1 日に完全に廃止される予定のた め、選択は非推奨です。(Microsoft 社 リンク)



		[仮想マシンの作成] ページが開きます。
		1. [基本] タブの [プロジェクトの詳細]
すべてのサービス > Virtual Machines 仮相マミハハの作成 …	>	下で、正しいサブフクリプションが
	ana 1100 Suiden na Mí Tan STuis ⊨ 9 (Jerene	
基本 ディスク ホットワーク	言理 eFfm ダン 雑誌C4DよUTFDA マシンタ作成します、Azure Marketolace からイメージを選択するか、沖白のカスタマイズされたイメージを	状されていることを確認し、[新規作
使用します。[基本] タブに続いて [確認] ルカスタマイズを行います。詳細情報 @	と作成]を完了させて既定のパラメーターで仮想マシンをプロビジョニングするか、それぞれのタブを確認してフ 『	成] を選択して新しいリソース グル・
プロジェクトの詳細		プを作成します(または既存のリソ-
デプロイされているリソースとコストを管理す し、管理します。	するサブスクリプションを選択します。 フォルダーのようなリソース グループを使用して、 すべてのリソースを整理	スグループをリストから選択しま
サブスクリプション* ③	~	
リソース グループ * ③	AutomationSuiteJapan-rg	す)。名前を人力します。
インフタンフの詳細	101 OG 1 F 994	2. [インスタンスの詳細] の下で、[仮想
仮想マシン名* ①	AutomationSuiteJapan-vm 🗸	シン名1に VM の名前を設定し、[リ・
地域 * 🛈	(Asia Pacific) Japan East	ジョン! な深中して 「イメージ」に
可用性オプション ①	インフラストラクチャ冗長は必要ありません 🗸	ション]を迭折して、[1メーン]に
セキュリティの種類 ①	Standard V	[Red Hat Enterprise Linux OS 8.4] を選打
イメージ* ①	Red Hat Enterprise Linux 8.4 (LVM) - Gen1 🗸	します。その他は既定値のままにし
Amura フポットインフタンフーの	すべてのイメージを表示 VM の世代の構成	4
H47 * 0	L	9 o
514 " 0	Statudal_F323_V2 - 52 VCPU 気(04 Gib 0/X L) (Ecod(00/7)) すべてのサイズを表示	3. インストールされている製品に基づ
管理者アカウント		マシン サイズについては、ハードウ
認証の種類 ①	 SSH 公開キー バスワード 	- ア亜佐をご覧ください、 今回け「
□-ザ-名 * ①	uipath 🗸	
パスワード* ①	······································	全 (Completed)」構成のハードウェア
バスワードの確認 * ①	······································	要件を満たすために、「F32s-v2」と
受信ポートの規則		索」。「Standard F32s v2 – 32 vCPU
パブリック インターネットからアクセスできる クセフを指定できます	仮想マシン ネットワークのポートを選択します。 [ネットワーク] タブで、より限定的または細かくネットワーク ア	
パブリック受信ポート * ③	し なし	図、64 GIB のメモリ」を選択してい
	● 選択したボートを許可する	す。
受信ポートを選択 *	HTTPS (443), SSH (22)	※ マシン サイズが存在しない場合に
	▲ これにより、すべての IP アドレスが仮想マシンにアクセスできるようになります。 これはテスト	
	にのみ推奨されます。 (ネットワーク) タフの詳細設定コントロールを使用して、受信トラフイッ クを既知の IP アドレスに制限するための規則を作成します。	VCPUクオーダを引き上ります。
		(参考: <u>リージョンの vCPU クォー</u> :
ライセンス		を引き上げる)
Red Hat Cloud Access が有効になって 用して、この VM に Red Hat サブスクリフ	いの運体な ked Hat Enterprise Linux リノスクリフタンをお行らい場合は、AZure ハイフリット特殊を使 ジョンをアタッチし、コンピューティング コストを節約できます 詳細情報 ピ	
お使いの Azure サノスクリノションは、現 スクリプションを Cloud Access に追加す	在、Red Hat Cloud Access の一部 ぐはありません。この VM ぐ AHB を有効にするには、この Azure サノ 「る必要があります。 詳細情報 C	
		ド] 認証タイプを選択し、残りのフィ
確認および作成	<前へ 次: ディスク >	ールドに入力します。
		 5 受信ポート ルールとして HTTPS (A)
		ポートと SSH (22) ポートを選択しま
		す。
		「「次・ディスクヽ」たクリック」ます
		0. [八: ノイヘン 7] をノリソンしより。



すべてのサービス > 仮想マシンの作成 >	新しいディスクを作成する >	セーレー セーレー セーレー セーレー セーレー セーレー セーレー セーレー
仮想マシンの作成 …		
基本 ディスク ネットワーク 管	管理 詳細 タグ 確認および作成	2 0
Azure VM には、1 つのオペレーティング ジ す。VM のサイズによって、使用できるストレ	ステム ディスクと短期的なストレージの一時的ディスクがあります。 追加のデータ ディスクをアタッチできま −-ジの種類と、許可されるデータ ディスクの数が決まります。 詳細情報 C ²	ディスクの構成は <u>ハードウェア要件</u> を
ディスクのオフション	Dramium SSD /ローカルアモフトレージ)	確認ください。
UM と共に削除 ①		
ホストでの暗号化 ①		ここでは計3つの下記ディスクを作成
	—	
選択したサブスクリプションには、ホス)	トでの増号化が登録されていません。この機能の有効化に関する詳細情報 🛛	し、この VIVI に按杭(ノダッナ)します。
暗号化の種類 *	(既定) ブラッドフォーム マネージド キーを使用した保存時の暗号化 🗸 🗸	1. クラスター用: 256 GiB
Ultra Disk の互換性を有効にする ①		2. データ用: 2 TiB
データ ディフク for 'AutomationSuite	lanan-um'	3. etcd 用: 16 GiB
クータ フィスク for AutomationSuite 仮想マシンに別のデータ ディスクを追加およ	ジapan-vm こび構成したり、既存のディスクを接続したりすることができます。この VM には、一時ディスクも付属して	
います。 LUN 名前	サイズ (ディスクの種類 ホスト キャッ VM と共に削除 ①	
新しいディスクを作成し接続する 既存	Fのディスクの接続	※ CPU/ / モリ/ ティスク か 取 低 安 件 に)
		たない場合、インストール時の前提
		件チェックでエラーとなりインスト
◇ 詳細		
◇ 詳細		ルができませ/
> 詳細 確認および作成	前へ 次: ネットワーク >	ルができません。
 > 詳細 確認および作成 	前へ 次: ネットワーク >	ルができません。
 > 詳細 確認および作成 	前へ 次: ネットワーク >	ルができません。
 確認および作成 	前へ 次: ネットワーク >	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます、1サイズを変更します111×20かり
Y 詳細 GRUND GRUND GRUND GRUND GRUND Friday Frid	前へ 次: ネットワーク > 、 > 新しいディスクを作成する >	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクから
Y 詳細 確認および作成 すべてのサービス > 仮想マシンの作成 新しいディスクを作成 ・	前へ 次: ネットワーク > を > 新しいディスクを作成する > する …	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクかい サイズと IOPS を設定します。
	前へ 次:ネットワーク > 前へ 次:ネットワーク > な > 新しいディスクを作成する > する … めの新しいディスクを作成します。ディスクの料金は、ディスク サイズ、ストレージの種類、およびトラ	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクかい サイズと IOPS を設定します。
 詳細 確認および作成 すべてのサービス > 仮想マシンの作成 新しいディスクを作成: M にアブリケーションとデータを格納するたい ザクションの数などの要因に応じて異なり 	前へ 次:ネットワーク > 前へ 次:ネットワーク > する … めの新しいディスクを作成します。ディスクの料金は、ディスク サイズ、ストレージの種類、およびトラ ます。 詳細情報 co	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクから サイズと IOPS を設定します。
 学 詳細 確認および作成 すべてのサービス > 仮想マシソの作成 新しいディスクを作成 Mにアプリケーションとデータを格納するたい ヴクションの数などの要因に応じて異なり 5前 * 	前へ 次:ネットワーク > 取入 次:ネットワーク > な > 新しいディスクを作成する > する … めの新しいディスクを作成します。ディスクの料金は、ディスク サイズ、ストレージの権限、およびトラ ます。詳細情報 c ^o AutomationSuiteJapan-vm_DataDisk_k8s /	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクから サイズと IOPS を設定します。
 学 詳細 確認および作成 すべてのサービス > 仮想マシンの作成 新しいディスクを作成: M にアプリケーションとデータを培納するたけ ザクションの飲などの要因に応じて異なり 部* -スの種類* ① 	 前へ 次:ネットワーク > 前へ 次:ネットワーク > な > 新しいディスクを作成する > する … めの新しいディスクを作成します。ディスクの料金は、ディスク サイズ、ストレージの種類、およびトラます。 詳細情報 c^o AutomationSuiteJapan-vm_DataDisk_k8s / 区 (空のディスク) // 、 	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクから サイズと IOPS を設定します。
 	 前へ 次:ネットワーク> 第1しいディスクを作成する > する … めの新しいディスクを作成します。ディスクの料金は、ディスク サイズ、ストレージの推現、およびトラます。 詳細情報 c* AutomationSuiteJapan-vm_DataDisk_k8s / 区は (空のディスク) // (2015) 1024 GiB Premium SSD LRS サイズを変更します 	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクかい サイズと IOPS を設定します。
◇ 詳細 な認われび作成 すべてのサービス > 仮想マシンの作成 新しいディスクを作成: Mにアプリケーションとデータを培納するたい ガクションの数などの要因に応じて異なり S計 * /-スの種類 * ○ たイズ * ○ 皆号化の種類 *	 前へ 次:ネットワーク > 前へ 次:ネットワーク > オンス:ネットワーク > オンスシークシーク > オンスシークシーク > する 、 する 、	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクかい サイズと IOPS を設定します。
★ 詳細	 前へ 次:ネットワーク> 第へ 次:ネットワーク> 第人 次:ネットワーク> 第人 次:ネットワーク> する、 ポースクを作成します。ディスクの利金は、ディスク サイズ、ストレージの推現、およびトラます。 詳細情報 ロ 加速情報 ロ ▲utomationSuiteJapan-vm_DataDisk_k8s 太し (空のディスク) 「ひ24 GiB Premium SSD LRS サイズを変更します 「病定」ブラットフォーム マネージドキーを使用した保存時の暗号化 「はい ● いいえ 	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクから サイズと IOPS を設定します。
◇ 詳細 すべてのサービス > 仮想マシンの作成 新しいディスクを作成: 新しいディスクを作成: パグワションの数などの要因に応じて異なり 4前 * ハースの種類 * ① カイズ * ① 音号化の種類 * も有ディスクを有効にする バケノンを利除	 煎∧ 次:ネットワーク > 煎∧ 次:ネットワーク > (次:ネットワーク > (する) ハ・ めの新しいディスクを作成します。ディスクの料金は、ディスク サイズ、ストレージの種類、およびトラます。 詳細情報 c* (私utomationSuiteJapan-vm_DataDisk,k8s / (私にの面打・スク) / (四のディスク) / (四のディスク) / (四のディスク) / (四のディスク) / (限定) ブラットフォーム マネージドキーを使用した保存時の暗号化 / (以) ・ いいえ 	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクかゆ サイズと IOPS を設定します。
◇ 詳細 すべてのサービス > 仮想マシンの作成 新しいディスクを作成: 新しいディスクを作成: M にアブリケーションとデータを核納するたいで異なり 名前 * ノースの種類 * ○ ナイズ * ○ 指号化の種類 * 共有ディスクを有効にする M と共にディスクを削除	前A 次:ネットワーク> お 次:ネットワーク> する … めの新しいディスクを作成します。ディスクの料金は、ディスク サイズ、ストレージの種類、およびトラます。詳細情報 c* AutomationSuiteJapan-vm_DataDisk_k8s なし (空のディスク) 1024 GIB Premium SSD LRS サイズを変更します (病定) ブラットフォーム マネージドキーを使用した保存時の障号化 」はい ● いいえ 」はい ● いいえ	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクかい サイズと IOPS を設定します。
◇ 詳細 すべてのサービス > 仮想マシソの作成 新しいディスクを作成: ハバ (こアブリケーションとデータを格納するた)・ ガクションの数などの要因に応じて異なり さ前 * ノースの種類* ① ナイズ* ① 音号化の種類 * 共有ディスクを有効にする ハムと共にディスクを削除	 前へ 次:ネットワーク> 第へ 次:ネットワーク> 第しいディスクを作成する>> する … めの新しいディスクを作成します。ディスクの料金は、ディスク サイズ、ストレージの種類、およびトラます。 詳細情報 o* AutomationSuiteJapan-vm_DataDisk_k8s なし (空のディスク) 1024 GiB Premium SSD LRS サイズを変更します (病定) ブラットフォーム マネージドキーを使用した保存時の暗号化 しいしえ 	ルができません。 まず、クラスター用のディスクを作成 ます。[サイズを変更します] リンクから サイズと IOPS を設定します。

т



74.09 42.00 ± 0 F F	ディスク サイズ	SAUDOTHIC 7 BIOCOTI	スクを作成する >					
		(の選択					×	です。
The first second se	利用可能なディスク サイズ	ズとその機能を参照します。						
Image: Notation for the state in	ディスク SKU ① Remium SSD (ローカル)	して厚フトレージン	~					• $\tau \tau \wedge \gamma \gamma \tau \wedge 256 \text{ GIB}$
	サイズ	パフォーマンスレベル	プロビジョニングされ	プロビジョニングされ	最大共有数 ①	最大バースト IOPS ①	最大バースト スループット ①	パフォーマンスレベル:1100 IOPS
************************************	4 GiB	P1	120	25	3	3500	170	
	8 GiB	P2	120	25	3	3500	170	
1000000000000000000000000000000000000	16 GiB	P3	120	25	3	3500	170	
	64 GiB	P6	240	50	3	3500	170	
100 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	128 GiB	P10	500	100	3	3500	170	
はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	256 GiB	P15	1100	125	3	3500	170	
	512 GiB	P20	2300	150	3	3500	170	
************************************	1024 GIB	P30	7500	200	5			
Image: Mining Minin	4096 GiB	P50	7500	250	5			
	8192 GiB	P60	16000	500	10			
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	16384 GiB	P70	18000	750	10			
	32767 GiB	P80	20000	900	10			
	カスタム ディスク サイズ (Gi	iiB) * 🕕						
Creating (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	256		\checkmark					
F7(C0+ビス) 65579/00550 新しいディスクを作成する … ME/T797-022/F-75489154006000010/014200010000000000000000000000000	0K	i MBps (死足値)	~					
x (COV-C2) を思す20年ま) 新しいディスクを作成する … http://www.space.com/cover.up/2019年度はま 5/2019年度は 5/2019年度は 5/2019年度 5/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2019年15/2								ディスク サイズが変更されたことを確
新しいディスクを作成する … ALC (ION) をクリックリします。 ALC (ION) をクリックリレます。 ALC (ION) をクリックリックします。 ALC (ION) をクリックリレます。 ALC (ION) をのりゅう ALC (ION) をのりゅう ALC (ION) EXP (ION)	すべてのサービス	ス > 仮想 マシンの イ	作成 >					て [01] たクリック キオ
	新しいデ	ィスクを作ら	龙する …					して、[UK] をクリックします。
# * ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	/M にアプリケーショ ソザクションの数な。	ョンとデータを格納する どの要因に応じて異れ	るための新しいディス なります。 詳細情報	クを作成します。ディ 服 🖉	ィスクの料金は、デ	ኛ ተスク サイズ、 ストレージ	ジの種類、およびトラ	
- た30度線* ① 〔4〕(第07:43) 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 「 「 」 「 」 「 」 「 」 」 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	名前 *		Automation	nSuiteJapan-vm_D	DataDisk_k8s		<u> </u>	
X1X + ①			+1 (************************************	(ליד)				
MX* ○	/-スの種類* ①	0	- ねし(ミの)1				~	
emption with (死型) 75/12/1-0.74-0.74-12/14-12/14-12/14-14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/14/1	ノースの種類* ①	U	なし(主の)1	127)				
★キディ27を容的にする ○ ばい ● いいえ M と共にディ27を留け除 ● CK CK CK CK CK Fr(C0)-ビス > (C気気マシンの作成 … Y For C0/-ビス > (C気気マンンの作成 … Y > 9 ディスクを追加よび気気し、気気の分くのクを読用したりましたできます。この VM には、一時ディスク付加減して います。 UN を前 サイズ (_ ディスクを読得したりましたできます。この VM には、一時ディスク付属して います。 UN を前 サイズ (_ ディスクを読得したりできます。この VM には、一時ディスク付属して います。 UN を前 サイズ (_ ディスクを読得したりできます。この VM には、一時ディスク付属して したいディングと目前には読ます。 施得のティスクの読録 V = Manageord Manageord Manageord Construction SSD LIS をし 、 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	ノースの種類 * ①	y	なり(空の)イ 256 GiB Premium SS サイズを変更	SD LRS します				
AL 2 株式 47.272 #11# CK CK CK CK T-77707-ビスト 仮想マシンの作成 … X-7-9 74.27 for 'AutomationSuiteJapan-vm' (TSP27)/28/07-9 74.72 %#RUFJ/97-C27	ノースの種類 * ① サイズ * ① 谙号化の種類 *	y	なじ(空の)イ 256 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) ブラジ	SD LRS 「します ットフォーム マネージト	* キーを使用したほ	そ存時の暗号化	~	
マベロサービス > ダバロサービス > 仮想マシンの作成 … メ ブーク ディスク for 'AutomationSullelapan-vm' (管理マン/CS10/F-9 ディスクを接続したりまたしができます。20 VM には、一時ディスクも信息にています。 レレバ 名称 サイバス・ディスクを接続したりまます。 レレバ 名称 サイバス・ディスクを接続したりをまたができます。20 VM には、一時ディスクも信息にています。 レビック・ジェンクションの作成 3000-000-000-000-000-000-000-000-000-00	ノースの種類* ① サイズ* ① 宿号化の種類* 共有ディスクを有効	めにする	なじ(空の)イ 256 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) プラッ (はい) ④	SD LRS します ットフォーム マネージト ・いいえ	*キーを使用したら	保存時の暗号化	~	
	ノースの種類* ○ サイズ* ○ 暗号化の種類 * 共有ディスクを有効 バM と共にディスク	ッ 効にする 「を削除	なじ(空の)イ 256 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) プラッ (限定) プラッ	SD LRS します ットフォーム マネージト) いいえ	*キーを使用した侍	R存時の暗号化 1	~	
fx(0) + ビス >	ノースの種類* ○ サイズ* ○ 端号化の種類* は有ディスクを有効 /M と共にディスク	ッ 効にする 「を削除	なじ (生め) A 256 GiB Premium SS サイズを変更 (限定) ブラッ (限定) ブラッ しはい (SD LRS にします ットフォーム マネージト) いいえ	^ミ キーを使用した係	尿存時の暗号化	~	
t なてのサービス > 仮想マシンの作成 …	ノースの種類* ○ サイズ* ○ 満号化の種類* 共有ディスクを有効 バM と共にディスク: OK	9 防にする 1を削除	40 (望の)4 2356 GiB Premium SS サイズを変更 (限定) ブラ: (限定) ブラ: (限定) マラ: (限定) マラ:	SD LRS します ントフォーム マネージト) いいえ	* キーを使用したほ	R存時の暗号化	×]	
仮想マシンの作成 … ズークディスク for 'AutomationSuiteJapan-vm' (広想マシンに別のデ-クディスクを追加および構成したり、既存のディスクを接機したりすることができます。20 VM には、一時ディスクも付属して (ます)、 LUN 名前 サイズ (… ディスクの種類 ホスト キャッ… VM と共に前除 ○ ○ ▲utomationSuiteJapan-vm, DataDick Lös 新しいディスクを作成しませす。 き、時/のディスクの送来 ★### ★### ★### ★### ★###	ノースの種類* C サイズ* ①	ッ 効にする 「を削除	40 (生の) 4 256 GiB Premium SS サイズを変更 (現定) ブラ・ (現定) ブラ・ しはい (SD LRS します ソトフォーム マネージト ● いいえ	* キーを使用したほ	R存時の暗号化 	×]	クラスター用のディスクが作成された
ブータディスク for 'AutomationSuiteJapan-vm' (法 「0」とします。 (広地マンに別のデータディスクを追加および場成したり、既存のディスクを接続したりすることができます。この VM には、一時ディスクも付属しています。 (は 「0」とします。 (レN 名前 サイズ (ディスクの種類 ホストキャツ VM と共に削除 ① () (」 AutomationSuiteJapan-vm.DataDisk_188 () () AutomationSuiteJapan-vm.DataDisk_188	ノースの種類* C サイズ* ① 端号化の種類* 共有ディスクを有効 バM と共にディスク・ OK のK すべてのサービス	ッ 防にする 「を削除 」	40 (望の)4 2356 GiB Premium SS サイズを変更 (限定) ブラ: (限定) ブラ: (限定) マラ: マ	SD LRS します ントフォーム マネージト) いいえ	* キーを使用したほ	R存時の暗号化	×]	クラスター用のディスクが作成された
データディスク for 'AutomationSulteJapan-vm' 仮想マンに別のデータディスクを追加おび隅成したり、既存のディスクを接続したりすることができます。この VM には、一時ディスクも付属しています。 LUN 名前 サイズ (ディスクの種類 ホストキャッ VM と共に削除 ○ ● AutomationSulteJa	ノースの種類* C サイズ* ① 端号化の種類* 共有ディスクを有効 パM と共にディスク・ OK のK すべてのサービス (反相コマン)、	ッ を 削除 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	40 (望の)4 2356 GiB Premium SS サイズを変更 (限定) ブラ: (限定) ブラ: (限定) マラ: マー	SD LRS します ントフォーム マネージト) いいえ	[*] キーを使用したほ	R存時の暗号化	~ ``	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号(L)
データディスク for 'AutomationSuiteJapan-vm' (安康マシンに別のデータディスクを追加および構成したり、既存のディスクを接続したりすることができます。この VM には、一時ディスクも付属して います。 LUN 名前 サイズ (… ディスクの種類 ホストキャッ… VM と共に削除 ○ ○ ▲utomationSuiteJa	 ノースの種類* ① ナイズ* ① 盲号化の種類* 由育ディスクを有効 バMと共にディスク・ マK すべてのサービス、 坂想マシン 	ッ 地 地 か 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	40 (望の)4 256 GiB Premium S5 サイズを変更 (現定) ブラ? (現定) ブラ? (現定) ジラ? ・	SD LRS によす ソトフォーム マネージト) いいえ	[*] キーを使用した係	R存時の暗号化	×	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (LI
仮想マシソに別のデータディスクを追加および構成したり、既存のディスクを接続したりすることができます。この VM には、一時ディスクも付属して します。 LUN 名前 サイズ (… ディスクの種類 ホストキャッ… VM と共に削除 ○ ○ ▲utomationSuiteJa	 ノースの種類* ① ナイズ* ① 盲号化の種類* 由有ディスクを有効 バM と共にディスク・ のK すべてのサービス 仮想マシン 	ッ 応 で 前除 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	40 (望の)4 2356 GiB Premium SS サイズを変更 (限定) ブラ: (限定) ブラ: (限定) ブラ: (現定) ブラ: (現) (現) (現) (現) (現) (現) (現) (現) (現) (現)	SD LRS にます ットフォーム マネージト) いいえ	[、] キーを使用した係	R存時の暗号化 	×	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (L) は「0」とします。
UN 名前 サイズ (… ディスクの種類 ホスト キャッ… VM と共に削除 ○ ○ ▲ AutomationSuiteJa… 256 Premium SSD LRS なし ♥ ■ ● AutomationSuiteJapan-vm, DalDick,V88 新化いディスクを作成し接続する 執行のティスクの接続 ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	 ノースの種類* ① サイズ* ① ¹ 宿号化の種類* ・ 宿号化の種類* ・ ・ ・ ・	ッ 透明除 シ ンの作成 for 'AutomationSu	40 (生の)イ 256 GiB Premium SS サイズを変更 (限定) ブラ: (限定) ブラ: (限定) ブラ: (現定) マラ: ・ ・ ・ ・ · · · · · · · · · · · · ·	SD LRS にます リトフォーム マネージト ● いいえ	[、] キーを使用した係	茶存時の暗号化	×	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (L) は「0」とします。
Control Line 212 Li	 ノースの種類* () サイズ* () 皆号化の種類* 情号化の種類* 情号化の種類* () ()<	ッ 応する を削除 > ンの作成 … for 'AutomationSu のデータディスフを追加2	はし(生の)4 256 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) ブラ・ (既定) ブラ・ (はい ④ ✓ ・ ・・ iteJapan-vm' および構成したり、既	 アレフォーム マネージト リトフォーム マネージト いいえ 	[、] キーを使用した係	茶存時の暗号化	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (LI は「0」とします。
● ▲utomationSuiteJa	 ノースの種類* () サイズ* ① 諸号化の種類* は寄子れスクを有効 バM と共にディスク マスクを有効 バM と共にディスク のK すべてのサービス (仮想マシンに別の います。) () 	ッ 防にする を削除 > ンの作成 … for 'AutomationSu のデータディスクを追加る 2 m	はし(生の)4 256 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) ブラッ ○ はい ④ ✓ ・ iteJapan-vm' および構成したり、既 サイズ・	 アレフォーム マネージト リトフォーム マネージト いいえ マのディスクを接続し ディフクの性報 	[、] キーを使用した係 たりすることができま キフレキン	R存時の暗号化 (す。この VM には、一時	、	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (Li は「0」とします。
新しいディスクを作成し接続する	 ノースの種類* () サイズ* () 市号化の種類* 市号化の種類* 中ディスクを有効 バM と共にディスク・ のK すべてのサービス のK すべてのサービス びん想マシンに別の います。 LUN 名 	ッ 达利除 シ ンの作成 … for 'AutomationSu カデータディスクを追加。 名前	はじ(生の)イ 256 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) ブラ・ (既定) ブラ・ (はい ④ マ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 スクリ スクリ	* キーを使用した() たりすることができま ホスト キャ	R存時の暗号化 ます。この VM には、一時 ry VM と共に削	✓	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (Li は「0」とします。
✓ 詳細 確認および作成 <前へ 次:ネットワーク >	 ノースの種類* () サイズ* () 結号化の種類* 株有ディスクを有効 バM と共にディスク・ OK すべてのサービス のK すべてのサービス びた想マシンに別の います。 い、名 () () () () () 	ッ 地にする た 剤除 シ ンの作成 のデータディスクを追加 2 路 utomationSuiteJan	はし(生の)イ 256 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) ブラ・ (既定) ブラ・ (既定) ブラ・ はい ④ マ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 アレフォーム マネージト アレフォーム マネージト いいえ いいえ アイスクを接続し ディスクの種類 Premium SSD LR 	[×] キーを使用した(たりすることができま ホストキャ is なし	未存時の暗号化 ます。この VM には、一時 ドす。この VM には、一時 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	✓	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (Li は「0」とします。
✓ 詳細 確認および作成 <前へ 次:ネットワーク >	ノースの種類* () サイズ* () 培号化の種類* 共有ディスクを有効 /M と共にディスク・ () () () () () () () () () () () () ()	ッ かにする *を削除 > ンの作成 … for 'AutomationSuite のデータディスクを追加; 名前 wutomationSuitelap ff成U接続する 考	40 (単の)4 2356 GiB Premium S5 サイズを変更 (研定) ブラ・ (研定) ブラ・ (研定) ブラ・ はい (マ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 マトフォーム マネージト シトフォーム マネージト シ いいえ シ いいえ ディスクを接続し ディスクの種類 Premium SSD LR 	[*] キーを使用した(4 たりすることができま ホストキャ is なし	R存時の暗号化 ます。この VM には、一時 マツ VM と共に削	✓	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (L) は「0」とします。
✓ 詳細 確認および作成 <前へ 次:ネットワーク >	 ノースの種類* () サイズ* ① 諸号化の種類* は寄子いの種類*() は、アイスクを有効 バM と共にディスク・ のK のK ブータディスク f () <li< td=""><td>ッ 物にする を削除 ンの作成 … for 'AutomationSu のデータディスクを追加。 名前 AutomationSuiteJam AutomationSuiteJam 「死し接続する 考</td><td>はし(生の)イ 2356 GiB Premium SS サイズを変更 (研定) ブラ: ○ はい ④ マ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td> アトフォーム マネージト レルマネージト レルマネージト レルマネージト レルマネージト アイスクを接続し ディスクの種類 Premium SSD LR Premium SSD LR </td><td>* キーを使用したほ たりすることができま ホスト キャ IS なし</td><td>R存時の暗号化 ます。この VM には、一時 rg VM と共に削 マ</td><td>✓</td><td>クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号(L) は「0」とします。</td></li<>	ッ 物にする を削除 ンの作成 … for 'AutomationSu のデータディスクを追加。 名前 AutomationSuiteJam AutomationSuiteJam 「死し接続する 考	はし(生の)イ 2356 GiB Premium SS サイズを変更 (研定) ブラ: ○ はい ④ マ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 アトフォーム マネージト レルマネージト レルマネージト レルマネージト レルマネージト アイスクを接続し ディスクの種類 Premium SSD LR Premium SSD LR 	* キーを使用したほ たりすることができま ホスト キャ IS なし	R存時の暗号化 ます。この VM には、一時 rg VM と共に削 マ	✓	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号(L) は「0」とします。
確認および作成 <前へ	ノースの種類* ① サイズ* ① 宿号化の種類* は有ディスクを有効 バMと共にディスク・ て、 て、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	ッ を削除 を削除 ンの作成 … for 'AutomationSu のデータディスクを追加。 名前 uutomationSuiteJa AutomationSuiteJa を 「のに見続する 考	はし(望の)4 2356 GiB Premium SS サイズを変更 (研定) ブラ: ○ はい マ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 マトフォーム マネージト シトフォーム マネージト シトフォーム マネージト シトレス シトレス ディスクの種類 Premium SSD LR 	[*] キーを使用したほ たりすることができま ホストキャ is なし	R存時の暗号化 R存時の暗号化 Rす。この VM には、一時 ry VM と共に削 マ	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号(Ll は「0」とします。
確認および作成 <前へ 次:ネットワーク >	ノースの種類* ○ サイズ* ○ 培号化の種類* は有ディスクを有効 パMと共にディスク・ マ く て く た の 大 の サービス で 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の の を 有効 の 、 の の を 有効 の 、 の の を 有効 の 、 の を 有効 の 、 の を 有効 の 、 の を う の 、 の を う の 、 の を う の 、 の を 、 の を 、 の を 、 の 、 の 、 の を う 、、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の	ッ 地にする 地で削除 シ ンの作成 のデータディスクを追加 な 名前 wutomationSuiteJan 「AutomationSuiteJan 「「成し摸続する」 別	はし(望の)4 2356 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) ブラ: ○ はい ④ マ ・・ iteJapan-vm' および構成したり、既 サイズ (256 an-vm, DataDisk, k88 没存のティスクの接続	存のディスクを接続し ディスクの種類 Premium SSD LR	* キーを使用した係 たりすることができま ホストキャ IS なし	R存時の暗号化 R存時の暗号化 State of the set of	✓	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (L) は「0」とします。
確認および作成 <前へ	ノースの種類* ① サイズ* ① 市号化の種類* 市号化の種類* 市号イスクを有効 パMと共にディスク? OK すべてのサービス びん見マシンに別のします。 エレい 名 「ロ ~ A 新しいディスクを1 ~ 詳細	ッ 地にする 地を削除 ンの作成 … for 'AutomationSu のデータディスクを追加 なる ないのまはのSuiteJap 「お成し接続する 男	はし(望の)4 256 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) ブラ? ○ はい ④ マ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	存のディスクを接続し Fremium SSD LR Premium SSD LR	[*] キーを使用した係 たりすることができま ホストキャ is なし	R存時の暗号化 R存時の暗号化 (す. この VM には、一時 19 VM と共に削 ✓ ✓	×	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (L) は「0」とします。
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, _,, _	ノースの種類* ① サイズ* ① 指号化の種類* は有ディスクを有効 パMと共にディスク・ のK すべてのサービス のK すべてのサービス 「た見、マシン」 データディスク ft (仮想マシンに別の います。 LUN 名 「」」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「	ッ や た あ た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た し の た ろ た し の た ろ た し の た ろ た し の た ろ た し の た ろ た し の た ろ た し の た ろ た し の た ろ た し ろ た ろ た し ろ た ろ た ろ た ろ た の た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ た ろ ろ ろ た ろ ろ ろ た ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ	はし(生の)イ 256 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) ブラ? ○ はい ④ ✓ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	マクティスクを接続し ディスクの種類 Premium SSD LR	[*] キーを使用した係 たりすることができま ホストキャ is なし	R存時の暗号化 ます。この VM には、一時 19 VM と共に削 マー	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (L) は「0」とします。
	 ノースの種類* ① サイズ* ① 培号化の種類* 株有ディスクを有効 バM と共にディスク・ OK すべてのサービス (仮想マシンに別の います。 LUN 名 ① ~ A 新しいディスクを行 ※ 詳細 確認および作 	ッ 地にする 地を削除 シンの作成 for 'AutomationSu のデータディスクを追加 な AutomationSuiteJap 「和はomationSuiteJap 「和はomationSuiteJap 「和はomationSuiteJap	 (理の)イ 2356 GiB Premium SS サイズを変更 (既定) ブラ? はい はい ばはJapan-vm' および構成したり、既 サイズ (… 256 an-vm_OataDisk_Mag ページイスクの接続 ボロシアイスクの接続 <td>存のディスクを接続し ディスクの権類 Premium SSD LR : ネットワーク ></td><td>[*] キーを使用した係 たりすることができま ホストキャ is なし</td><td>R存時の暗号化 ます。この VM には、一時 マ VM と共に削 マー</td><td>×</td><td>クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (Ll は「0」とします。</td>	存のディスクを接続し ディスクの権類 Premium SSD LR : ネットワーク >	[*] キーを使用した係 たりすることができま ホストキャ is なし	R存時の暗号化 ます。この VM には、一時 マ VM と共に削 マー	×	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (Ll は「0」とします。
	 ノースの種類* () サイズ* ① ¹ 宿号化の種類* ¹ 晴号化の種類* ¹ 晴号化の種類* ¹ 晴号化の種類* ¹ 晴号化の種類* ¹ 晴子ィスクを有効 ¹ 「「「「「」」」、 ¹ 「」」、 ¹ 「「」」、 ¹ 「「」」、 ¹ 「「」」、 ¹ 「」」、 ¹ 「「」」、 ¹ 「」」、 ¹ 「「」」、 ¹ 「」」、 ¹ 「」、 ¹ 「」」、 ¹ 「「」」、 ¹ 「」、 ¹ 「」、	ッ かにする たを利除 シンの作成 … for 'AutomationSu のデータディスクを追加 な 「 成	(建し(単の)4 (単の)4 (単の)4 (単の)4 (単の)4 (原定) ブラ: (原定) ブラ: (原定) ブラ: (原定) ブラ: (はい ④ (原定) ブラ: (する) (また) (原定) ブラ: (また) (原定) ブラ: (原定) ブー: (原注) ブー:	SD LRS (します)トフォーム マネージ}) いいえ) いいえ) いいえ) アイスクを接続し ディスクの種類 Premium SSD LR) :ネットワーク >	[×] キーを使用した(たりすることができま ホストキャ is なし	菜存時の暗号化 菜す。この VM には、一時 マリー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー	↓	クラスター用のディスクが作成された とを確認します。論理ユニット番号 (LI は「0」とします。





パブリックIPアドレスの作成 × AttomationSuiteJapan-vm-ip AutomationSuiteJapan-vm-ip SKU (*) Basic (*) Standard 別り当て (*) *) Pasic *) Pasic *) Microsoft ネットワーク (*) インターネット 可用性ゾーン ソーン冗長	 (任意)パブリック IP を作成する場合は下記の手順を実施します。 1. [パブリック IP] ドロップダウンの [新規作成] をクリックします。 2. [パブリック IP] から [Standard] SKU を選択します。
RNEL-8_4-20220221111247 「概要 ターの ● 1時 ● キャクセル ● F770 P ● 最終の時時に更新 ● 1時 ● キャクセル ● F770 P ● 最終の時時に更新 ● 70*f10*f25 = 1 ● 70*f10*f25 = 1 </th <th> 必要に応じて[管理]タブ、[詳細]タ ブ、[タグ]タブを設定します。 [確認と作成]をクリックして、検証を クリアしたことを確認して、[作成]を クリックします。 デプロイが完了したこと確認し、[リソー スに移動]をクリックして次の手順に進み ます。 </th>	 必要に応じて[管理]タブ、[詳細]タ ブ、[タグ]タブを設定します。 [確認と作成]をクリックして、検証を クリアしたことを確認して、[作成]を クリックします。 デプロイが完了したこと確認し、[リソー スに移動]をクリックして次の手順に進み ます。

オペアのサービス Nintural Marshimore N		vm)と同じ仮想ネットワークに、踏み
仮想マシンの作成 …		ーバー(Windows OS のクライアント用
✓ 検証に成功しました		VM)を作成します。作成情報は左図を 照ください。
基本		
サブスクリプション		この後の手順で VM(AutomationSuiteJa
リソース グループ	AutomationSuiteJapan-rg	
仮想マシン名	bastion	VMJに SSH 接続して作業を進めるため
地域	Japan East	踏み台サーバーに SSH クライアント(T
り用性オブジョブ ヤキュリティの種類	1フフラストラクテヤルに按は必要のりません Standard	
イメージ	Windows 10 Enterprise, version 21H2 - Gen1	Term 寺)をインストールしておさます
サイズ	Standard F4s v2 (4 vcpu 数、8 GiB のメモリ)	実際に踏み台サーバーから SSH を使用
ユーザー名	uipath	
パブリック受信ポート	RDP	て VM への接続が可能かテストしてお
Windows ライセンスを既にお持ちの場合		 ましょう 必要に応じて lust in Time ⁻
ノコゼノ人UV理規 Azure スポット	windows クライアフト LALAえ	
ment & ZUD ZT	v.v./L	セスを要求します。
ディスク		
OS ディスクの種類	Premium SSD LRS	
マネージド ディスクを使用	(はい	
VM と共に OS ディスクを削除	有効	
エフェメラル OS ディスク	いいえ	
ネットワーク		
仮想ネットワーク	AutomationSuiteJapan-vnet	
サブネット	default (10.7.0.0/24)	
パブリック IP	(新規) bastion-ip	
高速ネットワーク	オン	
この仮想マシンを既存の負荷分散ソリューショ の後ろに配置しますか?	ョン いいえ	
VM が削除されたときにパブリック IP と NIC : 削除する	を有効	
作成	☆∧ 次∧ 、 Automation のテンプルートをグウンロードする	
1144		
		 先程作成された Automation Suite 用の
		先程作成された Automation Suite 用の
i) AutomationSuiteJapan-ym &	×	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を
 ActomationSublayan -g > AutomationSuiteJapan-vm ターー またい 第三の小の マーマーを示す 	× 8 □ G = 第4+75+ ● 利油 〇 単数の単形に開発 ■ モバルな様く ■ cu/rs <i>R</i> 7+-5/02	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ
 AutomationSuiteJapan-rym ターー attravionSuiteJapan-rym AttravionSuiteJapan-rym AttravionSuiteJapan-rym AttravionSuiteJapan-rym AttravionSuiteJapan-rym AttravionSuiteJapan-rym AttravionSuiteJapan-rym AttravionSuiteJapan-rym AttraviteJapan-rym Attra	× ロ ロット 201 キャプチャ 自 41後 〇) 東新の音報に支計 日 モイドルで美く () CU/JS / ア 74-5/10グ ののドロー	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ
	× b G & 26 キャプチャ ② 利油 ① 単数の情報に変更 ① モバルを定義く ③ ロリバタ 戸 フィードバック ののドン- 10225000.05 メパレーディック 50万点 : Unixer サビス : Standard D23-vd D2 vdpi 都. 125 G3 メモリ) ビデル・マック 50万点 : Unixer	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ 成」の文字列)をクリックして、マシン
L > AutomationSuteIngeneg > AutomationSuiteJapan-vm ターー 電気シン 電気シン 電気シン 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電気・ 電の 電気・ 電の 電の	× b 回 61 第 1477+ 8 利用 〇 単数の単明に変計 0 5476/2 (先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ 成」の文字列)をクリックして、マシン DNS 名を設定します。
L > AutomationSuiteJapan-ym ター atrono atro atr	× b G G M 1+77+ 名 利用 〇 単松の単純に定形 日 モバル大変く 係 Cu / rs パ 7+1-57/57 ACN C3- Substances サイムーマックグ 527A : Juna サイス : Standard Col-Juna (San (San (San (San (San (San (San (S	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ 成」の文字列)をクリックして、マシン DNS 名を設定します。
L) AutomationSuiteJapan og) AutomationSuiteJapan - vm ター attrov at	× a (G a 2	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ 成」の文字列)をクリックして、マシン DNS 名を設定します。
A.) AutomatiosGotelapan-g) AutomationSuiteJapan-vm ター 東田(か) 東田(か) 東田(か) 東田(か) 東田(か) 東田(か) 東田(か) 東田(か) 東田(か) アウンス特所(MA) アンスジーブ(世): 4.40matics アンスジーブ(世): 4.50matics アンスジーブ(世): 4.50matics アンスジーブ(世): 4.50matics アンスジーブ(世): 4.50matics アンスジーブ(ジーン): 540matics アンスジーブ(ジーン): 540matics アンスジーブ(ジーン): 540matics アンスジーブ(ジーン): 540matics アンシーン): 540matics <tr< td=""><td>× b G G M 1+77+</td><td>先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ 成」の文字列)をクリックして、マシン DNS 名を設定します。</td></tr<>	× b G G M 1+77+	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ 成」の文字列)をクリックして、マシン DNS 名を設定します。
b.) AutomationSuiteJapan-vm ター ませい 単型にかっ 単型にかっ 単型になっ 2017/274074 772524時 (auto, 2017 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型にはない。 2017年28月 単型には、 2017年28月 単型には、 2017年28月 単型には、 2017年29月 第二の 2017年28月 単型には、 2017年29月 第二の 2017年28月 単型には、 2017年29月 2017年2月 第二の 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017年2月 2017	× b □ 4 2 2 3 1+77+ 2 418 ① 数数の数411支数 □ 5 41/67 (2 3 CU/FS 27 7-1-5/6.9 NON C3- NON C3-	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ 成」の文字列)をクリックして、マシン DNS 名を設定します。
L > AutomationSuiteJapan.eg > AutomationSuiteJapan.vm 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2010/01 2	× b G & S ++77++ ② 利油 〇 単数の登場に更計 ③ モバルズ度く ③ CU/FS 27-1-1-1/1-72 NON 23- NON 23-	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ 成」の文字列)をクリックして、マシン DNS 名を設定します。
L > AutomationSuiteJapan og) AutomationSuiteJapan vm ター attrop attro	× b (金上 器 キャプチャ 創 料油 ⁽¹⁾ 単純の体明に光純 ⁽¹⁾ モバジンで良く (1) CU/PS <i>(2</i>) フィードバッフ メロレーディング シンプム : Linux メロレーディング シンプム : Linux リイン : Standard D23-9 (2) CU/PS (2) CU (2) CU (2) CU (1) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2) CU (2)	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ 成」の文字列)をクリックして、マシン DNS 名を設定します。
b) AutomationSuiteJapan-ym ター attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: attry: att	× a □ G = 第 35 ++75+	先程作成された Automation Suite 用の VM(AutomationSuiteJapan-vm)の DNS を 成します。[DNS 名] の値(ここでは「オ 成」の文字列)をクリックして、マシン DNS 名を設定します。







2.2.2. DB サーバー準備 (Azure)

● Azure 環境にて DB サーバーを準備するために次の手順を実行します。本文書では Azure SQL Database サービスを使用します。

	Azure ポータル(ホームページ)にアクセス
	します。
Microsoft Anne クリン-3.9-ピス ドキュントの世界 (S+A) 回 日 + リン-スの中点 すべてのサービス [P-ビス07:49- □ □ □	https://portal.azure.com/#home
合 ホーム ■ ダッシュポード 概要	
	[ホームページ]>[すべてのサービス]>[デ
田本市でのリース 田本市でのリース 田本市でのリース 田本市でのリース 田本市でのリース 田本市でのリース 田本市でのリース 田本市での 田本市 田本市 田本市 田田	
10月 19-2 2月-7 ガイショ ② App Service 金裕 Chatter Database for MySQL	ータベース] > [Azure SQL] の順にマワスを
Control Solution Solutita Solution Solution Solution Solution Solution Solution Soluti	ホバーし、 [+作成]をクリックします。
Virtual Machines ZFV−	
■ ストレージ アカウント モバイル ● SOL Server 総長 データベース ■ デーラ 77ウドリ ◆ A 27 キャル ク フンドキュ ◆ SOL 1527 ペワ ブール ■ 6229329-	
● Assure Active Directory 2000	
	SQL デプロイ オプションの選択ページに
	- 遷移します。[SOI データベース] サービ
すべてのサービス >	
SQL デブロイ オブションを選択する	人にて、リゾースの種類を[ナーダヘース
	サーバー] とし、[作成] をクリックしま
サービスをどのように使用する予定ですか?	7 0
 SQL データペース 最新のクラウド アブリケーションに最適です。Hyperscale と サーバーレスのオブションを利用できます。 リソースの種類 データベース サーバー	



すべてのサービス > Azi							
	zure SQL > SQL デプロ・	イオプションを選択する >		基本情報な	を入力します	0	
SQL Databa	ase サーバーの1	乍成 …		※ サーバ	ー管理者ログ	ブインお	よびパス
				ードに	、「;」「#」	「@」	「?」の文
基本 ネットワーク	追加設定 タグ	確認および作成		は使用	できません		
SQL Database サーバ- と作成] に移動してスマ	(ーは、データベースとエラステ・ マート既定値でプロビジョニン	ィックブールを管理するための論理的なコンテナーです。[基本] タ /グするか、各タブを開いてカスタマイズします。 詳細情報 ピ	アブを入力してから、[確認	16 (2/1)			
プロジェクトの詳細							
デプロイされているリソー を整理し、管理します。	-スとコストを管理するサブス 。	クリプションを選択します。フォルダーのようなリソース グループを(吏用して、すべてのリソース				
サブスクリプション* ①	D		\checkmark				
リソース グルー:	-プ* ⑴	AutomationSuiteJapan-rg 新規作成	~				
サーバーの詳細							
名前と場所の指定を含	含め、このサーバーに必要な	設定を入力します。					
サーバー名 *		automationsuitejapan-sql	~				
			.database.windows.net				
場所 *		(Asia Pacific) Japan East	~				
認証							
この サーバー にアクセス: 用して サーバー にアクセ を管理者として使用 詳	なするために、お好みの認証: セスし、Azure AD 認証のみ 詳細情報 ピ、または SQL と	方法を選択してください。サーバー 管理者ログインとパスワードを を選択します 詳細情報 & 既存の Azure AD ユーザー、グルー : Azure AD 認証の両方を選択します。	作成して、SQL 認証を使 プ、またはアプリケーション				
認証方法		 SQL 認証を使用する 					
		 Azure Active Directory (Azure AD) 認証のみを使用 Azure Active Directory (Azure AD) 認証のみを使用 	する				
		○ SQL と Azure AD 認証の両方を使用する					
サーバー管理者ログイン	/*	uipath_sql					
サーバー管理者ログイン パスワード *	/*	uipath_sql					
サーバー管理者ログイン パスワード * パスワードの確認 *	<i>j</i> *	uipath_sql					
サーバー管理者ログイン パスワード * パスワードの確認 *	J*	uipath_sql	✓ ✓ ✓ ✓				
サーバー管理者ロクイン バスワード * バスワードの確認 * 確認および作成	_/ * <u>ኢ: ጵットワーク ></u>	uipath_sql	✓ ✓ ✓				
サーバー管理者ロクイン バスワード * バスワードの確認 * 確認および作成	_/ * 次: ネットワーク >	uipath_sql	✓ ✓ ✓				
サーバー管理者ログイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	_ያ *	uipath_sql	Image: Second				
サーバー管理者ロクイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	_ጋ * <u> </u>	uipath_sql		INotuorki		1+1 \1 5	
サーバー管理者ロクイン バスワード * バスワードの確認 * 確認および作成	_ያ * <u>ኢ: ጵ</u> ットワーク >	uipath_sql		[Networkir	ng]タブで、[はい]を	選択して
サーバー管理者ログイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	ッ*	uipath_sql		[Networkir Azure サー	ng]タブで、[·ビスを許可し	はい]をし、[次:	選択して
サーバー管理者ログイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	* 次:ネットワーク > すべてのサービス > SOL Data	uipath_sql 		[Networkir Azure サー >1をクリ	ng] タブで、[·ビスを許可し ックします。	はい]を し、[次:	選択して 追加設定
サーバー管理者ロクイン バスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	ッ* 次:ネットワーク> ずべてのサービス > SQL Datak Microsoft	uipath_sql		[Networkir Azure サー >] をクリ	ng]タブで、[・ビスを許可し ックします。	はい] を し、[次:	選択して 追加設定
サーバー管理者ロクイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	ッ* 次:ネットワーク>	uipath_sql		[Networkir Azure サー >] をクリ	ng]タブで、[·ビスを許可し ックします。	はい] を し、[次:	選択して 追加設定
サーバー管理者ログイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	ッ*	uipath_sql		[Networkir Azure サー >] をクリ	ng] タブで、[·ビスを許可し ックします。	はい] を し、[次:	選択して 追加設定
サーバー管理者ロクイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	ッ*	uipath_sql		[Networkir Azure サー >] をクリ	ng]タブで、[·ビスを許可し ックします。	はい] を し、[次:	選択して 追加設定
サーバー管理者ログイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	*	uipath_sql		[Networkir Azure サー >] をクリ	ng]タブで、[・ビスを許可し ックします。	はい] を し、[次:	選択して 追加設定
サーバー管理者ログイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	*	uipath_sql 		[Networkir Azure サー >]をクリ	ng] タブで、[·ビスを許可し ックします。	はい]を し、[次:	選択して 追加設定
サーバー管理者ロクイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	**	uipath_sql		[Networkir Azure サー >] をクリ	ng]タブで、[·ビスを許可し ックします。	はい]をし、[次:	選択して 追加設定
サーバー管理者ログイン パスワード * パスワードの確認 * 確認および作成	*	uipath_sql		[Networkir Azure サー >] をクリ	ng]タブで、[・ビスを許可し ックします。	はい]を し、[次:	選択して 追加設定



	[追加設定]ページが開かれます。
すべてのサービス > Azure SQL > SQL デブロイオブションを選択する > SQL Database サーバーの作成 … Microsoft 基本 ネットワーク 追加設定 タグ 確認および作成 Microsoft Defender for SQL Microsoft Defender for SQL を使用してデータを保護します。これは、脆弱性評価と Advanced Threat Protection を含む、サーバー用の統合セキュリティ バッケージです。詳細情報 Co 第 30 日間の無料試用期間を利用し、サーバーごとに月々 10.75 EUR となります。 * ① () 無料試用版の開始 * ① (前) 次: ダグ >	 [Microsoft Defender for SQL を有効にする] では「後で」を選択します。 必要に応じて、[次: タグ>]をクリック し、タグを設定します。 ※ 任意の手順 - 内部ポリシーに関するタ グが必要な場合のみ。そうでない場 合、タグ付けは不要です。
FXC09-ビス) Microsoft.SQLServer.createServer_25ddd05263a04aa2b198fe69ea71e40 概要 タ … × F70r Mere *******************************	 1. 情報を確認し、[作成] をクリックしま す。デプロイが完了するまで待ちま す。 2. [リソースに移動]をクリックします。
第二章 1 Automationsuitejapan-sql ター × Suther * P 地面: (100 m) * P 田面: (100 m) * P 日面: (100 m) * P 2 75/10 / 000 * P 2 75/10 / 0000 *	 サーバー管理者とサーバー名を確認します。この情報は次の手順で利用します。 この手順書では下記の情報が設定されています。 サーバー管理者:uipath_sql サーバー名:automationsuitejapan-sql.database.windows.net



Wicrosoft SQL Server Management Studio (管理) 2/17/25 指 (Crf-c) 2 - - × ファイル() 編集(8) 表テ(1) - 2 A - > × マッイル() 編集(8) ステ(1) - 2 A - > × - > × - > × - > × - > × - > × - > × > > × - > × > > × > > × > > × > × > × > × > × > > × > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > <th> SQL データベースサーバーが正常にデプロイされたことを確認します。 1. 踏み台サーバー(クライアント端末)にログインします。 2. Microsoft 社の公式ページから SQL Server Management Studio (SSMS)のインストーラーをダウンロードします。 3. SSMS をインストールします。 4. SSMS を起動し、SQL データベースサーバーのサーバー名とログイン情報を入力し、接続できることを確認します。 </th>	 SQL データベースサーバーが正常にデプロイされたことを確認します。 1. 踏み台サーバー(クライアント端末)にログインします。 2. Microsoft 社の公式ページから SQL Server Management Studio (SSMS)のインストーラーをダウンロードします。 3. SSMS をインストールします。 4. SSMS を起動し、SQL データベースサーバーのサーバー名とログイン情報を入力し、接続できることを確認します。
Increased SQL Server Management Studie (@##) 2/1972EB (Cut-C) P × 7/1/2/D Image:	ログインに成功したことを確認します。 以上で SQL Server の作成は完了です。



2.2.3. DNS レコード登録 (Azure)

● Azure 環境にて DNS レコードを登録するために次の手順を実行します。本文書では Azure DNS サービス を使用します。

				 ライベート DNS ゾーンた作ポーキオ
Microsoft Asure タリンス、サービス、特立バントの検索(01)				フィベート DNS ソーンを作成します。
+ リソ-スの作成	すべてのサービス 🤠	ビスのフィルター		
 ホーム ダッシュポード 	概要 *//7	ネットワーキング (35)		Azure ポータルを開き、[すべてのサー
⇒ すべてのサービス ★ S気に入り	お気に入り	↔ 仮想ネットワーク	③ Azure Synapse Analytics (ブライベート リンク ハブ)	
III すべてのリンース	最近使用したもの	🚸 🛛 – Ғ к бу = –	◆ フロントドア Standard または Premium (プレビュー)	
App Service	金欣	▲ CDN 070721ル	Network Watcher	DNS ゾーン] から [作成] をクリックし
SQL データベース SQL データベース Azure Cosmos D8	コンピューティング ネットワーキング	 ネットワーク セキュリティ クループ バブリック IP アドレス 	留 ネットワーク インターフェイス ■ バブリック IP プレフィックス	
Virtual Machines	ストレージ Web	🖄 ルートテーブル	😳 アプリケーションのセキュリティ グループ	<u>ब</u> ॰
■ ストレージ アカウント	モバイル	ODos 保護ブラン	🧊 サービス エンドポイント ポリシー	※ この手順はテスト環境または検証研
	データベース	Private Link	ブライベート DNS ゾーン *	
O Microsoft Defender for Cloud	分하 Al + Machine Learning	Seastion	十 作成 ② 表示	を構築する際の一例です。実本番切
 リストの言理と請求 	モノのインターネット	S Traffic Manager 707:41	ダ アブリケーション ゲートウェイ	のシングル構成を構築する場合は、
				DNS を構成する を参考にして、ご
				件に応じてお客様自身で DNS を構
				していただくことを推奨します。
				同じリソース グループにプライベート
すべてのサービス >				DNS ゾーンを作成します。
プライベート	DNS ゾーンの作		×	
	2.10 / / / //	1.20		
** ** ** *				今回のようかシングル構成の理培でけ
基本 97 7	確認および作成			今回のようなシングル構成の環境では
基本 タグ ブライベート DNS ゾ・ らのみアクセスでき、	確認および作成 ーンは、 仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす	前解決サービスを提供します。 ブライベート DNS ' ることはできません。 たとえば contoso.com という	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークか う名前のプライベート DNS ゾーンを作成してか	今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は
基本 タグ う ブライベート DNS ゾー らのみアクセスでき、 ら、このゾーンに www 詳細。	確認および作成 ーンは、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS	前解決サービスを提供します。 ブライベート DNS) ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。 その後、ゾーンは 1 つ以.	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークか 名前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。	今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は
基本 タグ デ ブライベート DNS ゾー らのみアクセスでき、 ら、このゾーンに www 詳細。 プロジェクトの詳細	確認および作成 ーンは、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS	、前解決サービスを提供します。プライベート DNS ' ることはできません。たとえば contoso.com という いコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、	リーンは、リンクされている伝想ネットワークか う名前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の伝想ネットワークにリンクできます。	今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である
基本 97 3 ブライベート DNS ジ・ らのみアクセスでき、 ら、このジーンに www 詳細。 プロジェクトの詳細 デブロイこいるジ 二	確認および作成 ンは、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.comのように DNS ! ソースとコストを管理するサブス?	、前解決サービスを提供します。プライベート DNS '、 ることはできません。たとえば contoso.com という s レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリブションを選択します。フォルダーのようなリソーフ	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークか 3名前のブライベート DNS ジーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 3 グルーブを使用して、すべてのリソースを整	今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名であ 必要があります。
基本 タグ ジ ブライベート DNS ジ らのみアクセスでき、 ら、このゾーンに www 詳細。 プロジェクトの詳細 デブロイされているリ: 理し、管理します。	確認および作成 ーンは、仮想ネットワーク内の名 インターネンド経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS リ ソースとコストを管理するサブス、	:前解決サービスを提供します。ブライベート DNS '; ることはできません。たとえば contoso.com という 5 レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 7リブションを選択します。フォルダーのようなリソーフ	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークが 3名前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整	今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名であ 必要があります。
基本 タグ オ ブライベート DNS ゾ らのみアクセスでき、 ら、このゾーンに www 詳細。 プロジェクトの詳細 デブロイされているり、 理し、管理します。 サブスクリブション *	確認および作成 ーンは、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS リ ソースとコストを管理するサブスク [:前解決サービスを提供します。プライベート DNS '; ることはできません。たとえば contoso.com という S レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ	ジーンは、リンクされている伝想ネットワークか うる前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整	今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名であ 必要があります。
基本 97 デ ブライベート DNS ゾ らのみアクセスでき、 ち、このゾーンに WWW 詳細・ プロダエクトの詳細 デブロイされているり! 理し、管理とます。 サブスクリブション *	確認および作成 ーンは、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.comのようにDNS リソースとコストを管理するサブス? レーブ *	前解決サービスを提供します。プライベート DNS ' ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 年4月45-tt	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークか うる前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整 ・ 、	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックしま
 基本 9グ デ ブライベート DNS ゾ・ 5のみアクセスでき、 5、 のリーンド WWW 詳細。 プロジェクトの詳細 プロジェクトの詳細 デブロイネれているり、 理します。 サブスクリブション * リソース グリ 	確認および作成 ンは、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS リ ソースとコストを管理するサブス? レーブ *	前解決サービスを提供します。プライベート DNS ' ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークか う名前のブライベート DNS ジーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。
 基本 9グ デ プライベート DNS ゾ・ 50みアクセスでき、 50 クリンフと WWN 詳細。 プロジェクトの詳細 デプロイネれているジ・ 理し、管理します。 サブスクリブション * リソース グリ インスタンスの詳細 	確認および作成 ンは、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS リ ソースとコストを管理するサブス? レーブ *	:前解決サービスを提供します。プライベート DNS : ることはできません。たとえば contoso.com という s レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークか う名前のブライベート DNS ジーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整 ↓	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。
 基本 9グ デ プライベート DNS ゾ・ 500 みアクセスでき、 5, このゾーンに WWS 詳細。 プロジェクトの詳細 デフロイされているジ・ 理し、管理します。 サブスクリブション * リソース グリ インスタンスの詳細 名前 * ① 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS リ ソースとコストを管理するサブス レーブ *	:前解決サービスを提供します。ブライベート DNS '; ることはできません。たとえば contoso.com という s レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリブションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com	ゾーンは、リンクされている仮想ネットワークが うを前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グルーブを使用して、すべてのリソースを整	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成] をクリックします。 2. [作成] をクリックします。
 基本 9グ デ プライベート DNS ゾ・ 500 カアウエスでき、 500 グーンに www 評細。 プロジェクトの詳細 デプロイされているジ・ 理し、管理します。 サブスクリブション * リソース グリ インスタンスの詳細 名前 * ① 	確認および作成 ンは、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS 	:前解決サービスを提供します。プライベート DNS '; ることはできません。たとえば contoso.com という 5 レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーク AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークが うな前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成] をクリックします。 2. [作成] をクリックします。
 基本 9グ ii ブライベート DNS ゾ、 うのみアクセスでき、 ら、このゾーンに WWW 詳細。 プロジイされているり、 プロイされているり、 理し、管理します。 サブスクリブション * リソース グリ インスタンスの詳細 名前 * ○ 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS リ ソースとコストを管理するサブス レーブ * [は Azure インフラストラクチャドメ ナーンスの DNS 解決に予照しない	(前解決サービスを提供します。プライベート DNS) ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 7リプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.Japaneast.cloudapp.azure.com インです。この名称を含むプライベート DNS ゾーンを作い 場果が生じるおたれがあります。	ジーンは、リンクされている伝想ネットワークか うを前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 な グルーブを使用して、すべてのリソースを整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。 2. [作成]をクリックします。
 基本 9グ デ ブライベート DNS ゾ・ うのみアクセスでき、 ち、さのノンド WWX 詳細。 プロジェクトの詳細 デブロイされているり! デブロイされているり! サブスクリブション * リソース グル インスタンスの詳細 名前 * ○ ▲ sture.com ja ▲ sture.com ja 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 インターネットロークアクセスす w.contoso.com のように DNS ソースとコストを管理するサブス: レーブ * [] は Azure インフラストラクチャドメ サービスの DNS 解決に予期しなし	計解決サービスを提供します。プライベート DNS ゾ ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークか うる前のブライベート DNS ジーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合
 基本 9グ デ ブライベート DNS ゾ・ 5のみアクセスでき、 50のプンドと WWX 詳細。 プロジェクトの詳細 デブロイされているジ・ デブロイされているジ・ デブロイされているジ・ デブロイされているジ・ プロジェクトの詳細 キンプ・ プロジェクトの詳細 キンプ・ プロジェクトの詳細 インスタンスの詳細 名前 * ○ メロジェクレーズの場 メロジェクループの場 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 (ソターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS ソノースとコストを管理するサブス? レーブ * [は Azure インフラストラクチャドメ ナービスの DNS 解決に予照しない IMF ①	計解決サービスを提供します。プライベート DNS ゾ ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com インです。この名前を含むプライベート DNS ゾーンを作い 場番が生じるおそれがあります。 East US	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークが うる前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ペグループを使用して、すべてのリソースを整	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前
 基本 9グ (1) プライベート DNS ゾ・ 50のみアクセスでき、 50のプンドズ WWN 詳細。 プロジェクトの詳細 デブロイされているジ・ デブロイされているジ・ 理し、管理します。 サブスクリプション・ サブスクリプション・ リンース グリ インスタシスの詳細 名前 * ○ パンスダンスの詳細 シェローをつか インスクレーブの場 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 (ソターネット極由でアクセスす w.contoso.com のように DNS ソースとコストを管理するサブス? レーブ * [は Azure インフラストラクチャドメ サービスの DNS 解決に予照しない I所 ①	i前解決サービスを提供します。プライベート DNS ゾ ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com インです。この名前を含むプライベート DNS ゾーンを作い 場果が生じるおそれがあります。 East US	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークか う名前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整 ペ 、 成すると、ご使用の仮想ネットワークにデプロ	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前
 基本 9グ (1) プライベート DNS ゾ・ 50のみアクセスでき、 50のクアクセスでき、 50のノンに WWN 正確。 プロジェクトの詳細 デフロイされているジ・ 理し、管理します。 プロジェクトの詳細 空担し、管理します。 サブスクリブション* リソース グル パーズの場 リソース グルーブの場 リソース グルーブの場 リソース グルーブの場 リソース グルーブの場 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 (ソターネット経由でアクセスす w.contoso.comのようにDNS ソースとコストを管理するサブス? レーブ * [は Azure インフラストラクチャドメ ナービスの DNS 解決に予照しない I所 ①	計解決サービスを提供します。プライベート DNS ゾ ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com インです。この名称を含むプライベート DNS ゾーンを作い 場果が生じるおぞれがあります。 East US	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークが うを前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グルーブを使用して、すべてのリソースを整 ペ ペ 成すると、ご使用の仮想ネットワークにデプロ	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前 はロードバランサーの DNS 名である
 基本 9グ (1) プライベート DNS ゾ・ 500 A 77 セスイでき、 5, 20 ゾーンに WWN 詳細。 プロジェクトの詳細 デフロイされているジ・ 理し、管理します。 サブスクリブション * リソース グリ インスタンスの詳細 名前 * ○ インスタンスの詳細 ションエーの「細 マされているす。 リソース グループの調 リソース グループの調 リンーンが作成 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS 	:前解決サービスを提供します。プライベート DNS ゾ ることはできません。たとえば contoso.com という s レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーク AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com インです。この名前を含むプライベート DNS ゾーンを作い 場果が生じるわされがあります。 East US	ジーンは、リンクされている仮想ネットワークが うを前のブライベート DAS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整 ペ ペ ペ 成すると、ご使用の仮想ネットワークにデプロ	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前 はロードバランサーの DNS 名である 必要があります。
 基本 9グ (1) プライベート DNS ゾ・ 500 カアウセスでき、 5, 20 ゾーンに www 詳細。 プロジェクトの詳細 デブロイされているヴ、 理し、管理します。 サブスクリプション・ リソース グリ インスタシスの詳細 名前* ① ▲ szure com ju イされているず、 リソース グループの場 リソース グループの場 ① ゾーンが作成 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS 	(前解決サービスを提供します。プライベート DNS) ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.Japaneast.cloudapp.azure.com インです。この名前を含むプライベート DNS ゾーンを作い 場果が生じるおぞれがあります。 East US ら ゾーンに伝想ネットワークをリングできます。 な、タグ > Automation のテンブレートを約9	ゲーンは、リンクされている伝想ネットワークが うを前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ペ グルーブを使用して、すべてのリソースを整 ペ ペ 成すると、ご使用の仮想ネットワークにデプロ ペ	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前 はロードバランサーの DNS 名である 必要があります。
 基本 9グ (1) プライベート DNS ゾ・ 500 カアウエスでき、 500 カアウエスでき、 500 ブーンに www 計用。 プロジェクトの詳細 デブロイされているヴ・ 理し、管理します。 サブスクリブション・ リンスクリ インスタシンスの詳細 名前* ① ▲ ature com // イされている* リソースグループの場 リソースグループの場 ④ ゾーンが作成 確認および作成 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 インターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS 	(前解決サービスを提供します。プライベート DNS ゾ ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリブションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com インです。この名前を含むプライベート DNS ゾーンを作い 場果が生じるおそれがあります。 East US S ゾーンに伝想ネットワークをリンクできます。 な: タグ > Automation のテンプレートをダウ	ジーンは、リンクされている伝想ネットワークか うを前のブライベート DNS ジーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ペ グループを使用して、すべてのリソースを整 ペ ペ 成すると、ご使用の仮想ネットワークにデプロ ペ シロードする	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前 はロードバランサーの DNS 名である 必要があります。
 基本 9グ ii プライベート DNS ゾ・ うのみアクセスでき、 らのみアクセスでき、 らのカノンに WWA 詳細。 プロジェクトの詳細 デブロぐれているり、 デブロぐれているり、 デブロぐれているり、 リソース グリー インスタンスの詳細 名前* ○ ▲ szure com ji インス クルーブの場 リソース グルーブの場 リソース グルーブの場 リンーング作成 体認られび作成 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 (ソク-ネ>14)を経由でアクセスす w.contoso.comのように DNS ソースとコストを管理するサブス: レーブ * [] は Azure インフラストラクチャ FX, サービスの DNS 解決に予期しなし 時所 ① された後に、このブライベート DNS	(前解決サービスを提供します。プライベート DNS ゾ ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリブションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp japaneast.cloudapp.azure.com インです。この名前を含むプライベート DNS ゾーンを作い 場果が生じるおそれがあります。 East US Sゾーンに伝想ネットワークをリンクできます。 な: タグ > Automation のテンプレートをダク	ゾーンは、リンクされている仮想ネットワークか うを前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整 、 グループを使用して、すべてのリソースを整 、 、 ダループを使用して、すべてのリソースを整 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 <td> 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前 はロードバランサーの DNS 名である 必要があります。 </td>	 今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックします。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前 はロードバランサーの DNS 名である 必要があります。
 基本 9グ ii ブライベート DNS ゾ・ うのみアクセスでき、 ら、さのノンド WWA 詳細。 プロジェクトの詳細 デブロぐれているジ・ デブロぐれているジ・ デブロぐれているジ・ リソース グリ インスタンスの詳細 名前* ○ ▲ azure.com /i くされている* リソース グループの場 ① ゾーンが作成 確認および作成 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 (ソク-ス>1と時経由でアクセスす w.contoso.comのように DNS ソースとコストを管理するサブス: レーブ * [] は Azure インフラストラクチャドメ サービスの DNS 解決に予期しない i新 ① [] it http://www.com/source/linear/ it http://wwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwww	(前解決サービスを提供します。プライベート DNS ゾ ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリプションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com イソです。この名前を含むプライベート DNS ゾーンを作い X編集が生じるおそれがあります。 East US S ゾーンに伝想ネットワークをリングできます。 次: 9 ヴ > Automation のテンプレートをダウ	ゾーンは、リンクされている仮想ネットワークか うる前のブライベート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整 ✓	今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名であ 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックしま す。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名言 はロードバランサーの DNS 名であ 必要があります。
 基本 9グ ii ブライベート DNS ゾ・ 50 のみアクセスでき、 50 のカアクセスでき、 50 のブンド WWW 詳細。 プロジェクトの詳細 デブロイされているジ・ 理し、管理します。 サブスクリブション * リンスクリ リンスクリ インスタンスの詳細 名前 * ○ インスタンスの詳細 名前 * ○ リンース グループの場 リンース グループの場 ジーンが作成 確認および作成 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 (ソク-ス>H経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS ソノースとコストを管理するサブス! レーブ * [は Azure インフラストラクチャドメ ナービスの DNS 解決に予照しない 時所 ① : された後に、このプライベート DNS	 (前解決サービスを提供します。ブライベート DNS ゾ ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリブションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com インです。この名前を含むプライベート DNS ゾーンを作い 場番が生じるおされがあります。 East US ジーンに仮想ネットワークをリンクできます。 Automation のテンプレートをダウ Automation のテンプレートをダウ 		今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックしま す。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前 はロードバランサーの DNS 名である 必要があります。
 基本 9グ ii ブライベート DNS ゾ・ うのみアクセスでき、 ら、 このノーンに WWA 詳細。 プロジェクトの詳細 プロジェクトの詳細 サブスクリプション * リンース グリ インスタンスの詳細 キョン インスタンスの詳細 キョン インスクンス グルーブの 端 リソース グルーブの 端 リソース グルーブの 端 マングド作成 確認わよび作成 	確認および作成 >は、仮想ネットワーク内の名 (ソターネット経由でアクセスす w.contoso.com のように DNS ソノースとコストを管理するサブス? レーブ * [は Azure インフラストラクチャドメ ナービスの DNS 解決に予照しな! は所 ① された後に、このプライベート DNS	 (前解決サービスを提供します。ブライベート DNS): ることはできません。たとえば contoso.com という ら レコードを作成できます。その後、ゾーンは 1 つ以、 クリブションを選択します。フォルダーのようなリソーフ AutomationSuiteJapan-rg 新規作成 asjp.japaneast.cloudapp.azure.com インです。この名前を含むプライベート DNS ゾーンを作い 場果が生じるおそれがあります。 East US ネソーンに伝想ネットワークをリンクできます。 次: タグ > Automation のテンプレートをダク 	Ĵ-ンは、リンクされている仮想ネットワークが う名前のブライハート DNS ゾーンを作成してか 上の仮想ネットワークにリンクできます。 ス グループを使用して、すべてのリソースを整 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 <td>今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックしま す。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前 はロードバランサーの DNS 名である 必要があります。</td>	今回のようなシングル構成の環境では プライベート DNS ゾーンの名前は Automation Suite の VM の DNS 名である 必要があります。 1. [レビューと作成]をクリックしま す。 2. [作成]をクリックします。 ※ マルチノードによる冗長構成の場合 は、プライベート DNS ゾーンの名前 はロードバランサーの DNS 名である 必要があります。



アパペのサービス > NoMarketplace-20220208153225 概要 タ … × デフロ デオロ * * ● 培売 (crit+/) ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● </th <th>プライベート DNS ゾーンが作成された ら、[リソースに移動] をクリックしま す。</th>	プライベート DNS ゾーンが作成された ら、[リソースに移動] をクリックしま す。					
7 7 1000/015225) 3 asjpjapameat.cloudap.azure.com * - × > # * > # * > # * > # * > # * > # * > # * * # * * # * * # * * # * * # * * # * * # * * # * * # * * # * * # * * # * * # * * * * * * * * # * * * * *	作成されたプライベート DNS ゾーンのペ ージから [レコードセット] をクリックし ます。					
レコード セットの追加 × asjpipapaneast.cloudapp.azure.com 名前 * 超期 A - IPV4 アドレスへのエイリアス レコード TTL * TTL の単位 1 IP アドレス 20.46.115.40 0.0.0	すべてのサブドメイン用のレコードセットを追加します。 1. [名前] フィールドに*を入力します。 2. レコードセットの IP アドレスは、 Automation Suite の VM の IP アドレス (シングル構成の場合)またはロードバ ランサーの IP アドレス(マルチノード の冗長構成の場合)である必要があり ます。 3. [OK] をクリックします。					
レコー asjpjapa 名前 ② 【 4類 (A - IP) TTL * 1 IP 7F 20.45 0.00	-ド セットの追 aneast.cloudapp.azure.d /4 アドレスへのエイリアス ジレス 115.40	asjp.japa レコード TTLの単 ✓ 時間	aneast.clc	× pudapp.azure.com	ル 加 1. 2. 3. 4.	 トドメイン用のレコードセットを追加します。 「@」のAレコードを追加します。これは、ルートを含み、トラフィックをクラスターにリダイレクトします。 [レコードセット]に移動します。レコードセットのIPアドレスは、 Automation Suite の VM の IP アドレス (シングル構成の場合)またはロードバランサーのIP アドレス(マルチノードの冗長構成の場合)である必要があります。 すべての VM は、1つの仮想ネットワークの中にある必要があります。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------
すべてのサービス > NoMarketplace asjp.japaneast. フォイトー DNS ゾーン ク 検索 アクライブライブラ アクライブライブライブ マ 内風の影響と解決 設定 *社 仮想ネットワークリンク 11 プロパティ ロック 整視 副 警告	+-20220208153225 >> cloudapp.azure	.com タ → 移動 ∨ 〔 注動): automation 注動): automation に D : 64fdac10: こ Owner: ○ Owner: 私 名 A A	 、 ゾーンを削 ssuitejapan- を検索できま TTL 3600 3600	除する () 最新の情報に更新 [9 @@ujpath.com Project : Japan す. 深しているものが見つからない場合は、スクロールしてその 値 20.46.115.40 20.46.115.40 電子メール: szureprivatedns-host.microsoft.com ポスド: azureprivatedns.net 更新: 3600	仮 DF 1.	(想ネットワークリンクをプライベート NS ゾーンに追加します。 [設定] の下の [仮想ネットワークリン ク] に移動します。



すべてのサービス > asjp.japaneast.cloudapp.azure.com 仮想ネットワークリンク … × すうイベト DNS ゾーン アクライベト DNS ゾーン ア 検索 (ctrl+の) (十 追加) 最新の情報に更新 ● 横栗 アビ医型ネットワーク リンクの検索 ■ アクライジティログ リンク名 リンクの検羅 仮想ネットワーク ● アクセス制得 (AM) 施果はありません。 ● タグ アグ	
 ● 概要	
■ アクテイビティ ログ リンクス リンクの状態 仮想ネットワーク 自動登録 外、アクセス制術 (IAM) 結果はありません。 ◆ タグ	
%g、アクセス制例 (IAM) 結果はありません。 Ø 9グ	
♦ 97	
新しいリンクの名前を作成し、	VM が属
する仮想ネットワークを指定し	ます。
すべてのサービス > asjp.japaneast.cloudapp.azure.com >	
仮想ネットワーク リンクの追加	
asjp.japaneast.cloudapp.azure.com	
J)//2.*	
仮想ネットワークの詳細	
● ブライベート DNS ゾーンへのリンクには、Resource Manager デブロイ モデルの仮想ネットワークのみがサポートされています。クラシック デブロ イモデルの仮想ネットワークはサポートされていません。	
▲ azure.com は Azure インフラストラクチャドメインです。このプライベート DNS ゾーンを仮想ネットワークにリンクすると、ご使用の仮想ネット ワークにデプロイされているサービスの DNS 解決に予照しない結果が生じるおそれがあります。	
□ 仮想ネットワークのリソース ID を知っています ①	
サブスクリブション * ①	
▼ V	
仮想ネットワーク *	
AutomationSuiteJapan-vnet (AutomationSuiteJapan-rg)	
構成 □ 自動登録を有効にする ○	
ΟΚ	



すべてのサービス > asjp.japaneea see asjp.japaneas f= f <f< td=""> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</f<>	ast.cloudapp.azure.com 仮想ネットワーク リンク … * + 追加 ② 最新の情報に更新	リンクが作成されると、左図のように表 示されます。 *
アイてのサービス > asjp.japaneast.clov asjp.japaneast.clov アライベー DNS ソーン 原 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 数 ア 3 ア 3 ア 3 ア 3 ア 3 ア 3 ア 3 ア 3 ア 3 ア 4 ア 4 ア 5 ア 5 ア 5 ア 5 ア 5 ア 5	<pre>space.com > AutomationOutoingaparents > AutomationOutoingaparents > udappa.azure.com</pre>	同じ仮想ネットワーク (AutomationSuiteJapan-vnet)に属するすべ てのマシンから、Automation Suite に内包 されている各アプリケーション(ArgoCD, Rancher, Insights 等)にアクセスできるよう にします。前述のプライベート DNS ゾー ンに各アプリケーション固有のサブドメ インを CNAME としてマッピングしま す。 (AS-FQDN)は Automation Suite の VM の DNS 名を指します。 alm.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} monitoring.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} objectstore.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} registry.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} insights.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} 作成されたレコードを確認します。



2.3. インストール前準備 (VMware vSphere)

2.3.1. AP サーバー準備 (VMware vSphere)

● VMware vSphere 環境にて AP サーバーを準備するために次の手順を実行します。

		仮想マシンを新規作成します。
Virtual Hardware VM Options		ディスクの構成は <u>ハードウェア要件</u> を 照します。
> CPU * > Memory * > New Hard disk *	$32 \ \sim$ 64 \checkmark GB \checkmark 64 GB \checkmark 256 GB \checkmark 2048 GB \checkmark 16 GB \checkmark	 照します。 UiPath ドキュメントは GiB 表記、 VMware は GB 表記ですが実際は GiE のため、大きめに指定する必要はあ りません。 CPU/メモリ/ディスクが最低要件に満たない場合、インストール時の前提 条件チェックでエラーとなりインストールができません この後の手順でディスクをマウント するためのスクリプトを実行するため、ドキュメント(左の画像)の順番 りにディスクを作成してください vSphere は 2TB 以上のディスクをアデ ッチするために制限があります。詳
		りにディスクを作成してください ● vSphere は 2TB 以上のディスクをア ッチするために制限があります。詳 細は <u>VMware 社のサイト</u> をご参照く ださい。 <u>システム要件</u> を満たす Red Hat Enterprise
Install Red Hat Enterprise Linux Test this media & install Red Ha Troubleshooting>	8.4 t Enterprise Linux 8.4	トールします
Use the ▲ and ▼ keys to change t Press 'e' to edit the selected i	he selection. tem, or 'c' for a command prompt.	



	インストール先のディスクは1つ目のデ
インストール先 RED HAT ENTERPRISE LINUX 8.4 のインストール 実了 (0) コード マングローン マングーン マング	ィスク(sda)を選択します
デバイスの選択 インストールするデバイスを選択してください。なお、メインメニューの「インストールの開始」ボタンをクリックしない限り、インス トール処理は開始されません。	
ローカルの標準ディスク 「	
VMware Virtual disk VMware Virtual disk VMware Virtual disk vMware Virtual disk sda / 64 GB	
来選択のディスクに変更は加えられません。 殊なディスクおよびネットワークディスク	
□] ディスクの追加(A)	
★選択のディスクに変更は加えられません。 ◆ 目前構成(1) ○ カスタム(C) 三 利利可能な領域を追加する(M) 時化	
□ データを電号化する(B / バスフレーズの設定は、次のセクションで行います。	
<u>そ会なディスク変わとブートローダー(F)</u> 変形されたディスク数 1、容量 64 GB、空き钢板 64 GB <u>変新の</u>	
イヤンス機関	インストールを実施します。
27(α @)	インストール後、ライセンス契約へ同意
ライセンス反称: Recised Persons (*SNA) land an not 50% or more example constraints in an one or more examples interacting on the PAN has	します。
(c) will not prove that the second	
whicks, or sounding rockets, or unmanned air vehicle systems or any other prohibited use under the EAR; and (d) understand agree that if you are in the United States and export, re-export or transfer the Controlled Materials to eligible end users, you will, to the extent required by EAR Section 140.17(e), submit semi-annual reports to the U.S. Commerce Department's Bureau of Industry and Security, that include the	
name and address (including country) of each transferee.	
6. Third Party Software. The Program may be provided with their party instrume that are not part of the Program. These their operty obtained and construction to you, and are modeled to the owned models. These their operty may are provided as a construction to you, and are modeled to the owned models. The supremetry of the party of the par	
third party software.	
7. General. If any provision of the EUA is held to be unenforceable, the enforceable of the remaining provisions shall not be affected. Any claim, controvery or displate arising under or relating to the EUA able of generaled by the busics of the State of the Virk and of the United States, without regard to any conflict of laws provisions. The rights and obligations of the parties to this EUA shall not be governed by the United Mattations Convention on the International State of Goods.	
Copyright (Q 2019 Red Hat, Inc. All rights reserved. The Program marks, 'Red Hat' mark and the Red Hat logo are trademarks or registered	
trademarks of Hed Fax, Inc. All other trademarks are the property of their respective owners. ④ ライセンス契約に同意します。(A)	
	インストールが完了したことを確認しま
2月2日 11:25 🛛 マ 🔥 46 〇 マ	t .
Q ulpath	
アカウントが見つかりませんか?	
📛 Red Hat	
	•



[root@as "]# subscription-manager register Registering to: subscription.rhsm.redhat.com/443/subscription Username: Password: The system has been registered with ID: The system come is: as Croot@as "]#	SSH クライアントで接続または RHEL マシ ン上のターミナルを起動します。 RHEL はライセンスが適用されていないと パッケージのインストールに必要となる yum コマンドを利用できないため、RHEL のサブスクリプションを登録します。 今回は Red Hat アカウントを利用して評 価用ライセンスを適用します。 以下のコマンドを実行後、Red Hat アカウ ントを入力します。 subscription-manager register
Red Hat OpenShift Enterprise JBoss FUSE add-on Red Hat OpenShift Enterprise JBoss EAP add-on Beta SUL: RH00738 Contract: Red Hat OpenShift Enterprise JBoss EAP add-on Beta Pool [D: 8a% Provides Management: No Available: Available: 13 Suggested: 1 Service Type: Red Hat Enterprise Linux Server Red Hat Enterprise Linux Compute Node Service Level: Self-Support Vaddens: Deve Iopment/Test Addrons: Subscription Type: Subscription Type: Standard Starts: 07/14/2021 Ender: Physical [root@as ~]#	以下のコマンドで利用できるサブスクリ プションの一覧を表示させ、プール ID を 確認します。 subscription-manager list available
[root@as ~]# subscription-manager subscribepool=8a85 Successfully attached a subscription for: Red Hat Developer Subscription for Individuals	以下のコマンドでサブスクリプションを 割り当てます subscription-manager subscribe pool= <pool id=""></pool>
[root@as "]# subscription-manager list Installed Product Status Product Name: Red Hat Enterprise Linux for x86_64 Product ID: 478 Version: 8.5 Arch: x86_64 Status: Details: Starts: 07/14/2021 Ends: 07/14/2022 [root@as "]#	以下のコマンドでサブスクライブ済み (Status: Subscribed)であることを確認しま す。 subscription-manager list

2.3.2. DB サーバー準備 (VMware vSphere)

- VMware vSphere 環境にて DB サーバーを準備するために次の手順を実行します。
- <u>システム要件</u>を満たすよう SQL Server を稼働させる仮想マシンと適切な SQL Server バージョンとライ センスを用意します。
- 本文書では Windows Server に SQL Server をインストールする手順について説明します。Linux OS でも 導入できますが本文書では取り扱いません。詳細は Microsoft 社のサイトをご参照ください。

機能の選択 インストールする Entermine	X	Server をインストール済みとしまり。
インストールール 機能の選択 機能のしま インスターンの意味 データベースエンジンの構成 優加機能にした インストールの準備売了 インストールの進行状況 売了	Properties Services 3bs/BUC 93/P1 View 26-50/20-LF12 Ext 06/F1 The maximum content of the service of t	 します。 "機能の選択" 画面では、最低限下記 2 の機能を有効化します。 データベースエンジンサービス 検索のためのフルテキスト抽出と マンティック抽出



		インストールが完了したことを確認しま
1 SQL Server 2019 セットアップ 来了 SQL Server 2019 のイソストー インストール ルール 地域ルール インスクースの確成 サーバーの運転 データバース エンジンの選成 電磁(パレール インストールの準備をデ インストールの連続で、 来了	- ロ × 小が正常に応了しました (線品の変新プログラムを含む)。 セットフップ語作をたいまに行列症 な次の手順に選ずの特報():	インストールが完了したことを確認します。
し ようこそ 場所(1): CVFProgram ズタンを少 と <u>AZUTE</u> SOL Server Microsoft 戦の収集を	リリース 18.10 リリース 18.10 Microsoft SQL Server Management Studio と Azure Data Studio と、開始するには、「インストール」をクリックしてください。 # File (480)#Microsoft SQL Server Management Studio 184 PUPOFすることにより、プライバシーに関する声明 および SQL Server Management Studio Tata Studio * Management Studio では、インストール時代に関する情報と、他の使用状況とバフォーマンスのデータを に続き、影像の運行した。マンストール時代に関する情報を、他の使用状況とバフォーマンスのデータを に続き、影像の運行した。マンストール時代に関する情報を、他の使用状況とバフォーマンスのデータを に続き、影像の運行した。マンストール時代に関する情報を、他の使用状況とバフォーマンスのデータを に続き、影像の運行した。マンストール時代に関する情報を、他の使用状況とバフォーマンスのデータを に続き、事成の運行した。マンストール時代に関する情報を、他の使用状況とバフォーマンスのデータを に続き、事成の運行した。マンストール時代に関する情報を、他の使用状況とバフォーマンスのデータを に続き、事成の正式・デーク処理とプライバンー管理に関する詳細を、インストール後にこの情報	SQL Server Management Studio (SSMS) を <u>ダ</u> ウンロードし、インストールします。本 文書では日本語版を使用します。
ロラ サー サーバー サーバー 12種でA ログ パス	バーへの接続 × SQL Server *の種類(D: *名(S): SOL Server 認証 v SOL Server 認証 v 「SOL Server 認証 v 「NAワードを保存する(M) 接続(C) キャンセル ヘルブ オブション(Q) >>	SSMS のインストール完了後、DB サーバ ーに sysadmin 権限 (sa ユーザーなど) でア クセスします。



Subscient: Management Stades (TERE) Profite (Summe) Pr	AP サーバーから DB 接続するためのユー ザーを作成するために次の手順を実行し ます。 セキュリティ > ログインを右クリック し、新しいログインをクリックし、新規 ユーザーを作成します。 本文書ではログイン名を "uipath_sql" とし ます。 ページの選択で [サーバーロール] を選択 します。
ID グイソ - 新規作成 - □ × · 全会 · クリバフ ・ · クリバフ ・ · ケーバー ·・ · ケーバー ·・ ·・ · ケーバー ·・ ·・ ·・	dbcreator を選択し、OK をクリックしま す。
ピサーバーへの接続 × SQL Server サーバーの推測(ワ) データベースエンジン サーバー名(S): sqllab.test E2BE(A): SQL Server I2BE Dゲイン(L): uipath_sql パスワード(P): ******** ビノパスワードを(保存する(M) 接線(C) キャンセル	作成したユーザーでログインできることを確認します。

2.3.3. DNS レコード登録 (VMware vSphere)

- VMware vSphere 環境にて DNS レコードを登録するために次の手順を実行します。本文書では Microsoft DNS サービスを使用します。
- 事前に Automation Suite を運用するためのドメイン名および FQDN を決定します。





	下記のようにマッピングする CNAME レ
	コードをそれぞれ作成します。
新しいリソース レコード ×	
Iイリアス (CNAME)	{AS-FODN} は Automation Suite の FODN
エイリアス名 (空間の場合は親ドメイン名を使用)(<u>S</u>): alm	
完全修飾ドメイン名 (FODN)(U):	(例: as.lab.test) を指しより。
alm.as.lab.test.	
ターゲットホスト用の完全修飾ドメイン名 (FQDN)(<u>E</u>): as.lab.test 参照(<u>B</u>)	• alm.{AS-FQDN} \rightarrow {AS-FQDN} • monitoring.{AS-FQDN} \rightarrow {AS-FQDN}
□ 同じ名前の DNS レコードすべての更新を認証されたユーザーに許可する (新しい名前の DNS レコードのみに適用)(Q) OK キャンセル	 objectstore.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} registry.{AS-FQDN} → {AS-FQDN} insights.{AS-FQDN} → {AS-FQDN}
	左図のように作成されることを確認しま
	す。
高 UNS (キーンヤー ー ロ 、 ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(E)	
an 010 ■	
>rsdcsregistry Alias (CNAME) as.lab.test	
>tcp	
> Constructions > Sector > Sec	
2011 逆引き参照ゾーン 2011 トラストボイント	
□ 条件付フォワーダー	



2.4. AP サーバー用証明書発行

2.4.1. 証明書の要件

- Automation Suite では 2 つの証明書が必要となります。
 - ▶ サーバー証明書: クライアントが AP サーバーに HTTPS アクセスするために必要
 - ▶ ID トークン署名証明書:認証トークンへの署名に必要
- これらの証明書はインストール時に自己署名証明書で自動的に作成されますが、有効期限が 90 日間で あるため、インストール後にすぐに置き換えることが推奨されます。
- 証明書要件の詳細は 証明書を構成する をご参照ください。
- 認証局(CA)ごとの証明書発行手順は次の通りです。パブリック CA はそれぞれの認証局での申請手順に 従ってください。
 - ▶ 2.4.2. 自己署名による証明書発行
 - 2.4.3. Microsoft 証明機関による証明書発行

2.4.2. 自己署名による証明書発行

- 自己署名によるルート証明書、サーバー証明書および ID トークン署名証明書を指定ディレクトリに作 成するには、AP サーバーに SSH クライアントで接続し、次のコマンドを順次実行します。
 - 本文書では OpenSSL コマンドの詳細については説明を省略します。パラメーターの詳細について は OpenSSL documentation をご参照ください。
- root 権限を使用します。

sudo su -

下記の変数 (証明書配置ディレクトリ、証明書に含める組織名、Automation Suite の FQDN) は環境に応じて変更します。値をセットするよう実行します。
 CERT DIR="/opt/UiPathAutomationSuite/cert"

CERT_ORG="Example KK" AS_FQDN="as.lab.test"

● 証明書配置ディレクトリを作成します。 mkdir -p \${CERT_DIR} cd \${CERT_DIR}

● ルート認証局の秘密鍵を AES256 アルゴリズムにて 2048 bit のキーサイズで作成します。任意のパスフレーズを入力します。

openssl genrsa -aes256 -out root.key 2048





● 次のコマンドを実行し、ルート認証局を作成します。有効期限は 2000 日とします。

openssl req -x509 -new -nodes -key root.key -sha256 -days 2000 -out root.crt



- サーバー証明書用の extension file を作成します。[alt_names]でサブジェクト別名を環境に応じて指定
 - し、保存します。

touch v3.ext vi v3.ext

> authorityKeyIdentifier=keyid,issuer basicConstraints=CA:FALSE keyUsage = digitalSignature, nonRepudiation, keyEncipherment, dataEncipherment extendedKeyUsage = serverAuth subjectAltName = @alt_names [alt_names] DNS.1 = as.lab.test DNS.2 = *.as.lab.test

● サーバー証明書のリクエストファイル(server.csr)と秘密鍵(server.key)を生成します。

openssl req -new -nodes -out server.csr -newkey rsa:2048 -keyout server.key -subj
"/C=JP/0=\${CERT_ORG}/CN=\${AS_FQDN}"

ルート証明局にてサーバー証明書(server.crt)を生成します。有効期限は 2000 日とします。
 openssl x509 -req -in server.csr -CA root.crt -CAkey root.key -CAcreateserial -out server.crt -days 2000 -sha256 -extfile v3.ext





● 次に ID トークン 署名証明書を作成します。エクスポートパスワードを指定します。

openssl pkcs12 -export -out AutomationSuiteCert.pfx -inkey server.key -in server.crt



● ルート証明書(root.crt)、サーバー証明書の公開鍵(server.crt)、サーバー証明書の秘密鍵(server.key)、ID トークン署名証明書(AutomationSuiteCert.pfx)の4つのファイルが存在することを確認します。

1s



● ルート証明書(root.crt)は WinSCP などで作業端末にコピーします。コマンドプロンプトで certIm.msc を 実行し、ローカルコンピューター\信頼されたルート証明機関にインポートします。また Studio/Robot など Automation Suite に接続する端末にも個別にインポートする、もしくはグループポリシーを使用し て一括配布します。

🚟 certlm - [証明書 - ローカル コンピューター¥信頼されたルート証明機関¥証明書] ー					×	
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)						
🗢 🔿 🚾 🔣 🧩 🖹 🔀 📾 🖌 🖬 📾						
🗊 証明書 - ローカル コンピューター	^		発行者	有効期限	^	
		AutomationSuiteRootCert	AutomationSuiteRootCert	2027/08/10		
✓ [1: 現されたルート証明機関 ○ 1: 町中書		🔄 Baltimore CyberTrust Root	Baltimore CyberTrust Root	2025/05/13		
▶ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		🔄 Certum Trusted Network CA	Certum Trusted Network CA	2029/12/31		
		🔄 Class 3 Public Primary Certificati	Class 3 Public Primary Certificatio	2028/08/02		
> 🧧 信頼された発行元		Copyright (c) 1997 Microsoft Co	Copyright (c) 1997 Microsoft Corp.	1999/12/31	~	
、 一 冷街されていたい部門車	Υ.	<			>	
信頼されたルート証明機関 ストアには 46 個の証明書があります。						



2.4.3. Microsoft 証明機関による証明書発行

● Microsoft 証明機関 (ドメイン CA) を使用してサーバー証明書を発行するには次の手順を実行します。

 certmgr - [証明書 - 現在のユーザー×個人]	ドメインに所属している任意マシンで署 名リクエスト (CSR: Certificate Signing Request)を作成します。 まずコマンドプロンプトにて certmgr.msc を実行し、証明書ストアを起動します。
Certmar - [証明書 - 現在のユーザー¥個人] - × ファイルD 当たり 入ルブ(ロ) ● 2 (ロ) (ロ) ● 1 (ロ) (ロ) ● 1 (ロ) (ロ) ● 1 (U) (U) (U) ● 1	[個人]を右クリックし、[すべてのタスク →詳細設定操作]>[カスタム要求の作成] をクリックします。
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	証明書の登録ウィザードが開始されま す。次へ進みます。 [カスタム要求] > [登録ポリシーなしで続 行する] を選択し、[次へ] をクリックしま す。



	[(テンプレートなし) レガシ キー] を選択
– – X	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
□□ 証明書の登録	
カスタム要求	
下の一覧からオブションを1つ選択し、必要に応じて証明者のオブションを構成してください。	
テンプレート: (Fンプレートなし) レガシ キー ∨ □ 既定の拡張機能の抑制(S)	
○ CMC(Ω 注意:まーのマーカイガけ でのオブションが証明典テンプルートに指定されている場合です カフタル証明典画で「其イノ証	
においてのプロインは、このパンシングはションシングでにほんという。そのコマングクははションは、	
次へ(N) キャンセル	
– – ×	[刀スダム安氷]の[詳細]をクリックし、
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	[ブロパティ]をクリックします。
証明書情報	
このテンプレートに対して既に選択されているオプションを使用する場合は [次へ] を、証明書要求をカスタマイズする場合は [詳細1 を701m/71 - いかん1 を701m/71 てくだい。	
計画」をフリアフレー(スペ)をフリアクレくなどい。 (1) 計画・利田可能	
アメインセミマホ 次のオプションは、この種類の証明書に適用される使用法と有効期間を表します: キー使用法:	
アブリケーション ポリシー: 有効期間 (日数):	
プロ <i>/</i> (ティ(<u>P)</u>	
<u>次へ(N)</u> キャンセル	
次へ(N) キャンセル	
次へ(N) キャンセル	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適
次へ(N) キャンセル 明春のブロバティ ×	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
次へ(N) キャンセル 明書のプロパティ 全般 サブジェクト 拡張機能 秘密キー リンメドリると説明によって、証明書の識別と使用が容易になります。	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
第書のプロパティ × 全般 サブジェクト 拡張機能 秘密キー フレンドリると説明によって、証明書の識別と使用が容易になります。 フレンドリると説明によって、証明書の識別と使用が容易になります。 フレンドリると説明になって、証明書の識別と使用が容易になります。	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
第書のプロパティ × 日本 サブジェクト 加速 サリンドドシーム 東田 サリンド・	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
次へ(N) キャンセル 閉巻のプロパティ × 転荷 サブジェクト 拡張機能 秘密キー × ウレンドリると説明によって、証明者の識別と使用が容易になります。 ・ クレンドリる(D): ・ AutomationSuiteCert ・ 説明(D): ・	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
第巻のプロパティ × 年ャンセル 第巻のプロパティ × 全校 サブジェクト 拡張機能 秘密キー ルンドリキと説明によって、証明書の識別と使用が容易になります。 カンドリキンは説明によって、証明書の識別と使用が容易になります。 カンドリート	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
次へ(N) キャンセル 閉巻のプロパティ × 比較 サブジェクト 拡張機能 秘密キー × DVンドリ名と説明によって、証明者の識別と使用が容易になります。 ・ フレンドリ名(D): ・ AutomationSuiteCert ・ 説明(D): ・	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
第書のプロパティ × 2般 サブジェクト 拡張機能 秘密キー × 力ンパリなと説明によって、証明書の識別と使用が容易になります。 × AutomationSuiteCert × 説明[D]: ×	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
次へ(N) キャンセル 明書のプロパティ 米 投資 サブジェクト 拡張機能 秘密キー フレンドリる(と説明とよって、証明書の識別と使用が容易になります。 フレンドリる(L): AutomationSuiteCert 説明(D):	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
第書のプロパティ × 記録 サブジェクト 拡張機能 秘密キー カンアドリると説明によって、証明書の識別と使用が容易になります。 ンンドリるし説明の法のに使用の容易にと使用の容易にといます。 AutomationSuiteCert 説明の:	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
次へN) キャンセル 第巻のプロパティ × 取 サブジェクト 拡張機能 秘密キー わいりドリると説明によって、証明者の識別と使用が容易になります。 ひいりドリると説明によって、証明者の識別と使用が容易になります。 ひいりドリる(い): AutomationSuiteCert 期回():	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適切な名前を指定します。
次へND キャンセル 第巻のプリバティ × 転数 サブジェクト 拡張機能 秘密キー シントドメを注説明によって、証明巻の識別と使用が容易になります。 カントドメを注説明によって、証明巻の識別と使用が容易になります。 フレンドド	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
(次へ(N) キャンセル 朝春のブロパティ × 幹様 サブジェクト 拡張機能 秘密キー カントリると注明によって、証明母の識別と使用が容易になります。 カントリると注明によって、証明母の識別と使用が容易になります。 カントリるに記号	[全般] タブにて [フレンドリ名] として適 切な名前を指定します。
第書のプロパティ × 終 サブジスクト 拡張機能 秘密キー プレンドリると説明によって、証明者の強別と使用が容易になります。 プレンドリるしい: AutomationSuiteCert [原何[0]:	[全般] タブにて [フレンドリ名] として遮 切な名前を指定します。
次へ(N) キャンセル 閉巻のプロパディ × 総 サブジェクト 加速機能 私密キー カンドリ名と記明によって、証明音の強制と使用が容易になります。 カンドリると(N): AutomationSuiteCert 提明(D): 〇(キャンセル 進田(A))	[全般] タブにて [フレンドリ名] として遮 切な名前を指定します。



	[サブジェクト] タブにて、[サブジェク
証明書のプロパイ × 全般 サブジェクト 証明書のガジェクトとは、証明書の発行先であるユーザーまたはコンピューターです。証明書で使用可能なサブジェクト名の憧憬と別名の値に関する 情報を入力できます。 証明書のサブジェクト 正明書のサブジェクト 近明書のサブジェクト ご用語 「「大男君名」 「成り」 「現在」 「「本品」」 「「本品」」 「「本品」」 「「本品」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 <	名] の種類として [共通名] を選択し、値 に Automation Suite の FQDN(例: as.lab.test) を指定し、[追加] をクリック ます。 次に [別名] の種類として [DNS] を選択 し、値に Automation Suite の FQDN およ サブドメインをワイルドカードで指定 (例: as.lab.test, *.as.lab.test)し、[追加] を リックします。
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)	[秘密キー] タブにて [キーの種類] を展開
証明豊のガロパティ	し、 [Exchange] を選択します。 [暗号化サービスプロバイダー] を展開 し、既定値の「Microsoft Strong Cryptographic Provider」はオフにして、 「Microsoft RSA Schannel Cryptographic Provider」をオンにします。
 キーの種類① キー使用法では、証明書に関連付けられた秘密キーに許可される使用法を定義します。 ⑥ Exchange ○ 署名 	



	[キーのオプション]を展開し、キーのサ
証明書のプロパティー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
全般 サブジェクト 拡張機能 秘密キー	イズ として 2048 を選択します。[秘密キ
増号化サービスプロバイダー(C) CSPは、多数の証明音機選プロセスで使用される公開キーと秘密キーの組を生成するプログラムです。	ーをエクスポート可能にする] をオンに
暗号化サービスブロバイダー (CSP) を選択してください:	
Microsoft Base Smart Card Cryptographic Provider (语号化) Microsoft Bhaned EXpational Differ Hellman Cryptographic Provider (语号化) Microsoft Enhanced Cryptographic Provider (语号化) Microsoft Enhanced DS and Differ Hellman Cryptographic Provider (语号化) Microsoft Enhanced Scoretonarchic Provider (语号化)	し、[OK] をクリックします。
☑ Microsoft RSA SChannel Cryptographic Provider (暗号化)	
□ す^<ての CSP の表示(S)	
キーのオブション(Q) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
キーのサイズ: 2048 ~	
▶ 「「「「「「」」」 「「」」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	
□秘密キーのアーカイブを許可する	
□独力な秘密キーの保護	
キーの種類() ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
Exchange	
○署名	
×	
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)	
	[次へ] をクリックします。
- L X	
🕎 証明書の登録	
証明書情報	
マのテンゴリートに対して際に認知されているオゴションを使用する場合け「ケハ」を 証明主要式をもつなマイブする場合け「	
このテプノレートに対して知に温がされているオプションを使用する場合は「次へ」を、証明音安水をカステマイスする場合は「 詳細」をクリックし、「次へ」をクリックしてください。	
○カスタム要求 ↓ 状態:利用可能 詳細 ▲ 次のオプションは、この種類の証明書に適用される使用法と有効期間を表します: キー使用法: コーローム・ションはい。	
アノリクーション ハリシー: 有効期間 (日数):	
プロパティ(史)	
· ケヘ/MD - キャンセル	
אושעזד עוואיאי	
	ファイル形式として Base64 を選択し、
- 🗆 X	西式フライルな遠切なディレクトリに化
🗊 証明書の登録	安水ノアイルを適切なアイレクトリに同
	友します
オフライン要求を保存する場所を指定してください。	1ナ し よ り 。
野田寺草並のコピー友保在するが、7の重世を次の処理する根本け、東世をリービビッフカキもけり」 パゴル メビッマトク	
細っつちまっかっしことがすするの。このまっと後に792年9日からまでパートアイムクなにはりムーハノルメディアに休存します。証明書要求の場所と名前を入力し、[完了]をクリックしてください。	
77/11.42.	
ファール/4: C:¥Cert¥as-cert.reg 参照(B)	
ノアイ ルバビ式: ④ Base 64(<u>A</u>)	
Ŏ ľ(1+J)M	
完了(E) キャンセル	



	 要求ファイルをドメイン CA 管理者に提供し、証明書発行を依頼します。 証明書 Web サービスを使用して証明書発行依頼を提出するには次の手順を実行します。(この手順の要否はドメイン CA 管理者にご確認ください) IE で証明書 Web サービスの URL にアクセスします。URL とアクセスに必要なアカウントはドメイン CA 管理者にご確認ください。 サイトが表示されましたら信頼済みサイ
	トに登録します。 [証明書を要求する] リンクをクリックし ます。
◆ ● Mtcrosoft Active Directory 証明書サービス Lab-DC-CA 林田田園の運転の選択: ユーザー証明書 hbsp 証明書の要求の詳細設定を送信する。	[証明書の要求の詳細設定] リンクをクリ ックします。
C ● http://dc.lab.tett/certur/certrgad.asp ・ c 陳志 P ・ ☆ ☆ ● ● ☆ ● ● Microsoft Active Directory 正明書 9 世~七 ・ lab-DC-CA A L Microsoft Active Directory 証明書 9 世~七 ・ lab-DC-CA A L CA のポリシーによって、要求できる証明書の種類が決定されます。次のオブションから 1 つを選択してください: <i>こ</i> の CA への要求を作成し送信する。 Base 64 エンコード CMC または PKCS #10 ファイルを使用して証明書の要求を送信するか、または Base 64 エンコード PKCS #7 ファイルを使用して要新の要求を送信する。	[Base 64 エンコード CMC または PKCS #10 ファイルを使用して証明書の要求を送信 するか、または Base 64 エンコード PKCS #7 ファイルを使用して更新の要求を送信 する。] リンクをクリックします。



	保存された要求には、先ほどファイルと
- ロ × (会) 愛 http://dc.lab.test/certsrv/certsrv/certsrpt.asp ・ C 検索	して保存した内容をメモ帳で開きコピー
Microsoft Active Directory Certificate Services - Iab-DC-CA Home	&ペーストします。
証明書の要求または更新要求の送信	 証明書テンプレートは [Web サーバー] な
CA に保存された要求を送信するには、外部ソース (Web サーバーなど) によって生成された Base 64 エンコード CMD または PKCS #10 証明書の要求または PKCS #7 の更新の要求を、保存されている要求ポックスに貼り付けます。	選択し、[送信] をクリックします。
9UtgVoJClwICyzvNiu0SkfkfBgOdooWiHDJG9dH6. Base-64-encoded JF0or0/Wkr0BHf0BH5TFDTRXNPt5VTuFr5fauoII/A	
certificate request 9/VP3EDFDcbung+XgAuXLT1Gad+TATDExck02VM1 (CMC or BeQCM00Sr22qKPcXmc)gaSF9VNgewrUEjSxT1KEAL PKCS #10 orEND NEW CERTIFICATE REQUEST	
PKCS#7):	
記明書テンプレート: Web サーバー マ	
<u>追加属性:</u>	
Attributes:	
送信>	
http://dc.lab.turt/setro/setro/setro/setro/	
under angelenent zum in zu ochenelt.	
X	証明書か自動発行される場合には、Base
◆ ② ● http://dc.lab.test/certinsh.asp ・ ◆ ● 検索 ・ P ・ ☆ ☆ ※ ● ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆	64 エンコードにて [証明書のダウンロー
microsoft Active Directory 証明書サービス lab-DC-CA 赤ーム へ	ド1リンクをクリックします。
証明書は発行されました	
要求した証明書は要求者に発行されました	日期的に証明者が充行されない場合に
○DER エンコード または ●Base 64 エンコード	は、ドメイン CA 管理者に証明書を発行
証明書 <u>のゲワンロート</u> 証明書チェーンのグウンロード	するように依頼し、証明書ファイル
	(*.cer) を八子します。
dc.lab.test から certnew.cer (1.61 KB) を開くか、または保存しますか? × ファイルを開く(の) 保存(S) ▼ キャンセル(C) ∨	
~ `	証明書ストアにて [個人] を石クリック
★ ジョン・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・シ	し、[すべてのタスク]>[インポート]を追
	択します。
インボートする証明書ファイル	1/ 0 6 7 8
インボートするファイルを指定してください。	
	証明書のインポートウィザードが開始し
ファイル名(E): C:¥Cert¥certnew.cer	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。
ファイル名(E): C:¥Cert¥certnew.cer 参照因 大の形式を描述し、ののフィー、と思われているのできます。	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。
ファイル名(E): CWCert¥certnew.cer 注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Exchance- PKCS #12 (.PFX.P12)	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。 先ほどダウンロードしてきた*cer ファイ
ファイル名(E): Ci¥Cert¥certnew.cer 参照(E) 注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,P12) Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。 先ほどダウンロードしてきた*cer ファイ
ファイル名(E): C:¥Cert¥certnew.cer 注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,P12) Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書 (.P78) Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。 先ほどダウンロードしてきた*cer ファイ ルを指定します。
ファイル名(E): C:WCertVcertnew.cer 注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,P12) Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B) Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。 先ほどダウンロードしてきた*cer ファイ ルを指定します。
ファイルる(E): C:¥Cert¥certnew.cer 注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,P12) Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P78) Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。 先ほどダウンロードしてきた*cer ファイ ルを指定します。 順に次へ進みウィザードを完了します。
ファイル名(E): C:¥Cert¥certnew.cer 注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX.P12) Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B) Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。 先ほどダウンロードしてきた*cer ファイ ルを指定します。 順に次へ進みウィザードを完了します。
ファイル名(E): Ci¥Cert¥certnew.cer 注意:次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,P12) Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B) Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。 先ほどダウンロードしてきた*cer ファイ ルを指定します。 順に次へ進みウィザードを完了します。
ファイルる(E): 参照(B) こ父でert%certnew.cer 参照(B) 注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX, P12) Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B) Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。 先ほどダウンロードしてきた*cer ファイ ルを指定します。 順に次へ進みウィザードを完了します。
ファイル名(E): ● 参照(E) こVCertVcertnew.cer ● 参照(E) 注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明量を保管できます: Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX, P12) Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P78) Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。 先ほどダウンロードしてきた*cer ファイ ルを指定します。 順に次へ進みウィザードを完了します。
ファイル名(E): CWCert¥certnew.cer 注意:次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます: Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX, P12) Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B) Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)	証明書のインポートウィザードが開始し ます。[次へ] をクリックします。 先ほどダウンロードしてきた*cer ファイ ルを指定します。 順に次へ進みウィザードを完了します。



	正しくインポートされましたら、「個人1>
Gertmagr - [証明書 - 現在のユーザー¥個人¥証明書]	
72+1/μ(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	[訨明書] にサーバー証明書が表示される
✓ <>>	ことを確認します。
> ○ 信頼されたルート証明機関 > ○ エンターブライズの信頼 すべてのタスク(K) → 職((0)	
> ○ 中間証明機関 切り取り(T) 新しいキーで証明書を要求(Q) → ○ Active Directory ユーザーオブジェクト	
> ○ 信頼された発行元 > ○ 信頼されてない証明書 利除(D) 注(C) 新しい早一で証明書を書き読え(N) 対応(D) 注(C) 新しい早一で証明書を書き読え(N) (N)	[証明書]を右クリックし、[すべてのタス
> = サードバーティルート証明機関 プロパティ(R) エクスポート(E)	
> ○ クライアンド部屋発行者 ヘルプ(H)	ク]>[エクスポート]を選択します。
S = Lca revinemovable certificates S = MSIEHistoryJournal MSIEHistoryTournal	
> 証明書の宣が長米 > スマートカードの信頼されたルート	
57回ゆをT クフポート まま	
# 77852/Am 1047	
	証明書のエクスポートウィザードが開始
×	します、次へ進みます
← ジジ 証明書のエクスポート ウイザード	
秘密キーのエクスポート	
	秘密キーのエクスポートにて、[はい、秘
物密キーを証明音と一緒にエクスパート9 GLCかできます。 	
	密キーをエクスホートします] を選択し、
秘密キーはパスワードで保護されています。秘密キーを証明書と一緒にエクスポートする場合は、パスワードを 3. カする必要があります	
	次へ進みます。
証明書と一柄に秘密キーをエクスパートしよすか? 	
● はい、秘密キーをエクスポートします(Y)	
○ いいえ、秘密キーをエクスポートしません(<u>Q</u>)	
次へ(N) キャンセル	
×	「NU3 #12 ルルで 歴1/1 しょり。
× 🦗 5588年のエクフポート ウィザード	
金 町辺島のTAYULL 511-L 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
エクスポートファイルの形式 さまざまなファイル形式で証明書をエクスポートできます。	
(有田才ス型)ナカ湖(坦) アイビヤト	
(使用する形式を選びし(くたさい:	
O DER encoded binary X.509 (.CER)(D)	
○ Base 64 encoded X.509 (.CER)(\$)	
○ Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書 (.P7B)(C)	
□ 証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む(J)	
Personal Information Exchange - PKCS #12 (.PFX)(P)	
□ 証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む(1)	
□ エレンエンスポードでもんだできば何度キャング的体をしてい	
□ すべての拡張プロパティをエクスポートする(<u>A</u>)	
☑ 証明書のプライバシーを有効にする(上)	
○ Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)①	
次へ(N) キャンセル	



 ★ 愛 昭明魯のエクスボート ウィザード サニリアイ を維持するために、セキュリティ プリンタバルで や恐患 キ を保護するか パスワードを使用しなけれ はなりません。 (プループまたはユーザー名 (推奨)(G) (プループ たたけユーザー名 (推奨)(G) (プレスワード(D): (プレスワード(D): (プレーアトの理説)(C): (アレーアードの理説)(C): (アレーアードの理説)(C): (アレーアードの理説)(C): (アレーアードの理説)(C): (アレーアードの理説)(C): (アレーアードの理説)(C): (アレーアードの理説)(C): (アレーアードの理説)(C): (アレードの理説)(C): (アレードの理説)(C): (アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(アレード)(P)(P)(P)(P)(P)(P)(P)(P)(P)(P)(P)(P)(P)	エクスポートパスワードを設定し、次へ 進みます。
 ★ 愛 証明書のエクスポートウィザード エクスポートするファイル エクスポートするファイルの名前を入力してください ファイル名(E): Cr¥Cert¥AutomationSuiteCert.pfx 	任意のディレクトリに*.pfx ファイル名を 指定し、エクスポートウィザードを完了 します。
Image: Sec Spectrum Image: Sec Spectrum Image: Sec Spectrum Image: Sec Spectrum <th>作成された*.pfx ファイルを <u>WinSCP</u>など を使用して AP サーバーにコピーしま す。</th>	作成された*.pfx ファイルを <u>WinSCP</u> など を使用して AP サーバーにコピーしま す。



```
AP サーバーに SSH クライアントで接続
                                                  し、次のコマンドを実行して証明書を変
                                                  換します。
   Pfx_Tile='tegramecess-
EERIDEF-'opt/UPethAlucentionSuite/cert
mkdir -p ${(CENT_DIR)
opensil pkcs12 -in ${PFX_FILE} -nocerts -nodes -out ${(CENT_DIR)/se
-nocerts -nodes -out ${(CENT_DIR)/se}
 ~]#
                                                  root 権限を使用します。
  :
~]# ope
                                                  sudo su -
sword:
132 ~)# cp -p ${PFX_FILE} ${CERT_DIR}
-132 ~]# ls ${CERT_DIR}
ert.pfx _oot.crt server.crt server.key
 fx ra
~]#
                                                  変数 (*.pfx 証明書ファイル名、証明書配
                                                  置ディレクトリ)は環境に応じて変更しま
                                                  す。
                                                  PFX FILE="/tmp/AutomationSuiteCert
                                                   .pfx"
                                                  CERT DIR="/opt/UiPathAutomationSui
                                                  te/cert"
                                                  証明書を配置するディレクトリを作成し
                                                  ます。
                                                  mkdir -p ${CERT_DIR}
                                                  秘密鍵、公開鍵、ルート証明書にそれぞ
                                                  れ変換します。エクスポート時に設定し
                                                  たパスワードを下記3つのコマンド実行
                                                  時にそれぞれ入力します。
                                                  openssl pkcs12 -in ${PFX FILE} -
                                                  nocerts -nodes -out
                                                  ${CERT_DIR}/server.key
                                                  openssl pkcs12 -in ${PFX_FILE} -
                                                   clcerts -nokeys -out
                                                  ${CERT_DIR}/server.crt
                                                  openssl pkcs12 -in ${PFX_FILE} -
                                                  cacerts -nokeys -out
                                                  ${CERT_DIR}/root.crt
                                                  秘密鍵も同一ディレクトリにコピーしま
                                                  す。
                                                  cp -p ${PFX_FILE} ${CERT_DIR}
                                                  4つのファイルを確認します。
                                                  ls ${CERT DIR}
```

3. Automation Suite インストール手順

3.1. ディスクの構成

● Automation Suite インストール前にスクリプトを使用してディスクのパーティション設定を行います。

Image: Installing: Image:	続します。 次のコマンドを実行し、パーティショニングス クリプトを準備します。 sudo yum install wget lvm2 -y wget -0 ~/configureUiPathDisks.sh https://download.uipath.com/automation- suite/configureUiPathDisks.sh chmod +x configureUiPathDisks.sh
<section-header></section-header>	次のコマンドを実行し、それぞれのディスクの ラベル名を確認します。 sudo lsblk -dip 左スクリーンショット【AWS】での実行結果 ではディスクラベル名は下記の対応となりま す。 etcd ディスク (16G) /dev/nvme1n1 データディスク (2T) /dev/nvme2n1 クラスターディスク(256G) /dev/nvme3n1 ※ 実際のラベル名はディスクをアタッチした 順序により異なります。



	次のコマンドによってパーティショニングを実
III 10.074 195 - w?-userellin-10.674-195VT □ X	行します。
<pre>MultiPierder</pre>	<pre>行しまず。 sudo ./configureUiPathDisks.shnode- type serverinstall-type online \cluster-disk-name <cluster_disk> \etcd-disk-name <etcd_disk> \data-disk-name <data_disk> Isblk の出力結果に基づき、実行例を下記に示 します。実際のディスクラベル名は環境に応じ て変更します。 [AWS] sudo ./configureUiPathDisks.shnode- type serverinstall-type online \cluster-disk-name /dev/nvme3n1 \etcd-disk-name /dev/nvme1n1 \data-disk-name /dev/nvme2n1 [Azure] sudo ./configureUiPathDisks.shnode- type serverinstall-type online \cluster-disk-name /dev/sdc \etcd-disk-name /dev/sde \data-disk-name /dev/sdd [VMware vSphere] sudo ./configureUiPathDisks.shnode- type serverinstall-type online \cluster-disk-name /dev/sdc \etcd-disk-name /dev/sdd [VMware vSphere] sudo ./configureUiPathDisks.shnode- type serverinstall-type online \cluster-disk-name /dev/sdd [Totata-disk-name /dev/sdd \data-disk-name /dev/sdc \etcd-disk-name /dev/sdc \ </data_disk></etcd_disk></cluster_disk></pre>
	心し、 過りな ノ ィ ヘノ ッイ ヘル 刮 ッヨ しりれし
	いるルサ反唯恥しより。
I aslab.test - ec2-user@ip-10-0-74-132VT	次のコマンドによりボリュームマウントを確認
[ec2-user@ip-10-0-74-132 ~]\$ wold mount -afv / / var/lib/rancher = already mounted /var/lib/kubelet : already mounted	
/opt/UiPathAutomationSuite: already mounted /datadisk : already mounted /var/lib/rancher/rke2/server/db: already mounted [ec2-user@ip-10-0-74-132 ~]\$	sudo mount -afv
~	

-

L

3.2. Automation Suite インストール実行

- Automation Suite のインストールを実行するには次の手順を実行します。詳細な手順は オンラインでの シングルノードのインストール をご参照ください。
- SSH クライアントを使用して AP サーバーに接続し、次のコマンドを順次実行します。

sudo yum install unzip jq -y
wget https://download.uipath.com/automation-suite/installUiPathAS.sh -0
installUiPathAS.sh
chmod +x installUiPathAS.sh
sudo ./installUiPathAS.sh

● インタラクティブインストーラーが開始しますので、License Agreement に同意します。



● <u>1.4. Automation Suite インストールオプションの検討</u>で事前に検討されたオプションを順次実行します。最初はデプロイメント構成を選択します。本文書では Single-Node でインストールを行うため、「1」を選択します。



● システム要件が表示されます。[1] の Single-node deployment で続行します。





● オンラインかオフラインを選択します。本文書ではオンライン環境でインストールを行うため、「1」
 を選択し、続行します。

I as.lab.test - ec2-user@ip-10-0-74-132:~ VT	-		×
Eile <u>E</u> dit <u>S</u> etup C <u>o</u> ntrol <u>W</u> indow <u>K</u> anjiCode <u>H</u> elp			
			^
Deployment configuration			
Will your deployment have access to Internet (online) or is it physically isolated from unsecured networks	(air-	gappe	d)?
[1] Onlino		0-FF-	
[2] Air-gapped			
Enter your choice [1]:			\sim

 インストールする製品群(ベーシックまたは完全)を選択します。本文書ではすべての製品をインスト ールするため「2」を選択し、続行します。



I as.lab.test - ec2-user@ip-10-0-74-132:∼ VT	-	×
Eile Edit Setup Control Window KanjiCode Help		
Enter the Automation Suite FQDN []: as.lab.test		^
		\checkmark

● Kerberos 認証を使用するか選択します。本文書では使用しないため「2」を選択し、続行します。

I as.lab.test - ec2-user@ip-10-0-78-161:~ √T		-		×
Eile Edit Setup Control Window KanjiCode Help				
Would you like to enable Kerberos Auth? This will be used to connect to SQL Databases and Active Directory Lightweight Direc ured. [1] Yes [2] No	ctory Ad	laptor	if co	nfig
Enter your choice [2]: 2				~



● DB サーバーの FQDN (AWS / Azure では DB サービスのエンドポイント)、ポート番号、接続ユーザーと パスワードを入力し、続行します。



● 各種 DB を自動作成するかを選択します。本文書では自動作成するため「1」を選択し、続行します。

I as.lab.test - ec2-user@ip-10-0-78-161:~ VT	-	×
Elle £dit Setup Control Window KanjiCode Help		
Would you like the databases to be automatically provisioned for all the products you've selected? [1] Yes [2] No Enter your choice [1]: 1		< · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

 これまでのインストールオプションを変更するには「2」を選択します。また詳細なインストール設定 を行うためにクラスター構成の設定ファイル(/opt/UiPathAutomationSuite/cluster_config.json)をカスタマ イズすることもできます。詳細は Web ガイドをご参照ください。

- п ×

•	2	こで	は討	设定了	変更は行	わない	ため	「1」	を選択し	•	続行します。	
	as.lab.test -	ec2-user@ip	o-10-0-78-1	61:~ VT								
<u>F</u> ile	<u>E</u> dit <u>S</u> etu	p Control	Window	<u>K</u> anjiCode	<u>H</u> elp							

Eile Edit Şetup Control Window KanjiCode ∐elp	
? The cluster configuration file was generated at /opt/UiPathAutomationSuite/cluster_config.json:	^
 Continue installing with the default config Edit the config 	
for advanced settings, quit now and manually edit the config file. Once the configuration file is updated, run the deployment wizard again and follow the instructions. Finter your choice (a to quit) [1]	v
	_

● インストールオプションに応じて注意点が表示されます。「1」を選択してインストールを開始しま



- インストール完了には数十分から1時間程度かかります。途中でエラーが発生する場合には<u>5.1イン</u> ストールログの手順にてエラー内容を確認します。
- インストール完了時には次のメッセージが表示されます。内容を確認して Enter を押下します。



● 続いて Automation Suite の各管理画面へのアクセス方法やサーバー証明書入れ替えに関する注意点が表



- これらの実行手順は下記の各セクションにおいて説明をしております。[Enter]を押下してインストー ラーを終了します。
 - ▶ 3.3. 証明書の入れ替え
 - ▶ 4.2. ホスト組織 へのアクセス方法
 - ▶ 4.3. デフォルト組織へのアクセス方法
 - <u>5.2. ArgoCD</u>へのアクセス方法
 - 5.3. Rancher へのアクセス方法

3.3. 証明書の入れ替え

- Automation Suite インストール時には自動的に自己署名証明書が作成されますが、有効期限が 90 日と なっています。サーバー証明書と ID トークン署名証明書を入れ替えるために次の手順を実行します。
- SSH クライアントで AP サーバーに接続します。2.4. AP サーバー用証明書発行 の手順で発行した証明 書の配置ディレクトリを変数で指定します。

CERT_DIR="/opt/UiPathAutomationSuite/cert"

- Automation Suite インストーラーが解凍されているディレクトリに移動します。ディレクトリ名はバージョンに応じて変更されることに注意してください。下記コマンドは v2021.10.3 の場合です。
 cd /opt/UiPathAutomationSuite/online_installer_2021.10.3
- サーバー証明書入れ替えのスクリプトを実行します。

sudo ./configureUiPathAS.sh tls-cert update --ca-cert-file \${CERT_DIR}/root.crt --tlscert-file \${CERT_DIR}/server.crt --tls-key-file \${CERT_DIR}/server.key

● yes とタイプし Enter キーを押下して続行します。処理完了まで最大 30 分程度かかります。



- "Certificate update successfully…"と表示されればサーバー証明書の入れ替えは完了です。
 - ▶ 作業端末で新たに起動したブラウザーで https://<AutomationSuite-FQDN> (例: https://as.lab.test) に アクセスし、新しい証明書に入れ替わっていることを確認します。

UI Login - UiPath Identity × +	×	-	×
÷ → C (a) as.lab.test/identity_/web/?returnUrl=%2Fidentity_%2Fconnect%2Fauth 🖻	☆		:
 ← セキュリティ × asJab.test 			
▲ この接続は保護されています お客様が200ヶドに送信しば接線 (パスワード、クリジ ソ・カード番号など) が第三者に見られることはありませ ハ、詳細 オー 第1000 第1000			
■ 証明書は有効です ^図 ration default. Change			
Usemame or email* 전明音 (発行元: AutomationSuiteRootCert)			
Password *			
Remember me Forgot your password?			
Log in			
English ~			

 新しい証明書のルート証明書は個別にクライアント端末 (ブラウザー/Studio/Robot など) にインス トールするか、グループポリシーにて一括配布を行います。

- 次に ID トークン署名証明書の入れ替えを行います。AP サーバーで次のコマンドを実行し、トークン 署名証明書をアップロードします。
 - ▶ 証明書ファイル名(AutomationSuiteCert.pfx)は適宜変更します。
 - ➤ <Export Password>には*.pfx ファイルをエクスポートする際のパスワードを指定します。
 - ▶ 続行するにはコマンド実行後、yesとタイプし Enter キーを押下します。

sudo ./configureUiPathAS.sh identity token-cert update --cert-file-path
\${CERT_DIR}/AutomationSuiteCert.pfx --password <Export_Password>



次のコマンドにより古い証明書を置き換えます。

sudo ./configureUiPathAS.sh identity token-cert rotate

🔳 as.lab.test - ec2-user@ip-10-0-74-132:/opt/UiPathAutomationSuit VT	-	×
Eile Edit Setup Control Window KanjiCode Help		
[ec2-user@ip-10-0-74-132 online_installer_2021.10.3]\$ sudo ./configureUiPathAS.sh identity token-cert rotate		^
Token signing certificate is rotated successfully		
[ec2-user@ip-10-0-74-132 online_installer_2021.10.3]\$		

- "Token signing certificate is rotated successfully"と表示されれば ID トークン署名証明書の入れ替えは完了 です。
- ブラウザーからのログインを確認します。エラーが発生する場合にはクッキーなどのキャッシュをクリアして再試行します。

4. Automation Suite へのログイン

4.1. 組織・テナント

 Automation Suite には論理的なセキュリティ分離の単位として「組織(Organization)」と「テナント (Tenant)」があり、その関係を図示したものが下図となります。詳細は <u>Web ガイド</u> をご参照ください。



- 「ホスト(Host)組織」は各組織を管理するためにシステム管理者がアクセスする特別な組織です。
- ▶ ライセンス管理は次のいずれかの方法で行うことができるため管理方針を検討します。
 - アクティベーションをホスト組織で行い、各組織にそれぞれ必要ライセンス数を割り当てることにより一元管理をする。
 - 各組織でそれぞれアクティベーションを行い、個別に管理する。その場合は個別のライセンスコードが必要となる。



4.2. ホスト組織

● ホスト組織にログインするには次の手順を実行します。

SSH クライアントを使用して AP サーバーにア クセスし、root 権限を使用します。 -10-0-78-161 ~]# export KUE -10-0-78-161 ~]# kubectl g QD 78-161 ~]# sudo su -次のコマンドで表示される文字列をコピーしま す。 export KUBECONFIG=/etc/rancher/rke2/rke2.yaml PATH=\$PATH:/var/lib/rancher/rke2/bin kubectl get secrets/platform-servicesecrets -n uipath -o "jsonpath={.data['identity\.hostAdminPa ssword']}" | base64 --decode 作業端末でブラウザーを開き、 ✓ - □ Uil Login - UiPath Identity × + https://<AutomationSuite-FQDN>(例: ← → C 🔒 as.lab.test/identity_/web/?returnUrl=%2Fidentity_%2Fco... 🖙 🔤 🖄 🎓 🗯 🔲 🏩 https://as.lab.test) にアクセスし、Automation **Ui** Path Suite ログイン画面が表示されることを確認し Login ます。 host Change(変更)のリンクをクリックし、 admin 0 Organization name: host Remember me Forgot your password? Username or email: admin Log in Password: <上記で取得したパスワード> 💮 English 🔹 を入力して Log in をクリックします。 ログイン後、必要に応じて組織作成やホストラ イセンスのアクティベーションなどの設定を行 O UiPath Automation Suite | Host 10 MM 1818+2820 います。 0 Q. ## ライセンス 新規組織作成後は、ログイン画面にて Change(変更)のリンクをクリックし、 Organization name として新しい組織名を指定 25 ¥ し、新たに作成した管理者でログインすること もできます。

4.3. デフォルト組織

● Automation Suite インストール後、既定で「デフォルト(Default)」という名前の組織が自動作成されま す。デフォルト組織にログインするには次の手順を実行します。

■ slabbar-rolfip-10-0-10-10vT [is [in] page Carbon Single-Carbon	GG/st//emcher/ek2/fk2/yam1 PATH-59ATH/yam/jib/rancher/ek2/bin fet/glafform-service-secrets n uigath -o "joongath(.data['identity).hostAdbin9assord'])" basedd -od	SSH クライアントを使用して AP サーバーにア クセスし、root 権限を使用します。 sudo su - 次のコマンドで表示される文字列をコピーしま す。 export KUBECONFIG=/etc/rancher/rke2/rke2.yaml PATH=\$PATH:/var/lib/rancher/rke2/bin kubectl get secrets/platform-service- secrets -n uipath -0 "jsonpath={.data['identity\.hostAdminPa ssword']}" base64decode
togin - UPath Identity ← → C ■ aslabu	x + v - v x tett/identity_/web/ v v v v v v v v v v v v v v v v v v v	作業端末でブラウザーを開き、 https:// <automationsuite-fqdn> (例: https://as.lab.test) にアクセスし、Automation Suite ログイン画面が表示されることを確認し ます。 Change のリンクをクリックし、 Organization name: default Username or email: orgadmin Password: <上記手順で取得したパスワード> を入力して Log in をクリックします。</automationsuite-fqdn>





5. トラブルシューティング

● Automation Suite のインストール時または運用時のトラブルシューティング手法について説明します。

5.1. インストールログ

5.1.1. インストールログ確認方法

● Automation Suite のインストールが途中でエラーとなる場合には、インストールログを確認します。



 インストールログは /opt/UiPathAutomationSuite/install-YYYY-MM-DDThh_mm_ss.log というファイル名 で生成されるため、エラー発生時には less コマンド, tail コマンドなどで末尾に記録されるエラー内容 を確認します。



5.1.2. エラー例と対処法

例 1: "No IP Address for <AutomationSuite-FQDN>"

[ERROR][2022-01-26T13:41:19+0000]: Validation Failed[ERROR][2022-01-26T13:41:19+0000]: >>> No IP Address found for as.lab.test[ERROR][2022-01-26T13:41:19+0000]: >>> No IP Address found for objectstore.as.lab.test[ERROR][2022-01-26T13:41:19+0000]: >>> No IP Address found for insights.as.lab.test[ERROR][2022-01-26T13:41:19+0000]: >>> No IP Address found for monitoring.as.lab.test[ERROR][2022-01-26T13:41:19+0000]: >>> No IP Address found for alm.as.lab.test[ERROR][2022-01-26T13:41:19+0000]: >>> No IP Address found for alm.as.lab.test[ERROR][2022-01-26T13:41:19+0000]: >>> No IP Address found for registry.as.lab.test

- DNS サーバーにて A または CNAME レコードが正しく設定されていないために発生するエラーです。 環境に応じて正しく DNS レコードを設定します。
 - ▶ 2.1.3. DNS レコード登録 (AWS)
 - 2.2.3. DNS レコード登録 (Azure)
 - 2.3.3. DNS レコード登録 (VMware vSphere)
- もしくはインストール時に Automation Suite の FQDN が正しく指定されたか再確認します。


例 2: Minimum CPU core requirement is 32

[ERROR][2022-02-16T14:40:19+0000]: Validation Failed [ERROR][2022-02-16T14:40:19+0000]: >>> Minimum CPU core requirement is 32 [ERROR][2022-02-16T14:40:19+0000]: >>> Minimum memory requirement is 57 GiB

● <u>ハードウェア要件</u>を満たす vCPU およびメモリを AP サーバーのマシンに割り当てます。

例 3: "Please disable nm-cloud-setup.service"

[ERROR][2022-01-26T02:32:41+0000]: Validation Failed [ERROR][2022-01-26T02:32:41+0000]: >>> Please disable nm-cloud-setup.service by running 'sudo systemctl disable nm-cloud-setup.service'

[ERROR][2022-01-26T02:32:41+0000]: >>> Please disable nm-cloud-setup.timer by running 'sudo systemctl disable nm-cloud-setup.timer'

● 次のコマンドを実行し、nm-cloud-setup サービスを無効化します。

```
sudo systemctl disable nm-cloud-setup.service
sudo systemctl disable nm-cloud-setup.timer
sudo reboot
```

例 4: "/var/lib/rancher must be mounted with a separate partition or disk"

[ERROR][2022-02-14T15:07:51+0000]: Validation Failed [ERROR][2022-02-14T15:07:51+0000]: >>> /var/lib/rancher must be mounted with a separate partition or disk [ERROR][2022-02-14T15:07:51+0000]: >>> /var/lib/kubelet must be mounted with a separate partition or disk [ERROR][2022-02-14T15:07:51+0000]: >>> No entry found for /var/lib/rancher in /etc/fstab. [ERROR][2022-02-14T15:07:51+0000]: >>> No entry found for /var/lib/kubelet in /etc/fstab. [ERROR][2022-02-14T15:07:51+0000]: >>> No entry found for /var/lib/kubelet in /etc/fstab. [ERROR][2022-02-14T15:07:51+0000]: >>> "/var/lib/rancher/rke2/server/db" is not mounted. [ERROR][2022-02-14T15:07:51+0000]: >>> Data disk is not attached to path: /datadisk

- システム要件を満たすように別々のディスクデバイスをアタッチし、configureUiPathDisks.sh によって 正しくパーティションニングされているかを確認します。
 - ▶ 2.1.1. AP サーバー準備 (AWS)
 - 2.2.1. AP サーバー準備 (Azure)
 - 2.3.1. AP サーバー準備 (VMware vSphere)
 - ▶ 3.1. ディスクの構成

例 5: FullTextSearch is not enabled

● Document Understanding を使用する場合には、SQL Server にてフルテキスト検索機能を有効化する必要 があります。手順は 2.3.2. DB サーバー準備 (VMware vSphere) をご参照ください。



例 6: Login failed for user '<db-username>'

######################################	############# AutomationSuite ####################################
testmanager Database Creation platform Database Creation orchestrator Database Creation insights Database Creation automationops Database Creatio automationhub Database Creatio	Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "Login failed for user ' <db-username>'."Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "Login failed for user '<db-username>'."Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "Login failed for user '<db-username>'."Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "Login failed for user '<db-username>'."Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "Login failed for user '<db-username>'."nFailed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "Login failed for user '<db-username>'."nFailed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "Login failed for user '<db-username>'."</db-username></db-username></db-username></db-username></db-username></db-username></db-username>

- SQL Server への接続ユーザーおよびパスワードが正しいか確認します。
- また接続ユーザーが dbcreator 以上の権限を保持していることを確認します。



5.2. ArgoCD

 Automation Suite の製品群は Kubernetes クラスターの Pod として提供されます。現在の Pod のデプロ イメント状況は ArgoCD と呼ばれる ALM (Application Lifecycle Management) ツールを使用して視覚的に 確認することができます。

5.2.1. ArgoCD へのログイン

 Automation Suite インストール後サービスに正常にアクセスできない場合には次の手順で ArgoCD にア クセスします。なおインストーラーで "[Completed] Installing and configuring Application Lifecycle Management Tools" というメッセージが表示された後であればインストール途中でも ArgoCD にアクセ スすることができます。

■ takwet-wellip to 0 to 000-11 - □ X [16] [16] Segn Quote [public [SSH クライアントを使用して別セッションで AP サーバーにアクセスし、root 権限を使用し ます。 sudo su - 次のコマンドで表示される文字列をコピーしま す。
	export KUBECONFIG=/etc/rancher/rke2/rke2.yaml PATH=\$PATH:/var/lib/rancher/rke2/bin kubectl -n argocd get secret argocd- admin-password -o jsonpath='{.data.password}' base64 - -decode ※ 出力される文字列は末尾で改行されないこ とに注意してください。
Image: start of the start	作業端末でブラウザーを開き、 https://alm. <automationsuite-fqdn> (例: https://alm.as.lab.test) にアクセスします。 <u>3.3. 証明書の入れ替え</u>を実施するまでは警告が 表示されるため無視して進みます。 Username: admin Password: <上記で取得したパスワード> を入力し、SIGN IN をクリックします。</automationsuite-fqdn>







5.2.2. ArgoCD エラー例と対処法

- インストール時に発生するエラー例と対処法について説明します。
- 詳細については インストール時のサービストラブルシューティング方法 をご参照ください。

例 1: A network-related or instance-specific error occurred while establishing a connection to SQL Server

######################################	
TestName Status Message	
testmanager Database Creation Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "A network-related or instance-specific error	
occurred while establishing a connection to SQL Server. The server was not found or was not accessible. Verify that the instance name is correct and	i
that SQL Server is configured to allow remote connections. (provider: TCP Provider, error: 40 - Could not open a connection to SQL Server)"	
taskmining Database Creation Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "A network-related or instance-specific error	
occurred while establishing a connection to SQL Server. The server was not found or was not accessible. Verify that the instance name is correct and	1
that SQL Server is configured to allow remote connections. (provider: TCP Provider, error: 40 - Could not open a connection to SQL Server)"	
platform Database Creation Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "A network-related or instance-specific error occur	red
while establishing a connection to SQL Server. The server was not found or was not accessible. Verify that the instance name is correct and that SQL	
Server is configured to allow remote connections. (provider: TCP Provider, error: 40 - Could not open a connection to SQL Server)"	
orchestrator Database Creation Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "A network-related or instance-specific error	
occurred while establishing a connection to SQL Server. The server was not found or was not accessible. Verify that the instance name is correct and	ł
that SQL Server is configured to allow remote connections. (provider: TCP Provider, error: 40 - Could not open a connection to SQL Server)"	
insights Database Creation Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "A network-related or instance-specific error occurre	ed
while establishing a connection to SQL Server. The server was not found or was not accessible. Verify that the instance name is correct and that SQL	
Server is configured to allow remote connections. (provider: TCP Provider, error: 40 - Could not open a connection to SQL Server)"	
documentunderstanding Database Creation Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "A network-related or instance-specific err	ror
occurred while establishing a connection to SQL Server. The server was not found or was not accessible. Verify that the instance name is correct and	1
that SQL Server is configured to allow remote connections. (provider: TCP Provider, error: 40 - Could not open a connection to SQL Server)"	
automationops Database Creation Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "A network-related or instance-specific error	
occurred while establishing a connection to SQL Server. The server was not found or was not accessible. Verify that the instance name is correct and	i i
that SQL Server is configured to allow remote connections. (provider: TCP Provider, error: 40 - Could not open a connection to SQL Server)"	
automationhub Database Creation Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "A network-related or instance-specific error	
occurred while establishing a connection to SQL Server. The server was not found or was not accessible. Verify that the instance name is correct and	ł
that SQL Server is configured to allow remote connections. (provider: TCP Provider, error: 40 - Could not open a connection to SQL Server)"	
aicenter Database Creation Failed Exception calling "Open" with "0" argument(s): "A network-related or instance-specific error occurr	ed
while establishing a connection to SQL Server. The server was not found or was not accessible. Verify that the instance name is correct and that SQL	
Server is configured to allow remote connections. (provider: TCP Provider, error: 40 - Could not open a connection to SQL Server)"	

- AP サーバーから SQL Server へのネットワーク接続が可能か確認します。
- インストール時に指定した SQL Server の FQDN が正しいか、名前解決できるか確認します。



5.3. Rancher

5.3.1. Rancher へのログイン

● Automation Suite インストール後、システムの正常性を監視するには次の手順で Rancher にアクセスします。

<pre>Main endpoint into into into into into into into</pre>	SSH クライアントを使用して別セッションで AP サーバーにアクセスし、root 権限を使用し ます。 sudo su - 次のコマンドで表示される文字列をコピーしま す。 export KUBECONFIG=/etc/rancher/rke2/rke2.yaml PATH=\$PATH:/var/lib/rancher/rke2/bin kubectl get secret -n cattle-system rancher-admin-password -o jsonpath="{.data.password}" base64 -d ※ 出力される文字列は末尾で改行されないこ とに注意してください。
	作業端末でブラウザーを開き、 https://monitoring. <automationsuite-fqdn> (例: https://monitoring.as.lab.test) にアクセスしま す。 <u>3.3. 証明書の入れ替え</u>を実施するまでは警告が 表示されるため無視して進みます。 (初回は非表示) Username: admin Password: <上記で取得したパスワード> を入力し、Login with Local User をクリックしま す。</automationsuite-fqdn>



🗑 Rancher 🛛 🗙 -				
🐺 Rancher 🛛 🗙 -				表示されます。
 → C ▲ 保護されていない通信 	+ https://monitoring.as.lab.test/dashboard/home		> - □ × ⊗ ☆ ♣ □ ♣ :	
ANNCHER		-	* *	"I agree to the terms and conditions for using
local Cluster Management	Weld	come to Rancher		Rancher"のチェックボックスをオンにして Continue をクリックします。
DNFIGURATION	its and new capabilities in this version.		What's new in 2.6	
Global Settings		×	Community Support ×	
	ting started guide. For Cluster Manager users, lea	ann more about where you can find	Docs	次に左上の三本線のメニューから EXPLORE
	inboard UI.	Learn More	Forums Slack	CLUSTER \rightarrow local をクリックします。
	en you log in?	×	File an Issue	
	i when you login:		Commercial Support ×	
	ited		Learn about commercial support	
pport v2.6.0 English onitoring as/ab.test/dashboard/c/local	~			
				詳細な使用方法は 監視スタックの使用 をご考
				詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参 昭ください
flasor X	*		v - 5 X	詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参 照ください。
Rander X → C A RSPIT/US/UST 1 total OU	+ Heye/Investoring as tab section division divisio divisio divisio divisio divisio	Verglener	× - × :دال ها ه : م ال خ : م ال خ	詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参 照ください。
Renter × → C A PSEILU/SUBS 1001 On Mr A C	+ Helger,/mendeuring.ac.lab.ten(thathourst)r,/hout to User Hannespaces ★ _ ♥ Iuster Dashboard	(eqlere	× × : ه ا ه ه ۲ : ۹ ا ع ۱ : ۹ ا ع ۲	詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参 照ください。
Bautor X → C A RSEATLUSUES 1 focal Out Fr A Constitution of the second of the seco	+ Heyes/Investoring actual test/date/countly/Ancul y User Namespaces * Iluster Dashboard Juster Boshboard	Vergelarer witoring, Lagging and other tools	× □ - ∨ 1 & □ * ☆ S ¥ 1 Q ■ ∠ ± ×	詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参 照ください。
Rander X T A RESPICT, UL VER T I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	Interview a state two (star focus 4) / Accul y User Namespaces *	Vexplorer Intering. Logging and other tools	× - □ × ÷ ♣ □ ♣ : ÷ ≿ ■ ♀ : ×	詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参 照ください。
Randor X → C A (#SERT.(%)/ESC *** focal Origination of the Namepuces odds 1 AMarket/face C AMarket/face C Second V PT PT PT PT PT PT PT PT PT PT		Verplaner witcring, Logging and other tools Creates: 25 mins ago	× - □ × ! € □ ≪ ☆ © ¥ : Q ∎ ∡ ± ×	詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参 照ください。
Tender X → C ARSENTURIER → Tool Const tool Const AMarketara - C AMarketara - C AMarketara - C Scionery - C		Verplaner vitoring_Logging and other tools Created: 25 mins ago 1 Node	× - □ × 2 x x 2 ± 2 L L D : * × 64 Deployments	詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参 照ください。
Tunder X → C A PSE-DITUGUEZ → Iccal CC a PSC-DITUGUEZ → Iccal CC a Discovery - Pro- a Discovery - Pro- pe toring ng con C C		Vexplorer Intoring, Logging and other tools Created 25 mins ago Node	× - □ × 2 2 3 4 0 2 1 2 2 1 0 7 1 2 2 1 0 2 1 × 64 Deployments	詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参 照ください。
Bander × → C ▲ PSEPLUSE Tocal Sectors total Ameterians total	+ Hyper/Investmeng as bits results and sound (Anall by Oter Namespaces × V Inster Dashboard Use the new Ouster Tools to manage and lease M widen RM22 Kubernetes Venion v1214 232 Total Resources pacity Pods Use the resources	Vexplorer Intering, Logging and other tools Created 25 mins ago I Node Cores Reserved 1207/784 4356%		詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参照ください。
Innter X → C A 1952-17.150/1857 → Iocal CH V V Jocat C V V Advetspins a Discovery V a D		Vecelarer	 ✓ - □ × Ø 𝔅 𝔅 □ 𝔅 ἰ Δ ἰ	詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご考 照ください。
F Jacober × × → C ▲ INSERTUALINES I → Coal Coal Model Amatabase a & Markstylase a & Markstylase C → Stoling → Pr Valence → V Stoling → Pr y phon C C Costesseor → V N Resources → V Pr Provide → Pr Stoling → Pr C → Costest Toph		Vecetorer	× − □ × ⊗ A ★ □ ▲ i ± ≿ ► ρ : ¥ 64 Deployments Memory Rearwal 17/1603 45.00%	詳細な使用方法は <u>監視スタックの使用</u> をご参 照ください。

Ui Path[™]

5.4. サポートバンドル

- その他 Automation Suite インストール・運用においてトラブルが生じた場合には、弊社カスタマーサポ ートにお問い合わせいただくために次の手順にて環境情報・デバッグログ等が含まれるサポートバン ドルを生成してください。
- SSH クライアントを使用して AP サーバーにログインし、次のコマンドを実行してサポートバンドルツ ールをダウンロードし、解凍します。最新バージョンのコマンドと詳細は <u>サポートバンドルツールを</u> 使用する をご確認ください。

curl "https://download.uipath.com/automation-suite/supportability-tools-2021.10.1.zip" -o
supportability-tools-2021.10.1.zip
unzip supportability-tools-2021.10.1.zip -d support-tools

ツール内で zip コマンドが実行されるため事前に zip をインストールします。
 sudo yum -y install zip

次のコマンドにてサポートバンドルを生成します。この作業には数分かかります。
 sudo bash support-tools/support-bundle/support-bundle.sh

 "[INFO]: Support bundle generated at /tmp/service-fabric-logs-YYYY-MM-dd-hh-mm-ss.zip"というメッセージ が表示されましたら WinSCP などを使用して生成された zip ファイルを採取し、弊社カスタマーサポー トまたは技術担当者に情報連携します。

5.5. アンインストール手順、その他のトラブルシューティング

- Automation Suite をアンインストールするには クラスターのアンインストール の手順を実行します。
- その他、最新のトラブルシューティング事例はトラブルシューティングガイドをご参照ください。

Ui Path[™]

6. 技術支援のご案内

- UiPath 社では Automation Suite および周辺のテクノロジーに関わる技術支援の有償コンサルティングサ ービスを提供しております。技術支援を必要とされるお客様は弊社担当営業までご相談ください。下 記にご支援の例を示します。
- Automation Suite 設計・構築・運用
 - ▶ シングル構成または冗長構成での導入支援
 - ▶ オンプレミスまたはパブリッククラウド環境への導入支援
 - ▶ インストール後の運用ルール策定支援
 - ▶ 既存の個別製品(Orchestrator など)からの移行支援
- 各 UiPath 製品の活用支援
 - Automation Suite にバンドルされる各 UiPath 製品をご活用いただくための支援
 - Orchestrator, Test Manager, Automation Ops, Automation Hub, AI Center, Document Understanding,
 Action Center, Task Mining, Apps, Insights など

以上